2019年度

年 報

医療法人 厚生会
福井厚生病院

巻　頭　言

元号が平成から令和となって約 1 年が経過しました。平穏な年でと祈っていましたが、残念ながら、2019 年 11 月に中国で新型コロナウイルス感染症が発生し、感染は 2020 年に入って全世界に広がりました。本来ならば、今頃は東京オリンピックで日本中が興奮の渦となっていたことでしょうが、現実は頻回の手洗いやマスクが手放せない毎日となり、習慣が一変しました。日本もなんとか第一波は切り抜けたものの、緊急事態宣言の解除とともに再び感染は拡大し、終息の見通しも立たない状況でワクチンや治療薬の開発が切望されています。

今年度は 5 月より福井大学眼科の稲谷大教授や髙村佳弘准教授をはじめ眼科の先生方のご協力を頂き、眼科診療と白内障などの手術を開始することができ、多くの患者さんから良く見えるようになったとご好評をいただいています。

7 月には透析患者さんの命綱とも言えるシャントの維持と検査の利便性向上を目的に、透析室でのシャントエコー検査を開始しました。シャント血流の不良に気づくと直ちにエコー検査にて狭窄部位を確認し、早期に経皮的シャント拡張術につなげることができるようになりました。

12 月より夜間の患者対応の充実のため、画像課職員の平日当直を開始しました。

医師の異動に関しては 6 月に眼科の河野伸二郎医長が、3 月に循環器内科の後藤拓也副部長が退職されました。河野医長には眼科を開設していただき、後藤副部長には循環器内科のみならず内科全般にご活躍いただき、貴重な症例を多数報告いただきました。10 月から 3 月の半年間ではありましたが、消化器内科に研修医として山崎剛明医員が加わられました。一方、4 月に腎臓内科の川村里佳医長、形成外科の濱尚子医長、10 月に救急・総合内科の瀧波慶和部長、3 月に消化器内科の鰺坂秀之副部長が着任されました。着任いただいた先生方には今後のご活躍に期待しております。一方、整形外科が古澤修章部長の一人体制のままで補充ができず、非常勤の先生に応援をお願いしており、誠に申し訳なく思っております。

さて、福井県生活学習館「ユー・アイふくい」向かい側駐車場の新病院建設に向けては 7 月に都市計画審議会の承認、8 月に基本設計策定、10 月に大成建設を工事施工業者に選定し、福井県立病院建築と同じ久米設計と大成建設のペアが決定しました。2 月に正式に開発許可を受けるとともに、同月実施設計を策定し、着工に向けての準備を着実に進めてきました。本年 5 月 12 日に五月晴れの中で起工式が行われ、現在、地盤改良工事から杭打ちが行われています。

最後に感染対策の先頭に立つ呼吸器科大西定司部長、感染対策室中島治代師長をはじめ、スタッフの皆さんの活躍に深く感謝申し上げます。私達人類は過去様々な困難を乗り越えてきました。一人ひとりが新型コロナウイルスを「よく知り」、「自分の行動を変えていく」、そうすれば難局は必ず好転していくと信じてコロナウイルス対策に取り組んでいきましょう。

福井厚生病院
院長　羽場利博

理念

患者さまのため、まごころをこめて
良質の医療と保健・福祉のサービスを
提供します。

基本方針

良質の医療を提供します

患者さまの権利を尊重します

患者さまにやさしく誠実に接します

患者さまが安らげる環境作りを目指します

福井厚生病院　2019 年度　年報　目次

■　巻頭言

■　理念・基本方針

■　目次

01　年間行事表

02　沿革

06　施設概要

10　組織図

12　関連施設

13　学会別指導医・専門医・認定医等資格一覧

16　委員会

20-30 学会・講演・研究発表等

診療部
院内研究発表会
院内勉強会
コメディカル
講演・講師等
実習等受入れ

32-47 患者統計

診療科別　外来患者数推移
年齢別　外来患者数内訳
年齢別　入院患者数内訳
ICD-10 による疾病統計
がん統計
地域別　外来患者数内訳
地域別　入院患者数内訳
外来・入院患者人口比率
ICD-10 による死因統計
救急搬送患者疾病別内訳

48-96 診療状況等

内科
消化器・一般外科
透析センター
整形外科
婦人科
看護部
画像課
栄養課
臨床工学課
健康増進センター
循環器内科
消化器内科
ストレスケアセンター
放射線科
形成外科
リハビリ課
検査課
薬剤課
医療連携センター
在宅医療部

年間行事表

月　日	内容
4 月　1 日	入社式　入職 37 名（正社員 35 名、契約職員 1 名、パート 1 名）
4 月　1 日 ～　2 日	新人オリエンテーション
5 月　9 日	看護展
5 月 25 日	第 57 回定時社員総会・理事会
7 月　4 日	医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査
7 月 27 日	看護補助者・介護プチ体験会
8 月 24 日	第 21 回夏祭り
10 月 24 日	避難訓練
12 月　3 日	精神科病院に対する実地審査
12 月　7 日	医療連携勉強会
12 月 24 日	クリスマス会
1 月　6 日	年賀式
2 月 26 日 ～ 27 日	病院機能評価　受審
3 月 26 日	第 58 回定時社員総会・理事会

沿革

福井厚生病院関連

年	月	内　容
1983	4	福井厚生病院開設　50 床
	8	30 床増床　計 80 床
1984	8	57 床増床　計 137 床
1986	4	基準看護・基準給食・基準寝具の認可
	10	基準看護特Ⅰ類の認可
1987	8	在宅酸素療法指導管理の認可
		管理棟、リハビリ室落成
1988	1	運動療法の実施の認可
	8	総合病院の認可
1989	11	MRI 装置の設備
1990	2	作業療法の実施の認可
		救急病院に認定
	6	福井工業大学付属　福井高等学校 准看護実習開始
1991	5	医療法人　厚生会　設立
	12	基準看護特Ⅱ類の認可
1992	4	入院時医学管理加算の認可
	11	人工腎臓透析用灌流液の水処理加算の認可
1993	3	新館完成　精神科病棟落成 （50 床増床　計 187 床）
	5	院内託児所「いちごルーム」開設
	7	職員寮「ファミール厚生」落成
	8	精神科デイ・ケア（小規模）の認可
		特別管理給食加算の認可
1994	3	薬剤管理指導料の認可
	8	精神科デイ・ケア（大規模）の認可
	10	新看護（3 : 1（A）看護・10 : 1看護補助）の認可

年	月	内　容
1995	10	外来部門増築リニューアル
		内視鏡センター開設
1996	6	院内感染防止対策の施設基準の認可
1998	4	ペースメーカー移植術の施設基準の認可
	5	院外処方箋発行
	10	新看護（3 : 1（A）看護・10 : 1 看護補助、 平均在院日数 60 日以内）の認可
1999	5	大動脈バルーンパンピング法等にかかる 施設基準の認可
		南館完成（精神デイ・ケア移設）
	7	3B 病棟完成
	8	21 床増床　187 床→208 床
	10	看護体系変更 一般病床 3 : 1（A）→2.5 : 1（A）
2000	2	療養型病床群 環境加算 8 床の認可 （医療保険適用 4 床・介護保険摘用 4 床）
		一般病床 140 床、精神 50 床、 特例老人病床 10 床、療養型病床 8 床　計 208 床
2001	1	健康増進課　敦賀営業所開設
	4	手術室、中央材料室設備リニューアル
	8	日帰り手術センター、産科センター開設
	9	診療支援管理室開設
2002	1	MRI 更新（北陸初フィリップス社製　1.5T）
	4	循環器科開設
		言語聴覚療法Ⅱの認可
	10	医療安全管理体制実施の認可
		褥瘡対策体制整備の認可
2003	1	診療録管理体制加算の認可
	5	特殊 MRI 撮影の認可
	7	一般病床150床、精神50床、療養型病床8床 計208床

年	月	内　容
2003	9	画像診断管理加算 1 の認可
2004	1	画像診断管理加算 2 の認可
		外来処置室リニューアル
	4	褥瘡患者管理加算の認可
	7	睡眠外来開始
	8	診療時間変更届出　月～金 8：30～19：00 土 8：30～17：00　日・祭 9：00～12：30
		不整脈外来開始
	10	肝臓外来開始
2005	1	検体検査管理加算Ⅰの認可
		総合外来（17：00～19：00）開始
	2	亜急性期病床（10 床）の認可
	5	16 列マルチスライス CT を導入
	7	日本医療機能評価機構認定
	10	亜急性期病床（10 床→14 床）へ病床数変更
	12	診療科目変更：産科閉鎖
2006	2	診療科目変更：胃腸科追加
	4	一般病棟入院基本料 10：1、 精神病棟入院基本料 15：1 の認可
		診療科目変更：神経科、精神科→精神科 診療科目変更：神経内科追加
		脳血管疾患等・運動器・ 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）の認可
		栄養管理実施加算の認可
	6	診療科目変更：産婦人科→婦人科
		一般病床 42 床休止
		指定介護療養型医療施設（8 床）辞退
2007	4	精神科作業療法の認可
		精神科ナイト・ケアの認可
	5	特殊 CT 撮影および特殊 MRI 撮影の認可

年	月	内　容
2008	1	診療科目変更：眼科閉鎖
	2	検体検査管理加算Ⅱの認可
		病棟再編 3F 病棟→3A・3B 病棟復活 一般病床休止 42 床→38 床
	4	診療科目変更：脳神経外科閉鎖
		診療科目変更：乳腺外科追加
		福井県エイズ基幹病院に認定
2009	1	病棟再編 3A・3B・4F 病棟：10 床復活 一般病床 130 床・精神 50 床稼動
		診療科目変更：リハビリテーション科追加
	4	「特例社団法人日本精神科看護技術協会 精神科認定看護師 認定看護師教育機関」認定
	6	一般病棟入院基本料（10：1）の受理 （一般病床 133 床（3 床増）増床）
2010	1	診療科目変更：麻酔科追加
	3	中棟稼動（健診センター、透析センター）
	4	「日本老年医学会　認定施設」に認定
	6	2A 病棟　37 床稼動
	8	回復期リハビリテーション病棟開設 32 床稼動
2011	1	日本医療機能評価機構認定
		専門夕診開始
	5	診療科目変更：形成外科追加
	10	電子カルテ稼働
2012	1	整形外科診察室リニューアル
		血管造影室新設、心臓カテーテル装置増設
	2	208 床稼働
	4	院長交代（山本　誠→羽場　利博） 名誉院長就任（山本　誠）
	6	急性心筋梗塞救急搬送指定病院認定
	9	診療科目変更：脳神経外科追加
	11	診療科目変更：乳腺外科閉鎖

年	月	内　容
2012	11	MRI 装置増設（GE 社製　1.5T）
2013	3	CT 入替（GE 社製　64 列マルチスライス）
	6	防犯カメラ設置
	8	胸部 X 線検診車を導入
	9	感謝の集い（ユーアイふくい）
		30 周年記念式典（ユアーズホテル福井）
	12	自動精算機を導入
2014	6	褥瘡ラウンドへの外部専門看護師 （認定看護師）の介入開始
		院内託児所「みつばちルーム」開設
	7	亜急性期病床の廃止、一般病床へ変更
	10	透析監視装置の入替
2015	3	職員寮「La Mer」落成
	4	理事長交代（林　好孝→林　譲也）
	7	日本医療機能評価機構認定
	9	新規胸部 X 線検診車を導入
	12	診療日変更：日曜日、祝祭日を休日扱いとする
2016	4	診療科目変更：小児整形外科追加
	8	地域包括ケア病棟開設 43 床稼動
	12	診療科目変更：眼科追加
2017	2	眼科リニューアル
	9	診療科目変更： 内分泌代謝内科→内分泌・代謝・糖尿病内科
2018	3	ふくいメディカルネット開示医療機関として 参画
	4	診療科目変更：外科→消化器・一般外科
		診療科目変更：胃腸科→消化器内科
		「しあわせ元気リハ」開設
	7	精神科病棟　9 床減床　計 199 床
2019	3	厨房施設落成
	5	診療科目変更：小児整形外科閉鎖
	10	診療時間変更届出 月～金 8：30～19：00　　土 8：30～12：30

介護事業部関連

年	月	内　容
1992	6	訪問看護ひまわりステーション開設
1993	4	福井厚生病院在宅支援センター開設
	8	福井厚生病院ホームヘルプ事業開設
1994	5	訪問看護ステーション美山開設
1997	2	訪問看護さくらステーション　大野市に開設
1999	10	介護支援事業所　5 カ所開設 （病院 1、ステーション 4）
	11	さくら在宅介護支援事業所開設
2000	1	通所リハビリセンター開設 （1 単位　4 月以降 2 単位）
	4	西館完成　ホームヘルプ事業開始
2001	1	通所リハビリセンター3 単位に拡張
2003	1	ほほえみネットワークさくら　大野市に開設
	11	デイサービスさくらの家開設
2005	12	デイサービスほっと館みやま開設
2006	3	ほほえみネットワークさくら増築
	4	中央包括支援センター開設
		東足羽包括支援センター開設
	10	さくらのヘルパーさん開設
		小規模多機能型居宅介護 「ほっと館みやま」に名称変更
2007	4	管理棟（旧ツーリング眼鏡）使用開始 （1F 西：介護事業部事務所・3F 東：デイ・ケア）
	7	デイサービスさくら開設
2010	5	グループホーム匠　福井市灯明寺に開設
2012	10	ぶる～夢森目　大野市森目に開設
2013	2	小規模多機能型居宅介護 ほっと館みやま廃止
	3	デイサービスセンターほっとかん開設
	4	すまいる・厚生　福井市下馬に開設

年	月	内　容
2013	4	小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり　福井市下馬に開設
		グループホームさくら日和　大野市に開設
2016	3	小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり廃止
		福井中央包括支援センター委託終了
	4	看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり開設
		訪問看護ステーション あったかホームひまわり開設
2017	3	訪問看護ステーション美山廃止
	4	訪問看護ひまわりステーション 美山サテライト開設
2018	10	中央在宅介護支援事業所休止（2019.3 廃止）
2019	4	デイサービスさくら廃止
	5	看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームさくら開設
	7	看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわりサテライト開設

施設概要

所　在　地	〒918-8537　福井県福井市下六条町 201 番地
T　E　L	0776-41-3377（代表）　　**F　A　X**　0776-41-3372
U　R　L	http://www.koseikaigroup.jp/hospital/
標榜科目	内科　呼吸器内科　内分泌･代謝･糖尿病内科　腎臓内科　循環器内科 消化器・一般外科　消化器内科　心臓血管外科　神経内科　精神科　脳神経外科 整形外科　形成外科　麻酔科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科 放射線科　リハビリテーション科
面　　積	敷地面積：18,719.71m^2　　建築面積：8,189.77m^2　　延面積：17,222.22m^2
看護形態	一般 10：1　　地域包括 13：1　　回復期 15：1　　精神 15：1
管　理　者	院長　羽場　利博
開　　設	1983 年 4 月 1 日
許可病床	199 床

施設認定資格

- ■ 日本医療機能評価機構認定　一般病院Ⅰ・リハビリテーション病院（副）・精神科病院（副）
- ■ 日本内科学会　認定医制度教育関連病院
- ■ 日本外科学会　外科専門医制度修練施設
- ■ 日本消化器内視鏡学会　指導施設
- ■ 日本消化器外科学会　専門医制度指定関連施設
- ■ 日本臨床細胞学会　認定施設
- ■ マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設
- ■ 日本がん治療認定医機構　認定研修施設
- ■ 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設
- ■ 糖尿病学会認定教育施設
- ■ THP の労働者健康保持増進サービス機関
- ■ 日本精神科看護技術協会　認定看護師教育機関
- ■ 日本循環器学会　循環器専門医研修施設
- ■ 日本消化器病学会　認定施設
- ■ 日本整形外科学会　専門医制度による研修施設
- ■ 卒後臨床研修協力施設（福井大学、金沢大学）
- ■ 日本消化器がん検診学会　認定指導施設
- ■ 日本栄養療法推進協議会 NST 稼動施設認定
- ■ 日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療法士認定教育施設
- ■ 日本人間ドック学会　指定病院

診療指定

- ■ 保険医療機関
- ■ 生活保護法指定医療機関
- ■ 労災指定　救急指定病院
- ■ 労災保険二次検診等給付医療機関
- ■ 生活習慣病検診実施機関
- ■ 国保療養取扱機関
- ■ 指定自立支援医療機関（育成医療・更正医療）
- ■ 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
- ■ 二次救急指定病院
- ■ 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関
- ■ 結核予防法指定医療機関
- ■ 精神保健福祉法指定医療機関
- ■ 身体障害者福祉法指定医療機関
- ■ 特定疾患認定医療機関
- ■ 難病医療協力病院

施設基準

- 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料10：1
  25 対 1 急性期看護補助体制加算
  夜間 100 対 1 急性期看護補助体制加算
  夜間看護体制加算
- 精神病棟入院基本料（15 対 1）
  精神保健福祉士配置加算
- 看護配置加算
- 看護補助加算 1
- 療養環境加算
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 2　40：1
- 精神科身体合併症管理加算
- 医療安全対策加算 1
- 感染防止対策加算 1
  抗菌薬適正使用支援加算
  感染防止対策地域連携加算
- 精神科救急搬送患者地域連携受入加算
- 総合評価加算
- 後発医薬品使用体制加算 1
- 病棟薬剤業務実施加算
- データ提出加算 2（200 床未満）
- 入退院支援加算
  入院時支援加算
- 認知症ケア加算 2
- 精神疾患診療体制加算
- 回復期リハビリテーション病棟入院料 3
  休日リハビリテーション提供体制加算
- 地域包括ケア病棟入院料 1
  看護職員配置加算
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- ニコチン依存症管理料
- がん治療連携指導料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 検査・画像情報提供加算
  および電子的診療情報評価料
- 医療機器安全管理料 1
- 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料
  遠隔モニタリング加算
- 持続血糖測定器加算及および
  皮下連続式グルコース測定
- ＨＰＶ核酸検出および
  ＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 検体検査管理加算（Ⅱ）
- 心臓カテーテル法による諸検査の
  血管内視鏡検査加算
- 時間内歩行試験
- ヘッドアップティルト試験
- コンタクトレンズ検査料 1
- 画像診断管理加算 2
- CT 撮影および MRI 撮影
- 冠動脈 CT 撮影加算
- 心臓 MRI 撮影加算
- 外来化学療法加算 2
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料（Ｉ）
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ｉ）
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ｉ）
  注 5 に規定する施設基準
- 運動器リハビリテーション料（Ｉ）
- 運動器リハビリテーション料（Ｉ）
  注 5 に規定する施設基準
- 呼吸器リハビリテーション料（Ｉ）
- がん患者リハビリテーション料
- 精神科作業療法
- 精神ショート・ケア「大規模なもの」
- 精神科デイ・ケア「大規模なもの」
- 精神科ナイト・ケア
- 医療保護入院等診療料
- 人工腎臓
  慢性維持透析を行った場合 1
  導入期加算 1
  透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾加算
  下肢末梢動脈疾患指導管理加算

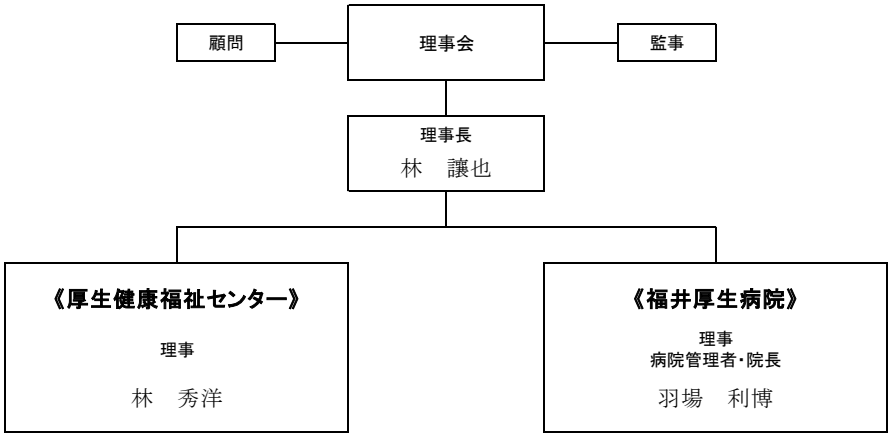
- ■ 食道縫合術、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻閉鎖術、胃瘻閉鎖術、小腸瘻閉鎖術、結腸瘻閉鎖術、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術、尿管腸瘻閉鎖術、膀胱腸瘻閉鎖術および腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- ■ ペースメーカー移植術
  およびペースメーカー交換術
- ■ 大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
- ■ 医療点数表第2章第10部手術の16に掲げる手術
- ■ 胃瘻造設術
- ■ 輸血管理料（Ⅱ）
- ■ 輸血適正使用加算
- ■ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ■ 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- ■ 麻酔管理料（Ⅰ）
- ■ 保険医療機関間の連携による病理診断
- ■ 入院時食事療養（Ⅰ）

職員数

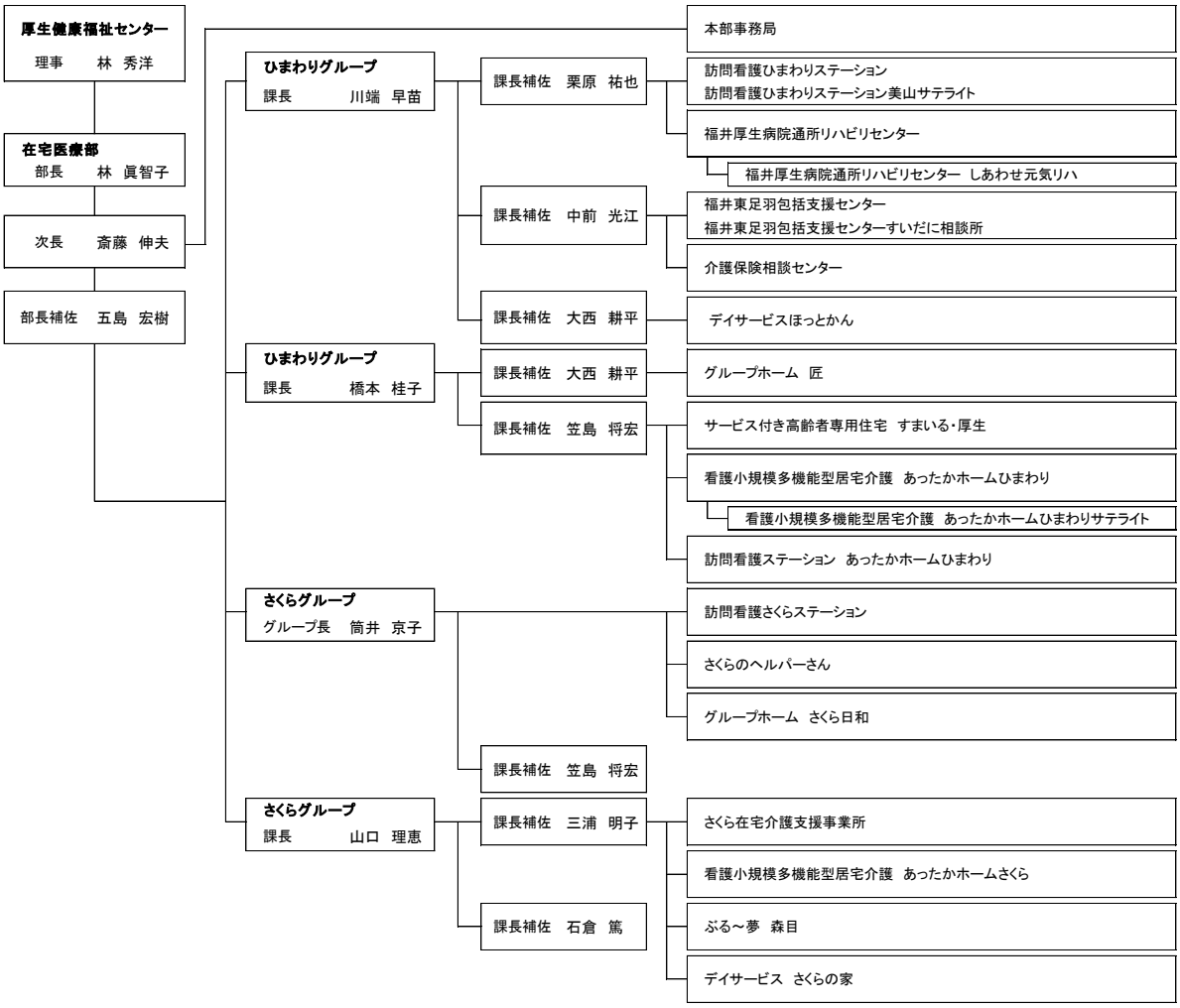
単位：人（2020 年 3 月 31 日現在）

		常勤	非常勤	合計
役員	役員	2	1	**3**
診療部門	医師	30		**30**
看護部門	保健師	3		**3**
	看護師	150	22	**172**
	准看護師	10	5	**15**
	介護福祉士	13	2	**15**
	看護補助者	12	4	**16**
	事務	2		**2**
技術部門	薬剤師	8	1	**9**
	管理栄養士	5		**5**
	臨床工学技士	6		**6**
	診療放射線技師	18	1	**19**
	臨床検査技師	14	7	**21**
	理学療法士	40		**40**
	作業療法士	17		**17**
	言語聴覚士	3	1	**4**
	視能訓練士	1		**1**
	臨床心理士	6		**6**
	リハビリ助手		1	**1**
	事務	5	1	**6**
事務部門	精神保健福祉士	6		**6**
	社会福祉士	5		**5**
	看護補助者		1	**1**
	事務	83	8	**91**
	施設管理士	8		**8**
	保育士	4	1	**5**
	保育補助者	1		**1**
在宅医療部門	看護師	30	9	**39**
	准看護師	3	5	**8**
	管理栄養士	1		**1**
	理学療法士	7	1	**8**
	作業療法士	10		**10**
	言語聴覚士	1		**1**
	社会福祉士	3		**3**
	介護福祉士	63	18	**81**
	介護職	17	17	**34**
	事務	8	1	**9**
	運転手		4	**4**
合計		**595**	**111**	**706**

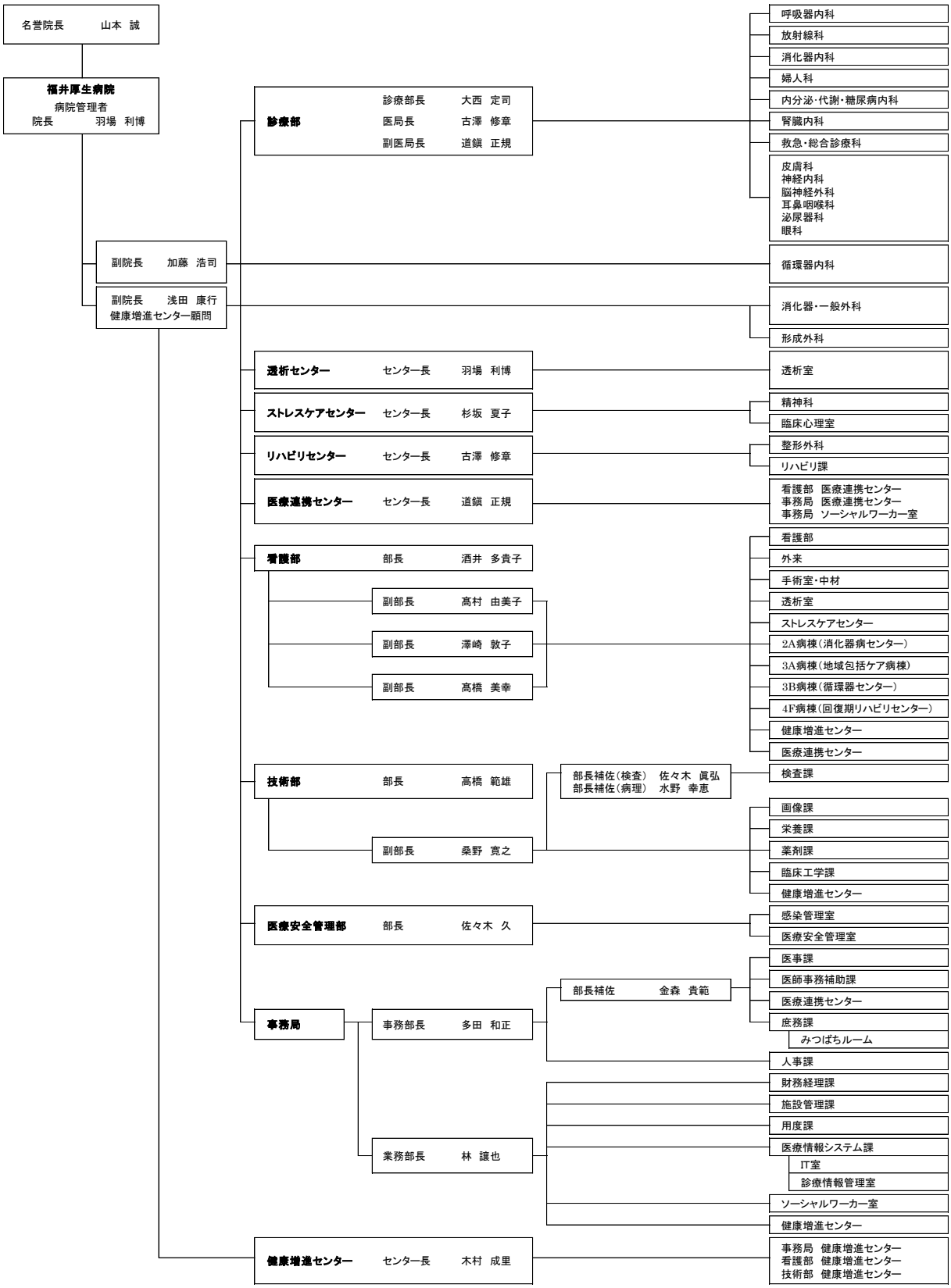
組織図



厚生健康福祉センター　在宅医療部



福井厚生病院


名誉院長 山本 誠
福井厚生病院
病院管理者
院長 羽場 利博
副院長 加藤 浩司
副院長 浅田 康行
健康増進センター顧問
診療部
診療部長 大西 定司
医局長 古澤 修章
副医局長 道鎮 正規
呼吸器内科
放射線科
消化器内科
婦人科
内分泌・代謝・糖尿病内科
腎臓内科
救急・総合診療科
皮膚科
神経内科
脳神経外科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
眼科
循環器内科
消化器・一般外科
形成外科
透析センター
センター長 羽場 利博
透析室
ストレスケアセンター
センター長 杉坂 夏子
精神科
臨床心理室
リハビリセンター
センター長 古澤 修章
整形外科
リハビリ課
医療連携センター
センター長 道鎮 正規
看護部 医療連携センター
事務局 医療連携センター
事務局 ソーシャルワーカー室
看護部
部長 酒井 多貴子
副部長 高村 由美子
副部長 澤崎 敦子
副部長 高橋 美幸
看護部
外来
手術室・中材
透析室
ストレスケアセンター
2A病棟（消化器病センター）
3A病棟（地域包括ケア病棟）
3B病棟（循環器センター）
4F病棟（回復期リハビリセンター）
健康増進センター
医療連携センター
技術部
部長 高橋 範雄
副部長 桑野 寛之
部長補佐（検査） 佐々木 眞弘
部長補佐（病理） 水野 幸恵
検査課
画像課
栄養課
薬剤課
臨床工学課
健康増進センター
医療安全管理部
部長 佐々木 久
感染管理室
医療安全管理室
事務局
事務部長 多田 和正
部長補佐 金森 貴範
医事課
医師事務補助課
医療連携センター
庶務課
みつばちルーム
人事課
業務部長 林 譲也
財務経理課
施設管理課
用度課
医療情報システム課
IT室
診療情報管理室
ソーシャルワーカー室
健康増進センター
健康増進センター
センター長 木村 成里
事務局 健康増進センター
看護部 健康増進センター
技術部 健康増進センター

関連施設

■ひまわりグループ

施設・事業所名	郵便番号	住所	電話番号
介護事業部本部事務局	918-8135	福井市下六条町 217	0776-41-8300
福井厚生病院介護保険相談センター			0776-41-8020
訪問看護ひまわりステーション			0776-41-8484
福井厚生病院通所リハビリセンター			0776-41-4747
福井東足羽包括支援センター	918-8537	福井市下六条町 201	0776-41-4135
サービス付高齢者向け住宅すまいる・厚生	918-8112	福井市下馬三丁目 2302	0776-33-6517
看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわり			0776-33-6515
訪問看護ステーション あったかホームひまわり			
看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームひまわりサテライト	918-8135	福井市下六条町 7－26－1	0776-41-4001
グループホーム匠	910-0063	福井市灯明寺四丁目 1706	0776-28-3232
訪問看護ひまわりステーション 美山サテライト	910-2346	福井市椙谷町 12－9－2	0776-90-3838
デイサービスセンターほっとかん			
福井東足羽包括支援センター すいだに相談所			0776-90-3858

■さくらグループ

施設・事業所名	郵便番号	住所	電話番号
訪問看護さくらステーション	912-0004	大野市中津川 32－33	0779-69-7090
さくらのヘルパーさん			
デイサービスさくらの家			
看護小規模多機能型居宅介護 あったかホームさくら			0779-69-7236
さくら在宅介護支援事業所			0776-69-7762
グループホームさくら日和			0779-69-7339
ぶる～夢森目	912-0804	大野市森目 22－7	0779-66-7739

学会別指導医・専門医・認定医等資格一覧

日本内科学会	総合専門医	加藤 浩司　大西 定司　木村 記代 藤井 美紀　後藤 拓也　内山 崇 川村 里佳
	認定医	山本 誠　羽場 利博　加藤 浩司 大西 定司　道鎮 正規　東田 元 熊本 輝彦　藤井 美紀　後藤 拓也 松浦 宏之　内山 崇　川村 里佳 宮永 大
	教育関連病院指導医	山本 誠　羽場 利博　加藤 浩司 大西 定司　道鎮 正規　前川 直美 東田 元　藤井 美紀
	J-OSLER 指導医	加藤 浩司　大西 定司　東田 元 藤井 美紀　内山 崇
日本肝臓学会	専門医	山本 誠
日本糖尿病学会	専門医	藤井 美紀　松浦 宏之
	研修指導医	藤井 美紀
日本血液学会	指導医	羽場 利博
	専門医	羽場 利博
日本循環器学会	専門医	加藤 浩司　熊本 輝彦　後藤 拓也
日本呼吸器学会	専門医	大西 定司
日本外科学会	指導医	浅田 康行
	専門医	浅田 康行　木村 成里　佐々木 久
	認定医	浅田 康行　木村 成里　佐々木 久
日本消化器外科学会	指導医	浅田 康行
	専門医	浅田 康行
	認定医	浅田 康行
	消化器がん外科治療認定医	浅田 康行
日本消化器病学会	指導医	山本 誠　浅田 康行　東田 元
	専門医	山本 誠　浅田 康行　道鎮 正規 東田 元
日本消化器内視鏡学会	指導医	浅田 康行　東田 元
	専門医	山本 誠　浅田 康行　道鎮 正規 東田 元　内山 崇
日本消化器がん検診学会	指導医	浅田 康行
	総合認定医	浅田 康行
	認定医	浅田 康行　木村 成里
日本静脈経腸栄養学会	認定医	浅田 康行

日本静脈経腸栄養学会	TNT	浅田 康行　道鎮 正規　前川 直美 木村 成里　佐々木 久　内山　崇
日本救急医学会	専門医	瀧波 慶和　後藤 拓也　内山　崇
日本集中治療医学会	専門医	瀧波 慶和　後藤 拓也
日本プライマリ・ケア連合学会	指導医	内山　崇
	認定医	内山　崇
日本精神神経学会	精神科専門医	三崎　究　杉坂 夏子
日本睡眠学会	専門医	三崎　究
日本総合病院精神医学会	指導医・専門医	三崎　究
日本整形外科学会	専門医	古澤 修章
	リウマチ医	古澤 修章
	スポーツ医	古澤 修章
	脊椎脊髄病医	古澤 修章
	運動器リハビリテーション医	古澤 修章
日本リウマチ学会	専門医	古澤 修章　川村 里佳
日本医学放射線学会	専門医	高橋 範雄
日本超音波医学会	専門医	加藤 浩司
	指導医（循環器）	加藤 浩司
日本臨床内科医会	専門医	山本　誠　前川 直美
	認定医	山本　誠　前川 直美　内山　崇
日本内分泌学会	内分泌代謝科指導医	藤井 美紀
	内分泌代謝科（内科）専門医	藤井 美紀
日本腎臓学会	指導医	木村 記代
	専門医	木村 記代　川村 里佳
日本透析医学会	専門医	木村 記代
日本形成外科学会	専門医	濱　尚子　多田 朋子
日本麻酔科学会	指導医・専門医	瀧波 慶和
日本ペインクリニック学会	専門医	瀧波 慶和
日本蘇生学会	指導医	瀧波 慶和
日本乳がん検診精度管理中央機構	読影認定	木村 成里　佐々木 久　銅　愛
日本産科婦人科学会	専門医	福岡 哲二　銅　愛
	認定医	福岡 哲二
日本人間ドック学会	認定施設指導医・専門医	山本　誠　木村 成里
	認定医	山本　誠　羽場 利博　木村 成里 岡村 誠太郎
	人間ドック健診情報管理指導士	前川 直美　木村 成里
ICD 制度協議会	インフェクションコントロールドクター	大西 定司

日本医師会	認定産業医	前川 直美　木村 成里　岡村 誠太郎 熊本 輝彦　銅　愛　瀧波 慶和 内山　崇
日本医師会	認定健康スポーツ医	古澤 修章　前川 直美
日本病院会	医療安全管理者	佐々木 久　内山　崇
福井県医師会	母体保護法指定医	福岡 哲二
その他	身体障害者福祉法指定医	山本　誠　羽場 利博　加藤 浩司 浅田 康行　大西 定司　古澤 修章 道鎮 正規　三崎　究　前川 直美 木村 成里　東田　元　佐々木 久 瀧波 慶和　熊本 輝彦　木村 記代 藤井 美紀　後藤 拓也　松浦 宏之 内山　崇
	福井大学医学部臨床教授	加藤 浩司
	福井県臨床研修指導医	前川 直美
	精神保健指定医	三崎　究　杉坂 夏子
	がん治療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修修了	羽場 利博　大西 定司　道鎮 正規 東田　元　佐々木 久　杉坂 夏子 瀧波 慶和　内山　崇　濱　尚子
	厚生労働省認定　DMAT 隊員	瀧波 慶和　内山　崇
	厚生労働省認定　麻酔科標榜医	瀧波 慶和　内山　崇
	JPTEC 協議会認定 JPTEC インストラクター	内山　崇
	日本外傷診療研究機構認定 JATEC プロバイダー	内山　崇
	周産期医療支援機構認定 BLSO・ALSO プロバイダー	内山　崇
	1 day MIMMS コース終了	山本　誠
	乳房再建用エキスパンダー／ インプラント責任医師	濱　尚子
	乳房再建用エキスパンダー／ インプラント実施医師	多田　朋子
	金沢大学医学部附属病院及び 関連病院研修指導医 養成ワークショップ課程修了	浅田 康行

委員会

法令に基づく委員会

労働安全衛生委員会	職員の危険防止、健康障害の防止および健康の保持増進を図る。	医療ガス安全管理委員会	医療ガス設備の安全管理を図り、患者、利用者、職員の安全を確保する。
防火管理委員会	防火・防災業務の適正な運営を図り、患者、利用者、職員の安全を確保する。	個人情報保護管理委員会	個人情報の保護に関する法律第20 条に定める個人データの安全管理措置の一環として、個人情報保護の推進を図る。
輸血療法委員会	輸血に関する適応・管理・事故や合併症等を検討し、適切な輸血療法を推進する。		

診療報酬の算定に基づく委員会

医療安全管理委員会	医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。	セーフティマネジメント委員会	事故の原因分析や事故防止の具体策等について調査・検討し、迅速に職場にフィードバックする。
院内感染防止対策委員会	院内感染の予防および感染症発生時における適正な処理を図る。	ICT 委員会	感染症発症と予防に関し、医療安全管理部 感染管理室が企画立案した院内感染対策の実施・評価・報告を行う。
NST 委員会	患者に適切な治療を行うため、医療行為の基本である栄養療法について理解を深める。	栄養委員会	栄養管理業務の円滑化と充実を図る。
褥瘡対策委員会	院内で確認される褥瘡患者への対策を的確に推進することおよび褥瘡発生防止に努める。	臨床検査適正化委員会	臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行う。

診療録管理委員会	病歴管理上および病歴に関する事項を検討、討議する。いつでも閲覧できるよう整備、管理する。記録の標準化を図る。	DPCコーディング委員会	DPC コーディングの適切性を図る。
精神科入院処遇検討委員会	ストレスケア科で入院治療を受ける患者の人権を守り、精神保健福祉法を遵守する。	医療機器安全管理委員会	医療機器にかかわる事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する
透析機器安全管理委員会	透析液の製造、品質管理、透析機器設備に関する適正な管理および必要に応じた改善を行う。		

組織運営に関する委員会　＜医療の質＞

倫理委員会	医療行為および研究等に関する全般的事項について、倫理的観点等から審議する。	手術室運営委員会	手術室の円滑な運営を図り、患者に安全な手術および麻酔の提供ができる体制を維持する。
個人情報調査部会	個人情報の保護管理について、実施確認等を行う。	クリニカルパス委員会	医療の質と安全の保証、業務の効率性および在院日数短縮を図る。
糖尿病療養指導委員会	糖尿病に関する情報を提供し、また患者の生活の質を維持、あるいは高める。さらに安全かつ効果的な治療を行える環境を整える。	病床管理委員会	病床の利用状況、入院患者の動向等を把握し、円滑な入退院、病床利用率向上について検討する。
サービス向上委員会	患者へのサービスの向上ならびに職員間での節度ある対応と人間関係の調和を保つ。	業務改善委員会	部門、職種の役割を相互に理解し、業務を遂行していくうえでの連携等の課題を検討し、改善に向けた活動を行う。
研修委員会	患者主体の対応、医療に関わる専門職として自己啓発および部門間連携を図るための相互理解と協調ができる人材の育成を目指し、職員への研修活動等を行う。	緩和ケア委員会	外来・入院診療においてがん緩和医療の標準化を図る。

臓器・組織提供委員会	臓器の移植に関する法律に基づき、移植医療の適正な実施を図る。	循環器専門医研修管理委員会	日本循環器学会専門医県有施設として、循環器専門医研修カリキュラム達成のためその施設内容が適正であるかを検討し評価する。

組織運営に関する委員会　＜経営＞

SPD 委員会	診療材料の新規採用・試用・削除を決定し、材料の機能を保持しつつコスト低減により病院経営に資する。診療材料の円滑な管理およびコスト低減を図る。	薬事委員会	医薬品の採用、医薬品の適正使用および管理を行う。

組織運営に関する委員会　＜その他＞

ふれあいサービス委員会	全職員の親睦と融和を図るための各種行事の企画、運営を行う。また患者様、地域の皆様との交流を図る行事の企画、運営も推進する。	夏祭り実行委員会	夏祭りを継続的に企画・運営する。職員の福利厚生および交流を図る。地域との交流を図り、地域と病院との連携を密接にする。
院内託児所運営委員会	院内託児所の円滑な運営を図るとともに、託児所が医療従事者の離職防止及び再就業を促進することができる体制を維持する。		

看護部　委員会

業務委員会	患者の安全を保障し、安心して療養生活を送れるよう、また医療技術の進歩と高度化に伴う看護業務の見直し、看護業務の整理、改善を推進する。	教育委員会	看護職員が期待される責務と役割を認識し、自己の能力を開発するための機会を企画・実践する。
記録委員会	診療録内の看護記録の適切な記載方法や関連する各書式の提案・作成、および監査を行い、看護の質を向上する。	感染予防リンクナース会	感染管理室の活動を支援し、患者や職員を感染から守り、安全な医療の提供のために活動をすることを、より具体的・効率的に行う。
安全委員会	患者の安全を保障し、安心して療養生活を送れるよう、各部署で委員が中心となって活動する。	プリセプター委員会	プリセプターの役割を認識し、新人看護職員の OJT による指導、育成を効果的に実施する。

学会・講演・研究発表等

診療部 ・・・・・・・・・・20
コメディカル ・・・・・・・・・・22
院内研究発表会 ・・・・・・・・・・24
講演・講師等 ・・・・・・・・・・25
院内勉強会 ・・・・・・・・・・27
実習等受入れ ・・・・・・・・・・29

診療部

学会

開催日	学会名	演　題	発表者	開催地
5 月 18 日	第 11 回 Catheter Ablation Course for AF	Spatiotemporal dispersion A new method to modify atrial substrate in patients with atrial fibrillation	○加藤　浩司	大阪府
6 月 30 日	第 138 回 日本循環器学会 北陸地方会	初発症状が心タンポナーデを呈した 悪性リンパ腫の 1 例	○後藤　拓也 宮永　　大 加藤　浩司	石川県
9 月 8 日	第 93 回 日本糖尿病学会 中部地方会	仕事と家庭に生きる	○藤井　美紀	福井県
		CSII を導入した心房細動に左心耳内血栓を合併した 2 型糖尿病の 1 例	○藤井　美紀	福井県
10 月 2 日	第 47 回 日本救急医学会 学術集会	出雲地区における救急搬送された 心肺停止傷病者の現状について ―ウツタイン様式調査結果から―	○瀧波　慶和	東京都
11 月 8 日	日本不整脈心電学会 カテーテルアブレーション関連 秋季大会 2019	右肺静脈分岐部を頻拍回路とする マクロリエントリー性心房頻拍に対する アブレーション; Ripple map が critical isthmus の同定に 有用であった一例	○加藤　浩司 宮永　　大 後藤　拓也 羽場　利博 山本　　誠	石川県
11 月 9 日	第 19 回 日本内分泌学会 北陸支部学術集会	亜急性甲状腺炎に慢性甲状腺炎様所見を 認めた 1 例	○藤井　美紀 川村　里佳 松浦　宏之 木村　記代 大西　定司 前川　直美 羽場　利博 山本　　誠	富山県

研究会・講演会等

開催日	会　名	演　題	発表者	開催地
7 月 3 日	糖尿病・脂質異常症の包括治療 地域医療連携講演会	脂質異常症治療の現状と最近の話題	○藤井　美紀	福井県
10 月 10 日	糖尿病治療 UpDate フォーラム in 福井	SGLT2 阻害薬による糖尿病治療	○藤井　美紀	福井県
12 月 4 日	福井アブレーション連携セミナー	当院での新たな心房細動の アブレーションについて	○宮永　　大 後藤　拓也 加藤　浩司 羽場　利博 山本　　誠	福井県

座長・司会等

学会

開催日	学会名	担　当	担当者	開催地
11 月　9 日	第 19 回 日本内分泌学会 北陸支部学術集会	座長	藤井　美紀	富山県

研究会・講演会等

開催日	学会名	担　当	担当者	開催地
7 月　3 日	糖尿病・脂質異常症の包括治療 地域医療連携講演会	座長	加藤　浩司	福井県
8 月 24 日	第 700 回 福井県胃腸疾患懇話会 特別講演会	座長	東田　　元	福井県
10 月 17 日	第 4 回 福井消化器・脳神経合同講演会	座長	道鎭　正規	福井県
10 月 20 日	北陸 PEG・在宅栄養研究会 第 16 回 福井 PEG ワークショップ	講師 当番世話人、講師	浅田　康行 道鎭　正規	福井県
	第 32 回 福井県緩和医療研究会	当番幹事、座長	杉坂　夏子	福井県
11 月 23 日	第 98 回 北陸糖尿病集談会	座長	藤井　美紀	石川県

コメディカル

全国学会・地方会

開催日	学会名	演　題	発表者	開催地
4 月　21 日	第 31 回 福井県医学検査学会	NST 介入終了と血清アルブミン値について	○小木　友実 （野村　亜希） 齊藤　泰子 仲間　文恵 苅安知亜紀	福井県
	日本うつ病リワーク協会年次大会 福井大会	リワークプログラムの中での役割がもたらす自己理解の検討	○山田　　凌	福井県
6 月　1 日	第 13 回 日本緩和医療薬学会年会	医療用麻薬服用中患者の海外渡航に関与した 1 症例	○山田　憲和 藤原　洋介 高木　明美 山村かほり 武田　尚美 三崎　　究 道鎮　正規 二之宮貴裕	千葉県
6 月　21 日	第 44 回 日本精神科看護学術集会	精神科病棟患者の外出・外泊時の正しい服薬に向けての取り組み	○山根　祐子 澤田　菜緒	長崎県
8 月　30 日	第 50 回 日本看護学会 －精神看護－学術集会	精神科看護の振り返りを行い看護実践に活かす～事例を通して学んだこと～	○澤田　菜緒 山下　千鶴 松井　智子 荒井　静香	福井県
8 月　31 日	第 50 回 日本看護学会 －精神看護－学術集会	MSE 勉強会における A 病棟看護師の受け止め方と活用方法への今後の課題	○後藤のぞみ 永杉　純子 重森　千種 八木美智代	福井県
9 月　8 日	第 36 回 日本臨床細胞学会 北陸連合会学術集会	アブレーション前検査で偶然発見された Solid-pseudopapillary neoplasm(SPN) の 1 例	○高木結美果 水野　幸恵 杉本　愛鐘 （寺畑信太郎）	石川県
10 月　26 日	第 59 回 日本臨床衛生検査技師会 近畿支部 医学検査学会	アブレーション前検査で偶然発見された Solid-pseudopapillary neoplasm（SPN）の 1 例	○杉本　愛鐘 水野　幸恵 林　　萌美 小木　友実 高木結美果	滋賀県
2 月　14 日	第 35 回 日本環境感染学会	排泄介助における介助者の個人防護具の使用状況と小規模勉強会の効果	○谷田名留美 中島　治代	神奈川県

研究会

開催日	会名	演題	発表者	開催地
10 月　4 日	第 46 回 福井 NST 研究会	心臓リハビリテーション中のチーム医療において栄養改善した慢性心不全の一例	○白川　智大 桑野　寛之 湯下　範子 齋藤　祐衣 明城摩利子 天野　美鶴 吉川　知世 西岡　依佳 加藤　浩司 道鎭　正規 浅田　康行	福井県
10 月　20 日	第 32 回 福井県緩和医療研究会	当院におけるがんリハビリテーションの現状と今後の課題	○林　慶佑 冨坂　勇太 畠山　香世 田中　謙吾 畳谷　達也 桑野　寛之	福井県

院内研究発表会

第Ⅰ群（開催日：2020 年 1 月 23 日）　　座長　臨床工学課　岸上　香織

トイレ離脱技術の獲得に向けて （ロールプレイング実施前後の比較）	透析室	○山内　真弥 木本　明希、日高　祐子
造影 CT におけるスキャン開始時間についての検討	画像課	○美濃部　友希

第Ⅱ群（開催日：2020 年 1 月 28 日）　　座長　ひまわりグループ　川端　早苗

病棟デイの取組み （生活リズムを考慮した活動）	4F 病棟	○清水　敬 杉田　聖香、野尻　美穂
薬剤課マニュアル整備による 業務運用の restart“再始動”に向けた取組みと その有用性の検討	薬剤課	○野村　真里 加藤　由加里、奥村　謙一、岩﨑　有可里 吉村　直人、藤原　洋介、山田　憲和 中村　智子、髙橋　結花、宇都宮　茜 吉川　知世、吉田　明弘

第Ⅲ群（開催日：2020 年 1 月 29 日）　　座長　看護部　高橋　美幸

社会復帰を考慮した生活リズム維持のための取組み ～眠前薬内服時間の変更～	ストレスケア センター	○竹内　由樹 重森　千種、中村　美鈴
当院回復期病棟における 運動器疾患患者の現状と運動負荷量の検討	リハビリ センター	○島津　紀莉子 中村　友美、桑野　寛之
匂い（環境）が与える認知症利用者への影響 （認知症利用者の日常生活においての変化）	グループホーム さくら日和	○細川　和誉 廣瀬　比沙子

第Ⅳ群（開催日：2020 年 1 月 30 日）　　座長　医療情報システム課　山本　拓史

便潜血陽性者の精密検査受診率向上に向けた取組み ～第 2 報～	健康増進 センター	○反保　晶子 馬場　真希、髙坂　佳織
保険審査（査定）対策	医事課	○有田　妃出夫

講演・講師等

長期的講義

講義先	内　容	講　師
福井工業大学附属福井高等学校 衛生看護科	解剖生理学	羽場　利博 古澤　修章 木村　記代 藤井　美紀 後藤　拓也 銅　　愛
	看護の統合と実践Ⅰ・医療安全	森川　裕美 岸上　香織
	在宅看護論（目的論）	林　眞智子 五島　宏樹
	食事療法	明城　摩利子
福井健康福祉センター	育児不安解消サポート事業「こあら広場」	杉坂　夏子
坂井健康福祉センター	育児不安解消サポート事業「ぺんぎんクラブ」	杉坂　夏子
福井県社会福祉協議会	福井県介護支援専門員専門研修 ・更新研修課程Ⅱファシリテーター	吉田　千春 川端　早苗 三浦　明子 林　　淳子
福井市医師会看護専門学校	在宅看護論方法論Ⅱ、Ⅲ	五島　宏樹
金井学園	スポーツ医学講義	桑野　寛之

短期的講義、講演等

講演日	依頼元	内　容	講　師	会　場
6月　14日	福井県社会福祉協議会	介護支援専門員試験準備、 講習会講師	林　眞智子	福井県産業会館
6月　22日	福井厚生病院	第31回 肝臓病教室 肝臓病治療の進歩	山本　　誠	福井厚生病院
7月　14日	公立丹南病院	公立丹南病院 ICLSディレクター	内山　　崇	公立丹南病院
7月　20日	福井県看護協会	解りやすい感染対策の視点 ～保健所の立入調査と 施設ラウンド～	中島　治代	福井県看護協会
7月　23日 ～8月　7日	福井県社会福祉士会	高齢者虐待防止関係職員 研修会	奥脇　由美	サンドーム福井

講演日	依頼元	内　容	講　師	会　場
7 月　24 日	福井県社会福祉協議会	初任者のための 介護技術向上研修	森川　裕美	福井県社会福祉協議会 嶺南支所
7 月　25 日	福井県社会福祉協議会	福井県介護支援専門員 実務研修	桑野　寛之 五島　宏樹	サンドーム福井
8 月　30 日	福井大学医学部	福井県 学生地域夏期研修 2019	内山　　崇	神明苑
9 月　7 日	PEG・在宅医療学会	第 24 回 PEG・在宅医療学会 学術集会　教育アドバイザー	湯下　範子	大阪国際交流センター
9 月　11 日	美山地区 敬老会実行委員会	美山地区敬老会　救護班	中村　美鈴	福井市 木ごころ文化ホール
9 月　22 日	JPTEC 協議会	第 41 回 福井県 JPTEC プロバイダー 更新コースディレクター	内山　　崇	公立丹南病院
10 月　4 日	福井県立 すこやかシルバー病院	介護教育研修「高齢者の 排泄援助とスキンケア」	宮腰　　心	福井県立 すこやかシルバー病院
10 月　27 日	美山地区そばまつり ・文化祭実行委員会	美山地区ふれあいまつり・ 文化祭　救護班	髙村　由美子	美山木ごころ文化の郷
11 月　2 日	福井県社会福祉協議会	意思決定支援に基づいた 本人情報シートの使い方研修	奥脇　由美	鯖江健康福祉センター
11 月　16 日	福井県看護協会	講義「看護の力で防げる スキン・テア」	宮腰　　心	坂井市立三国病院
11 月　22 日	美山貴寿苑	利用者感染から守る為に	中島　治代	美山　貴寿の家 シャルール
11 月　30 日	福井厚生病院	第 32 回 肝臓病教室 肝炎・肝がんの過去と これから	山本　　誠	福井厚生病院
12 月　1 日	日本精神科看護協会 福井県支部	講演会	八木　美智代 尾毛谷美津江	福井県教育センター
2 月　12 日	福井県消防学校	専科教育「救急科」	内山　　崇	福井県消防学校
2 月　21 日	福井県社会福祉協議会	福井県介護支援専門員 実務研修講師	桑野　寛之 五島　宏樹	福井県産業会館

院内勉強会

開催日	主　催	内　容	講　師
4 月　17 日	NST 委員会	メタボリッククラブ　嚥下	リハビリ課　中川　史織
5 月　23 日	NST 委員会	メタボリッククラブ 検査値の見方（初級編）	検査課　小木　友美
6 月　3 日 ～　13 日	感染管理室	創傷と細菌感染 今こそペニシリンを学ぼう！	形成外科　多田　朋子 薬剤課　吉田　明弘
	医療安全管理室	AED の取扱について	循環器内科　後藤　拓也 救急・総合診療科　内山　崇
6 月　27 日	NST 委員会	メタボリッククラブ　輸液について	薬剤課　野村　真理
7 月　19 日	感染管理室	標準予防策を見直そう ～手指衛生から環境衛生まで～	学校法人聖路加国際大学聖路加国際病院 QI センター感染管理室マネージャー 坂本　史衣先生
7 月　25 日 31 日	NST 委員会	メタボリッククラブ 経腸栄養のトラブル対処法	栄養課　明城　摩利子
8 月　22 日 9 月　5 日	NST 委員会	メタボリッククラブ　食欲不振患者の 1 例 下痢の継続に対して栄養剤を変更した症例	3B 病棟　吉田　瞬 4F 病棟　杉田　聖香
9 月　19 日	研修委員会	レディースガードリーダー講習会	福井県警察本部の皆さま
10 月　2 日	NST 委員会	メタボリッククラブ サルコペニアについて	リハビリ課　髙橋　詩乃
10 月　8 日 10 日	サービス向上委員会	患者対応塾　基礎編 「患者応対技術の基本」（DVD）	NPO 法人メディカルリレーション マネジメント協会
10 月　29 日	NST 委員会	メタボリッククラブ　症例検討	3A 病棟 2A 病棟
10 月　31 日	臓器・組織提供委員会	臓器提供を通して周囲への感謝や命の尊さを学ぶ講演会	膵腎同時移植者　加藤　みゆき先生
11 月　19 日 ～　27 日	感染管理室	抗菌薬アップデート 抗菌薬スペクトルってなに？	循環器内科　後藤　拓也 薬剤課　吉田　明弘
	医療安全管理室	暴力に対する初期対応 医療機器の安全使用について	医療安全管理室　森川　裕美 臨床工学課　岸上　香織
11 月　26 日	NST 委員会	栄養輸液	薬剤課　吉川　知世
11 月　28 日	研修委員会	臨床病理検討会	たけふクリニック　院長 窪田　彰一先生

開催日	主　催	内　容	講　師
12 月　4 日 ～　11 日	研修委員会	職場におけるハラスメント	人事課　黒田　繁
12 月　20 日	研修委員会	救急診療のトラブル事例	福井大学　地域医療推進講座 特命教授　寺澤　秀一先生
12 月　24 日	NST 委員会	メタボリッククラブ 高齢うつから食欲不振になり経鼻栄養を用いた症例 栄養剤の変更で浮腫の著明な改善に至った症例	2F 病棟 栄養課　明城　摩利子
2 月　4 日	NST 委員会 褥瘡委員会	メタボリッククラブ 尿もれしないおむつの当て方	皮膚・排泄ケア認定看護師 宮腰　心
2 月　25 日	NST 委員会 褥瘡委員会	メタボリッククラブ 褥瘡局所ケアに使用する外用薬・ 創傷被覆剤	形成外科　濱　尚子
3 月　16 日 ～　24 日	研修委員会	2020 年診療報酬改定詳細の徹底解説と施行に向けた完全算定・基準届出の対応策（DVD）	ASK 梓診療報酬研究所 所長　中林　梓先生

実習等受入れ

実習依頼機関	課程	受入れ部署	人数
福井大学医学部附属病院	卒前臨床研修	医局	7
	卒後臨床研修		1
	環境保健学実習		2
	地域医療学実習		9
	医学科シャドーイング研修		34
	環境保健学実習	ストレスケアセンター、健康増進センター	6
	在宅看護学臨地実習	訪問看護ひまわりステーション	3
		福井東足羽包括支援センター	1
福井赤十字病院	新専門医制度	医局	1
	卒後臨床研修		2
福井県看護協会	訪問看護 e ラーニングを活用した訪問看護師養成講習会	訪問看護ひまわりステーション	1
		訪問看護さくらステーション	1
福井県ナースセンター	一日看護体験	看護部	13
福井県立大学	ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーカー室	1
	在宅看護学臨地実習	訪問看護ひまわりステーション	2
		訪問看護さくらステーション	3
福井県立看護専門学校	在宅看護論実習	訪問看護ひまわりステーション	10
		介護保険相談センター	10
		福井東足羽包括支援センター	2
福井市医師会看護専門学校	在宅看護論実習	福井東足羽包括支援センター	2
奥越明成高等学校生活福祉科	臨地実習	さくらグループ	6
福井工業大学附属福井高等学校	看護学生臨地実習	看護部	152
	臨地実習（在宅看護論）	介護保険相談センター	16
		訪問看護ひまわりステーション	2
		訪問看護さくらステーション	2
		福井東足羽包括支援センター	2
	臨地実習	グループホーム匠	11
	新採用教員の病院見学実習	看護部	2
中部学院大学	社会福祉実習	ソーシャルワーカー室	1
北陸大学	実務実習	薬剤課	1
金城大学	臨床実習	リハビリセンター	2
目白大学	臨床実習	リハビリセンター	1
つくば国際大学	臨床実習	リハビリセンター	1
日本医療科学大学	臨床実習	リハビリセンター	1

実習依頼機関	課程	受入れ部署	人数
朝日医療大学校	臨床実習	リハビリセンター	1
若狭医療福祉専門学校	臨床実習	リハビリセンター	2
京都医健専門学校	臨床実習	リハビリセンター	1
東海医療科学専門学校	臨床実習	リハビリセンター	3
理学・作業名古屋専門学校	臨床実習	リハビリセンター	1
関西学研医療福祉学院	臨床実習	リハビリセンター	1

職場体験・見学

依頼機関	課程	受入れ部署	人数
福井市足羽中学校	職場体験	病院全体	10
福井市足羽第一中学校	職場体験	病院全体	5
福井市光陽中学校	職場体験	病院全体	4
福井市高志中学校	職場体験	病院全体	9
福井市至民中学校	職場体験	病院全体	2
福井市成和中学校	職場体験	病院全体	5
福井市藤島中学校	職場体験	病院全体	6
福井市明倫中学校	職場体験	病院全体	8
福井市大東中学校	職場体験	病院全体	4
北陸中学校	職場体験	病院全体	3
福井市足羽中学校	校外学習	医局	10

患者統計

診療科別　外来患者数推移　・・・・・・・・・・32
地域別　外来患者数内訳　・・・・・・・・・・35
年齢別　外来患者数内訳　・・・・・・・・・・37
地域別　入院患者数内訳　・・・・・・・・・・39
年齢別　入院患者数内訳　・・・・・・・・・・41
外来・入院患者人口比率　・・・・・・・・・・43
ICD-10 による疾病統計　・・・・・・・・・・44
ICD-10 による死因統計　・・・・・・・・・・45
がん統計　・・・・・・・・・・46
救急搬送患者疾病別内訳　・・・・・・・・・・47

診療科別　外来患者数推移

診療科別 患者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2,111	2,186	2,175	2,302	2,162	2,093	2,256	2,151	2,404	2,434	2,058	2,170	**26,502**
ストレスケア科	2,808	2,770	2,684	2,824	2,754	2,658	2,902	2,873	2,782	2,706	2,476	2,783	**33,020**
神経内科	133	112	129	146	124	131	140	130	129	133	113	141	**1,561**
消化器内科	364	370	351	380	357	391	413	401	425	420	410	436	**4,718**
循環器内科	1,340	1,190	1,217	1,257	1,314	1,135	1,315	1,214	1,262	1,133	1,150	1,145	**14,672**
消化器・一般外科	578	581	510	572	561	518	535	498	459	467	410	409	**6,098**
整形外科	3,216	3,293	3,255	3,309	3,371	3,181	3,166	3,112	2,854	2,785	2,603	2,784	**36,929**
透析センター	939	916	858	924	952	866	910	864	868	857	821	864	**10,639**
形成外科	73	108	122	181	160	149	139	134	141	133	121	140	**1,601**
脳神経外科	41	34	41	39	31	37	39	36	30	27	23	28	**406**
皮膚科	264	300	281	299	300	205	190	170	203	154	153	206	**2,725**
泌尿器科	131	153	130	106	118	119	133	109	128	124	116	89	**1,456**
婦人科	141	137	163	190	181	142	167	170	143	131	136	121	**1,822**
眼科	158	178	197	184	242	170	189	201	226	188	180	205	**2,318**
耳鼻咽喉科	299	321	289	255	306	275	280	292	257	264	280	289	**3,407**
放射線科	35	32	40	24	33	29	23	27	29	21	31	28	**352**
麻酔科							2	18	14	12	6	3	**55**
合計	**12,631**	**12,681**	**12,442**	**12,992**	**12,966**	**12,099**	**12,799**	**12,400**	**12,354**	**11,989**	**11,087**	**11,841**	**148,281**

診療科別 初診患者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	253	326	265	277	262	231	239	251	340	415	229	222	**3,310**
ストレスケア科	43	40	37	38	40	29	47	25	36	32	38	51	**456**
神経内科	3		3	4	5	5	4	2	4	2	2	4	**38**
消化器内科	59	43	62	51	48	67	64	60	64	60	62	48	**688**
循環器内科	19	17	19	27	22	20	18	26	19	11	20	15	**233**
消化器・一般外科	106	106	74	97	99	95	106	93	71	80	73	69	**1,069**
整形外科	90	109	95	97	122	86	84	95	108	92	93	84	**1,155**
透析センター	1			1	2								**4**
形成外科	7	18	13	18	16	11	15	18	19	12	13	15	**175**
脳神経外科	9	8	3	5	4	4	3	2	1	3	7	4	**53**
皮膚科	19	26	32	29	30	20	16	10	22	17	18	19	**258**
泌尿器科	3	9	6	4	2	5	3	3	2	5	2	2	**46**
婦人科	23	26	35	34	27	22	24	19	17	23	12	17	**279**
眼科	11	20	10	17	22	14	15	15	12	14	9	11	**170**
耳鼻咽喉科	34	49	33	35	42	33	31	31	37	30	37	34	**426**
放射線科	33	27	36	22	29	28	21	27	25	17	28	25	**318**
麻酔科								2	2	2			**6**
合計	**713**	**824**	**723**	**756**	**772**	**670**	**690**	**679**	**779**	**815**	**643**	**620**	**8,684**

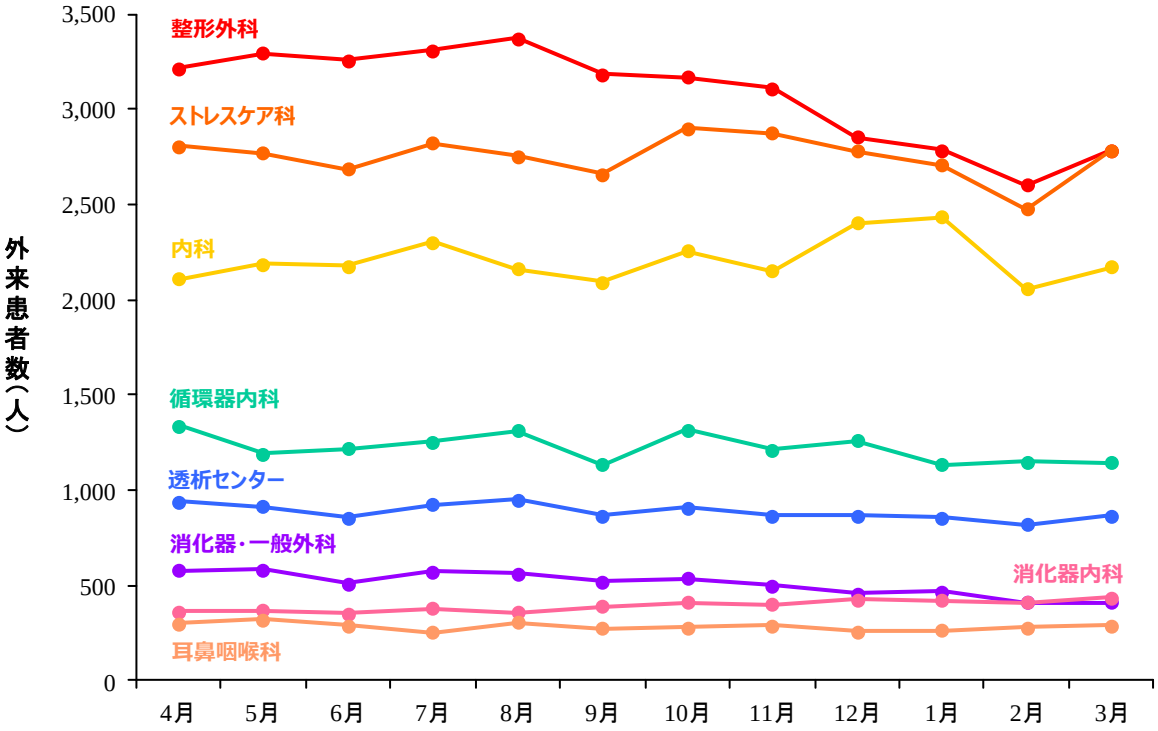
診療科別 再診患者数

単位：人

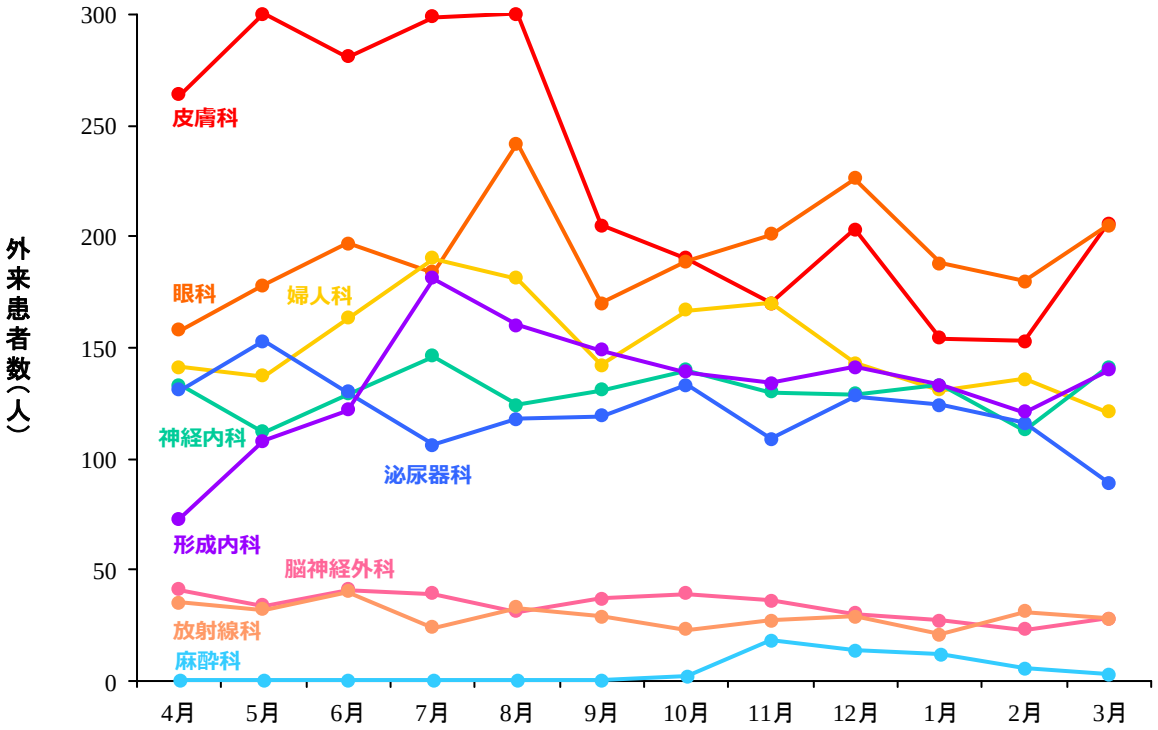
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1,858	1,860	1,910	2,025	1,900	1,862	2,017	1,900	2,064	2,019	1,829	1,948	**23,192**
ストレスケア科	2,765	2,730	2,647	2,786	2,714	2,629	2,855	2,848	2,746	2,674	2,438	2,732	**32,564**
神経内科	130	112	126	142	119	126	136	128	125	131	111	137	**1,523**
消化器内科	305	327	289	329	309	324	349	341	361	360	348	388	**4,030**
循環器内科	1,321	1,173	1,198	1,230	1,292	1,115	1,297	1,188	1,243	1,122	1,130	1,130	**14,439**
消化器・一般外科	472	475	436	475	462	423	429	405	388	387	337	340	**5,029**
整形外科	3,126	3,184	3,160	3,212	3,249	3,095	3,082	3,017	2,746	2,693	2,510	2,700	**35,774**
透析センター	938	916	858	923	950	866	910	864	868	857	821	864	**10,635**
形成外科	66	90	109	163	144	138	124	116	122	121	108	125	**1,426**
脳神経外科	32	26	38	34	27	33	36	34	29	24	16	24	**353**
皮膚科	245	274	249	270	270	185	174	160	181	137	135	187	**2,467**
泌尿器科	128	144	124	102	116	114	130	106	126	119	114	87	**1,410**
婦人科	118	111	128	156	154	120	143	151	126	108	124	104	**1,543**
眼科	147	158	187	167	220	156	174	186	214	174	171	194	**2,148**
耳鼻咽喉科	265	272	256	220	264	242	249	261	220	234	243	255	**2,981**
放射線科	2	5	4	2	4	1	2		4	4	3	3	**34**
麻酔科							2	16	12	10	6	3	**49**
合計	**11,918**	**11,857**	**11,719**	**12,236**	**12,194**	**11,429**	**12,109**	**11,721**	**11,575**	**11,174**	**10,444**	**11,221**	**139,597**

診療科別 患者数推移

整形外科、ストレスケア科、内科、循環器内科、透析センター、消化器・一般外科、消化器内科、耳鼻咽喉科



皮膚科、眼科、婦人科、神経内科、泌尿器科、形成外科、脳神経外科、放射線科、麻酔科

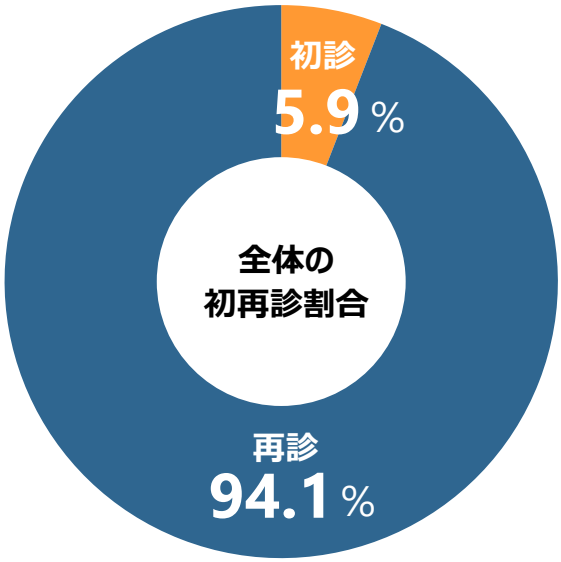


診療科別 初再診数

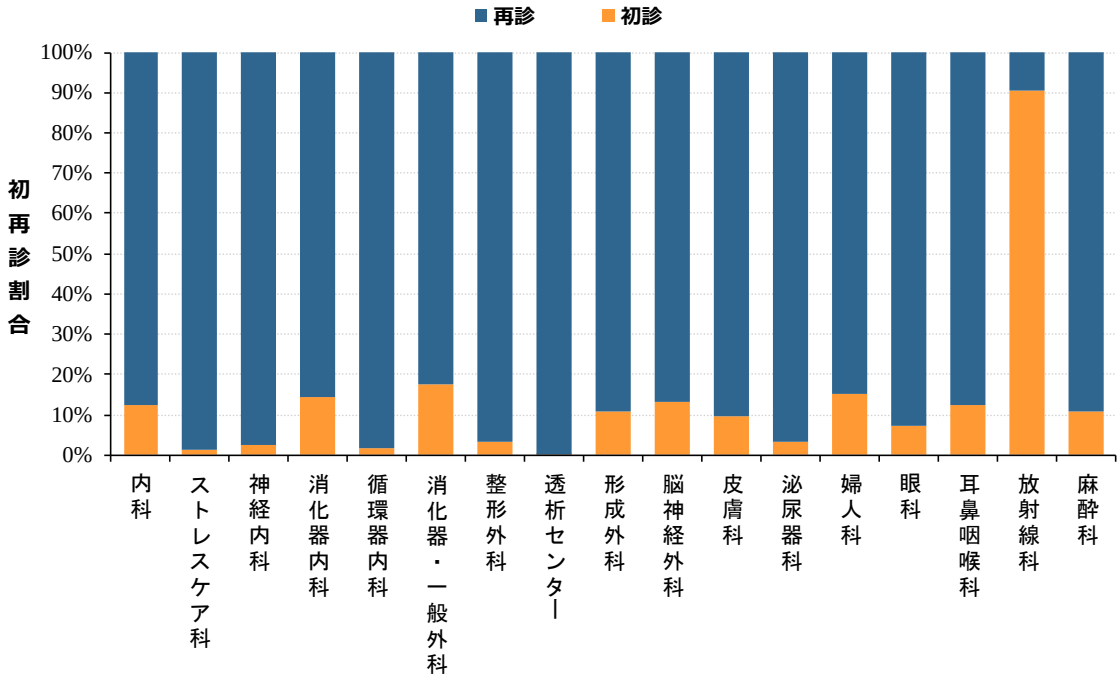
単位：人

	初診	再診
内科	3,310	23,192
ストレスケア科	456	32,564
神経内科	38	1,523
消化器内科	688	4,030
循環器内科	233	14,439
消化器・一般外科	1,069	5,029
整形外科	1,155	35,774
透析センター	4	10,635
形成外科	175	1,426
脳神経外科	53	353
皮膚科	258	2,467
泌尿器科	46	1,410
婦人科	279	1,543
眼科	170	2,148
耳鼻咽喉科	426	2,981
放射線科	318	34
麻酔科	6	49
合計	**8,684**	**139,597**

全体で見る初再診の割合



診療科別 初再診割合



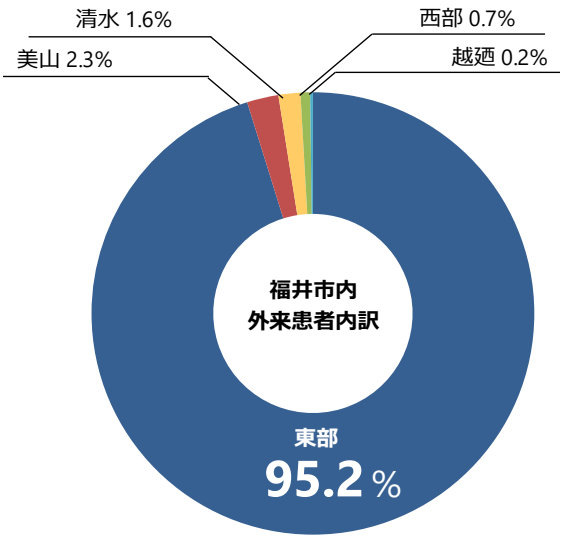
地域別　外来患者数内訳

地域別 外来患者数

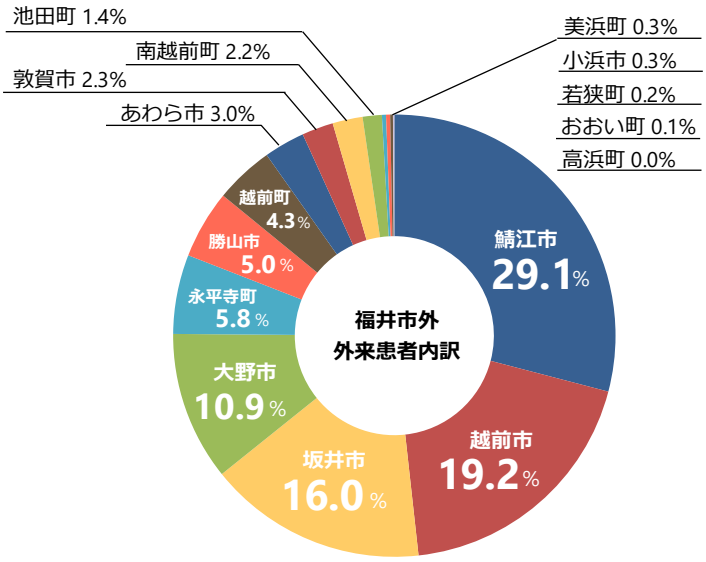
単位：人

	患者数	比率	新患数	比率	新患率
福井市内	**105,720**	**71.3%**	**1,624**	**58.2%**	**1.5%**
東部	100,673	67.9%	1,512	54.2%	1.5%
美山	2,453	1.7%	34	1.2%	1.4%
清水	1,659	1.1%	49	1.8%	3.0%
西部	763	0.5%	22	0.8%	2.9%
越廼	172	0.1%	7	0.3%	4.1%
福井市外	**41,828**	**28.2%**	**1,065**	**38.2%**	**2.5%**
鯖江市	12,152	8.2%	245	8.8%	2.0%
越前市	8,027	5.4%	214	7.7%	2.7%
坂井市	6,701	4.5%	203	7.3%	3.0%
大野市	4,549	3.1%	103	3.7%	2.3%
永平寺町	2,406	1.6%	78	2.8%	3.2%
勝山市	2,099	1.4%	44	1.6%	2.1%
越前町	1,788	1.2%	50	1.8%	2.8%
あわら市	1,244	0.8%	54	1.9%	4.3%
敦賀市	964	0.7%	27	1.0%	2.8%
南越前町	926	0.6%	21	0.8%	2.3%
池田町	578	0.4%	6	0.2%	1.0%
美浜町	139	0.1%	10	0.4%	7.2%
小浜市	138	0.1%	4	0.1%	2.9%
若狭町	92	0.1%	3	0.1%	3.3%
おおい町	24	0.0%	2	0.1%	8.3%
高浜町	1	0.0%	1	0.0%	100.0%
県外	**732**	**0.5%**	**99**	**3.6%**	**13.5%**
国外	**1**	**0.0%**	**1**	**0.0%**	**100.0%**
合計	**148,281**	**100.0%**	**2,789**	**100.0%**	**1.9%**

福井市内 外来患者内訳



福井市外 外来患者内訳（県外、国外除く）

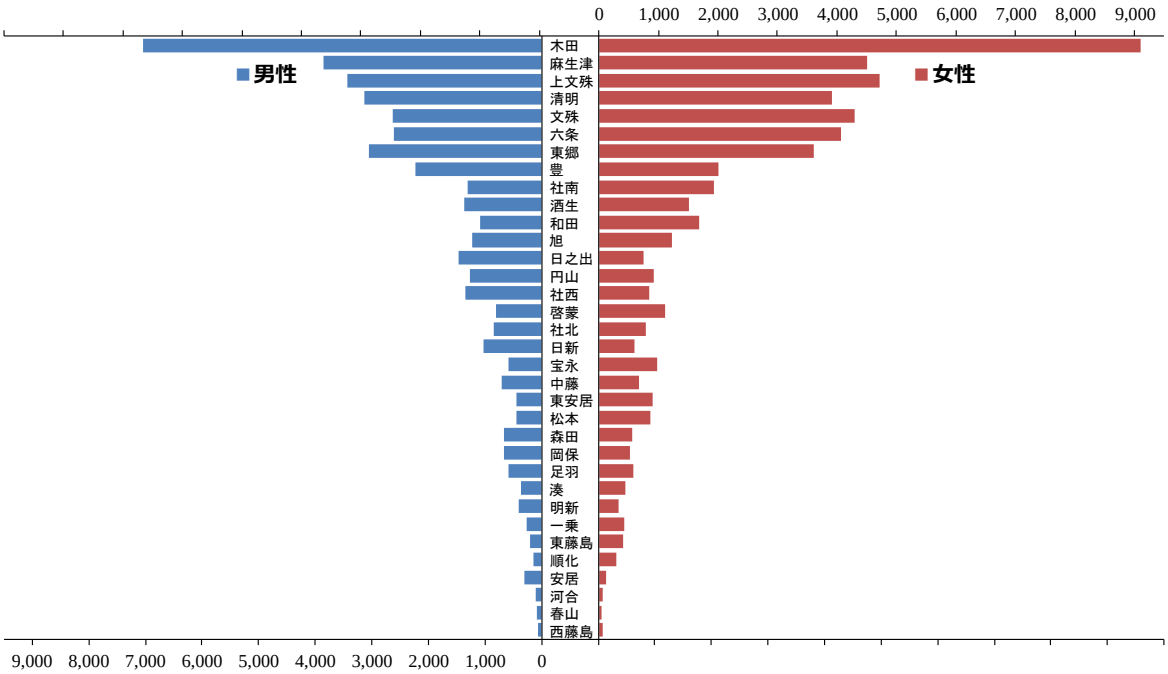


福井市東部 外来患者数

単位：人

	男性	女性	患者数	比率	新患数	比率	新患率
木田	7,045	9,102	16,147	16.0%	245	16.2%	1.5%
麻生津	3,854	4,512	8,366	8.3%	54	3.6%	0.6%
上文殊	3,437	4,710	8,147	8.1%	32	2.1%	0.4%
清明	3,122	3,915	7,037	7.0%	90	6.0%	1.3%
文殊	2,637	4,289	6,926	6.9%	27	1.8%	0.4%
六条	2,613	4,073	6,686	6.6%	21	1.4%	0.3%
東郷	3,060	3,615	6,675	6.6%	54	3.6%	0.8%
豊	2,232	2,017	4,249	4.2%	66	4.4%	1.6%
社南	1,304	1,924	3,228	3.2%	55	3.6%	1.7%
酒生	1,363	1,513	2,876	2.9%	28	1.9%	1.0%
和田	1,095	1,680	2,775	2.8%	102	6.7%	3.7%
旭	1,236	1,233	2,469	2.5%	44	2.9%	1.8%
日之出	1,473	750	2,223	2.2%	49	3.2%	2.2%
円山	1,275	920	2,195	2.2%	53	3.5%	2.4%
社西	1,340	844	2,184	2.2%	43	2.8%	2.0%
啓蒙	815	1,117	1,932	1.9%	38	2.5%	2.0%
社北	848	796	1,644	1.6%	55	3.6%	3.3%
日新	1,019	594	1,613	1.6%	58	3.8%	3.6%
宝永	577	978	1,555	1.5%	26	1.7%	1.7%
中藤	706	668	1,374	1.4%	60	4.0%	4.4%
東安居	445	897	1,342	1.3%	42	2.8%	3.1%
松本	453	861	1,314	1.3%	53	3.5%	4.0%
森田	666	559	1,225	1.2%	59	3.9%	4.8%
岡保	656	529	1,185	1.2%	16	1.1%	1.4%
足羽	577	574	1,151	1.1%	24	1.6%	2.1%
湊	369	437	806	0.8%	15	1.0%	1.9%
明新	400	336	736	0.7%	28	1.9%	3.8%
一乗	266	423	689	0.7%	7	0.5%	1.0%
東藤島	202	408	610	0.6%	13	0.9%	2.1%
順化	151	285	436	0.4%	20	1.3%	4.6%
安居	314	119	433	0.4%	11	0.7%	2.5%
河合	107	67	174	0.2%	9	0.6%	5.2%
春山	87	51	138	0.1%	8	0.5%	5.8%
西藤島	73	60	133	0.1%	7	0.5%	5.3%
合計	**45,817**	**54,856**	**100,673**	**100.0%**	**1,512**	**100.0%**	**1.5%**

福井市東部 外来患者数（人）

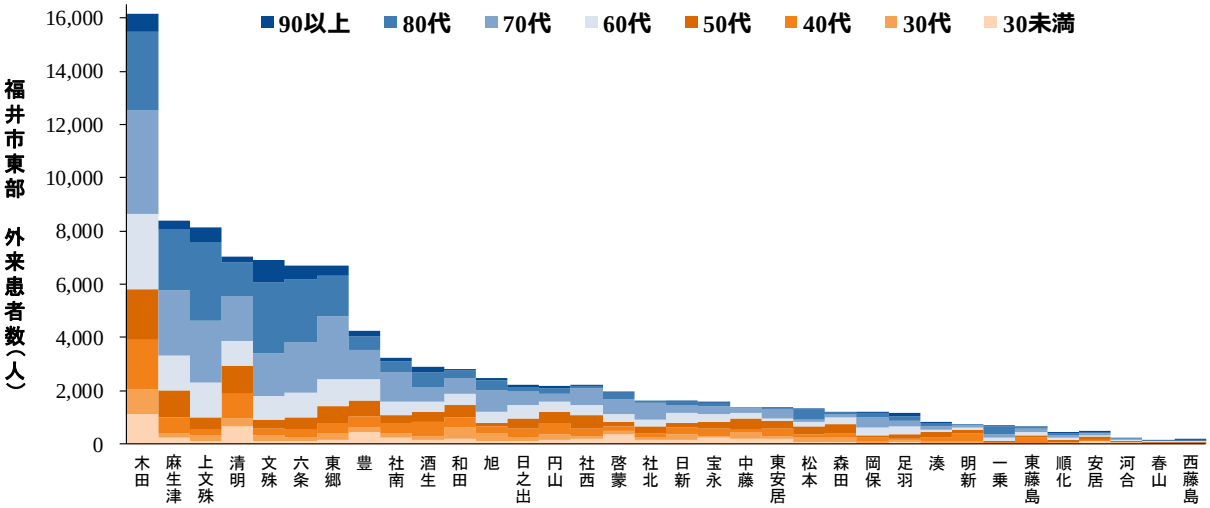


年齢別　外来患者数内訳

福井市東部 年齢別 外来患者数

単位：人

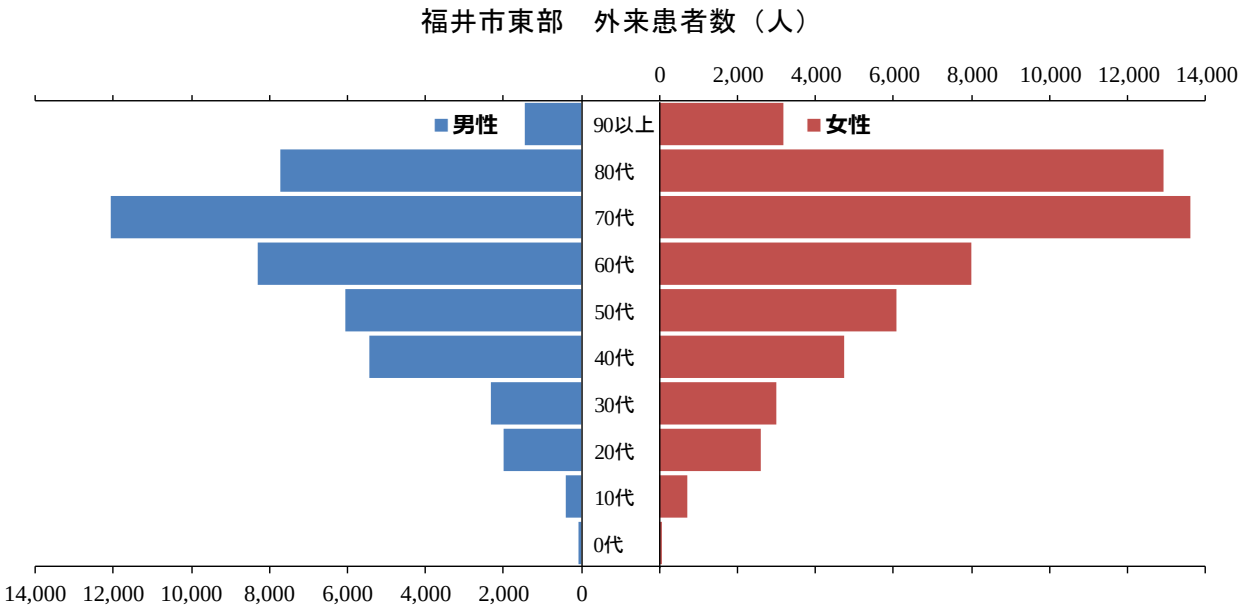
	0 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 以上
木田	20	300	783	947	1,848	1,917	2,822	3,891	2,966	653
麻生津	1	40	173	189	600	996	1,335	2,442	2,286	304
上文殊	3	45	74	182	242	454	1,295	2,319	2,964	569
清明	3	132	520	314	917	1,047	940	1,684	1,263	217
文殊	12	22	93	185	241	343	888	1,626	2,639	877
六条	8	55	57	93	326	440	929	1,930	2,369	479
東郷	10	36	122	224	401	634	1,004	2,352	1,518	374
豊	9	21	419	178	429	566	805	1,119	500	203
社南		127	106	168	383	282	507	1,110	437	108
酒生	2	11	142	134	528	396	387	538	538	200
和田	6	17	170	408	399	454	407	606	300	8
旭		27	98	268	248	133	439	781	392	83
日之出		14	81	125	362	372	518	509	164	78
円山	2	48	104	213	426	401	385	317	193	106
社西	4	8	164	104	282	512	389	634	58	29
啓蒙		10	332	164	157	161	288	560	247	13
社北	8	23	99	118	175	245	240	637	99	
日新		44	94	217	253	174	399	296	96	40
宝永	2	26	212	37	308	260	268	283	146	13
中藤		21	189	217	107	399	225	161	55	
東安居		9	184	72	314	283	110	310	47	13
松本		2	54	186	128	304	157	86	391	6
森田	1	13	43	181	183	329	236	153	86	
岡保	1	2	21	92	120	79	305	382	154	29
足羽			47	110	42	170	290	202	170	120
湊	18		21	51	130	218	104	123	101	40
明新		2	15	95	269	146	85	99	25	
一乗		1	24	2	47	24	151	105	310	25
東藤島		9	10	11	192	100	120	145	16	7
順化		1	29	14	24	87	69	106	63	43
安居		10	78	9	51	108	56	104	13	4
河合	1	25	19	11	14	25	62	16	1	
春山			8	16	3	17	59	18	17	
西藤島		5	17	12	8	25	21	32	12	1
合計	**111**	**1,106**	**4,602**	**5,347**	**10,157**	**12,101**	**16,295**	**25,676**	**20,636**	**4,642**
構成比	**0.1%**	**1.1%**	**4.6%**	**5.3%**	**10.1%**	**12.0%**	**16.2%**	**25.5%**	**20.5%**	**4.6%**



福井市東部 男女年齢別 外来患者数

単位：人

	男性	女性	合計
0 代	68	43	**111**
10 代	389	717	**1,106**
20 代	2,004	2,598	**4,602**
30 代	2,340	3,007	**5,347**
40 代	5,432	4,725	**10,157**
50 代	6,043	6,058	**12,101**
60 代	8,314	7,981	**16,295**
70 代	12,071	13,605	**25,676**
80 代	7,701	12,935	**20,636**
90 以上	1,455	3,187	**4,642**
合計	**45,817**	**54,856**	**100,673**



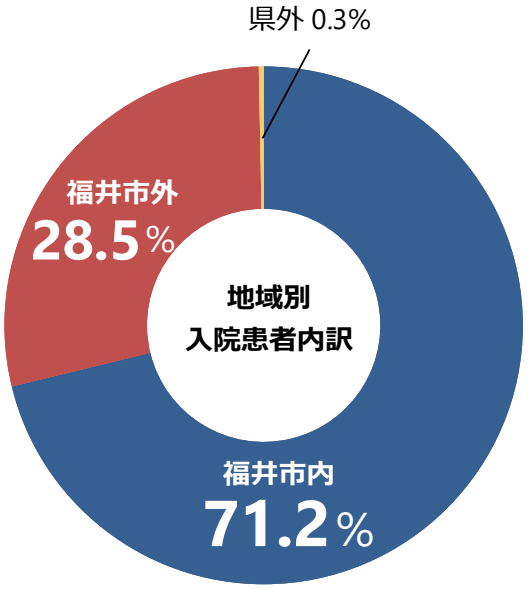
地域別　入院患者数内訳

地域別 入院患者数

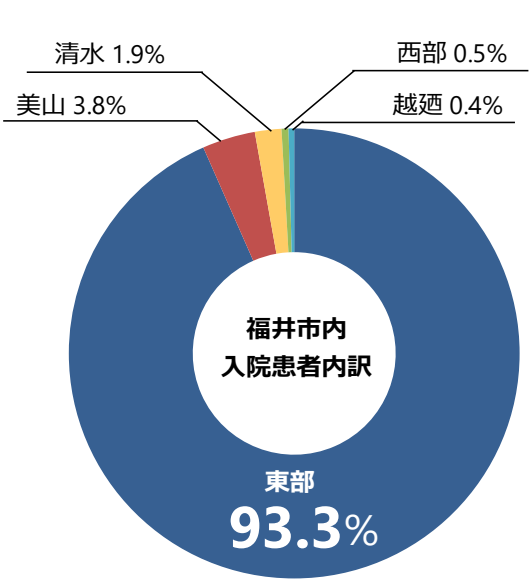
単位：人

	患者数	比率
福井市内	**1,502**	**71.2%**
東部	1,402	66.4%
美山	57	2.7%
清水	29	1.4%
西部	8	0.4%
越廼	6	0.3%
福井市外	**602**	**28.5%**
鯖江市	164	7.8%
坂井市	99	4.7%
越前市	88	4.2%
大野市	62	2.9%
越前町	54	2.6%
永平寺町	52	2.5%
南越前町	28	1.3%
あわら市	16	0.8%
敦賀市	16	0.8%
勝山市	9	0.4%
美浜町	6	0.3%
若狭町	4	0.2%
池田町	3	0.1%
小浜市	1	0.0%
県外	**6**	**0.3%**
合計	**2,110**	**100.0%**

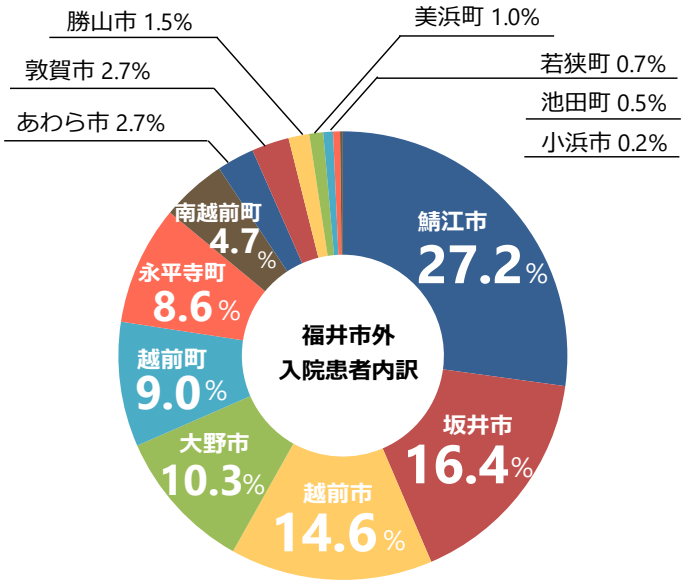
地域別 入院患者内訳



福井市内 入院患者内訳



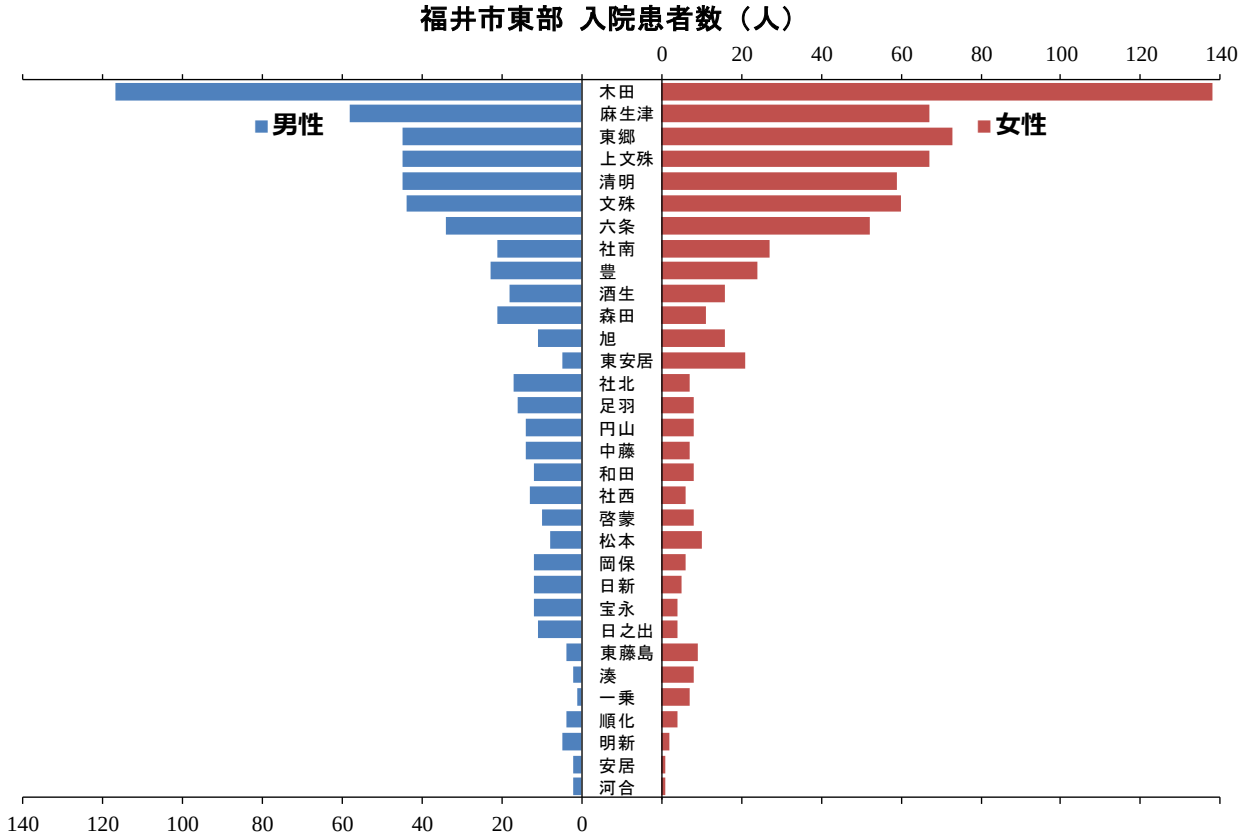
福井市外 入院患者内訳（県外除く）



福井市東部 入院患者数

単位：人

	男性	女性	患者数	比率
木田	117	138	255	18.2%
麻生津	58	67	125	8.9%
東郷	45	73	118	8.4%
上文殊	45	67	112	8.0%
清明	45	59	104	7.4%
文殊	44	60	104	7.4%
六条	34	52	86	6.1%
社南	21	27	48	3.4%
豊	23	24	47	3.4%
酒生	18	16	34	2.4%
森田	21	11	32	2.3%
旭	11	16	27	1.9%
東安居	5	21	26	1.9%
社北	17	7	24	1.7%
足羽	16	8	24	1.7%
円山	14	8	22	1.6%
中藤	14	7	21	1.5%
和田	12	8	20	1.4%
社西	13	6	19	1.4%
松本	8	10	18	1.3%
啓蒙	10	8	18	1.3%
岡保	12	6	18	1.3%
日新	12	5	17	1.2%
宝永	12	4	16	1.1%
日之出	11	4	15	1.1%
東藤島	4	9	13	0.9%
湊	2	8	10	0.7%
一乗	1	7	8	0.6%
順化	4	4	8	0.6%
明新	5	2	7	0.5%
安居	2	1	3	0.2%
河合	2	1	3	0.2%
合計	**658**	**744**	**1,402**	**100.0%**

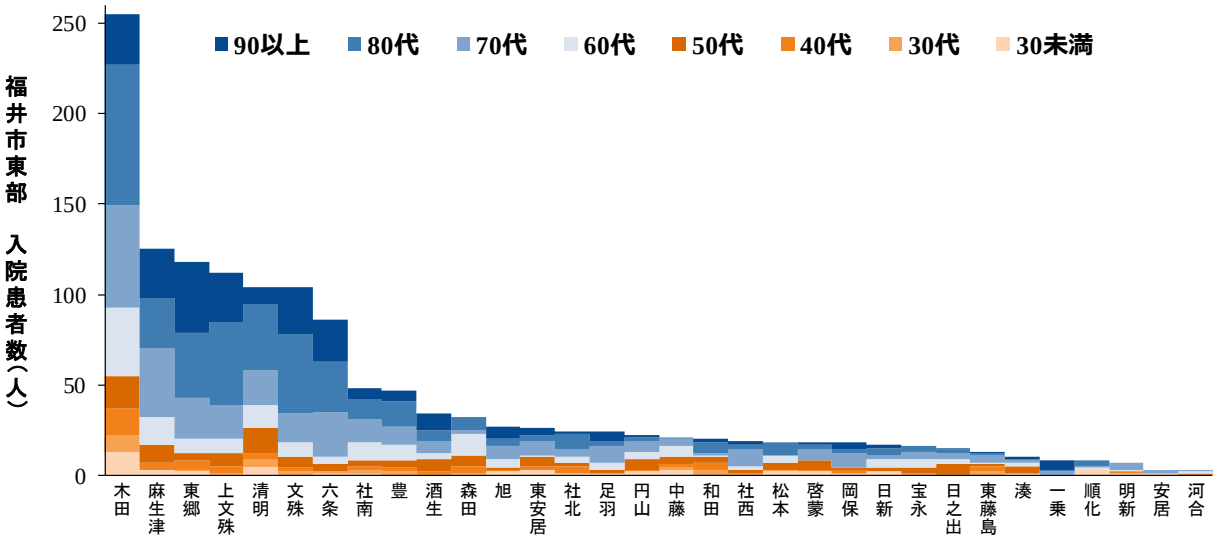


年齢別　入院患者数内訳

福井市東部 年齢別 入院患者数

単位：人

	0 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 以上
木田		3	10	9	15	18	38	56	78	28
麻生津		1	2		4	10	15	38	28	27
東郷			2	1	5	4	8	23	36	39
上文殊				1	4	7	8	19	46	27
清明		2	3	4	3	14	13	19	37	9
文殊				2	2	6	8	16	44	26
六条			1	1		4	4	25	28	23
社南			1	2	2	3	10	13	11	6
豊				2	2	4	9	10	14	6
酒生					2	7	3	7	6	9
森田				1	4	6	12	2	7	
旭		1	1		1	1	5	7	4	7
東安居			3		2	5	1	8	3	4
社北			1		4	2	3	4	9	1
足羽			1			2	4	9	3	5
円山			2		1	6	4	6	2	1
中藤		2	1	1	2	4	6	4	1	
和田				3	4	3	1	1	6	2
社西				1		2	2	9	3	2
松本		1	1	1		4	4		7	
啓蒙		1	1		1	5		6	3	1
岡保			1		2	1		8	2	4
日新		1	1			2	5	2	4	2
宝永				1		3	5	4	3	
日之出						6	3	3	2	1
東藤島				2	3	1	1	4	1	1
湊			1			4	2	1	1	1
一乗								2	1	5
順化			3				1	1	3	
明新			1		1		1	4		
安居		1						2		
河合						1	1	1		
合計	**0**	**13**	**37**	**32**	**64**	**135**	**177**	**314**	**393**	**237**
構成比	**0.0%**	**0.9%**	**2.6%**	**2.3%**	**4.6%**	**9.6%**	**12.6%**	**22.4%**	**28.0%**	**16.9%**

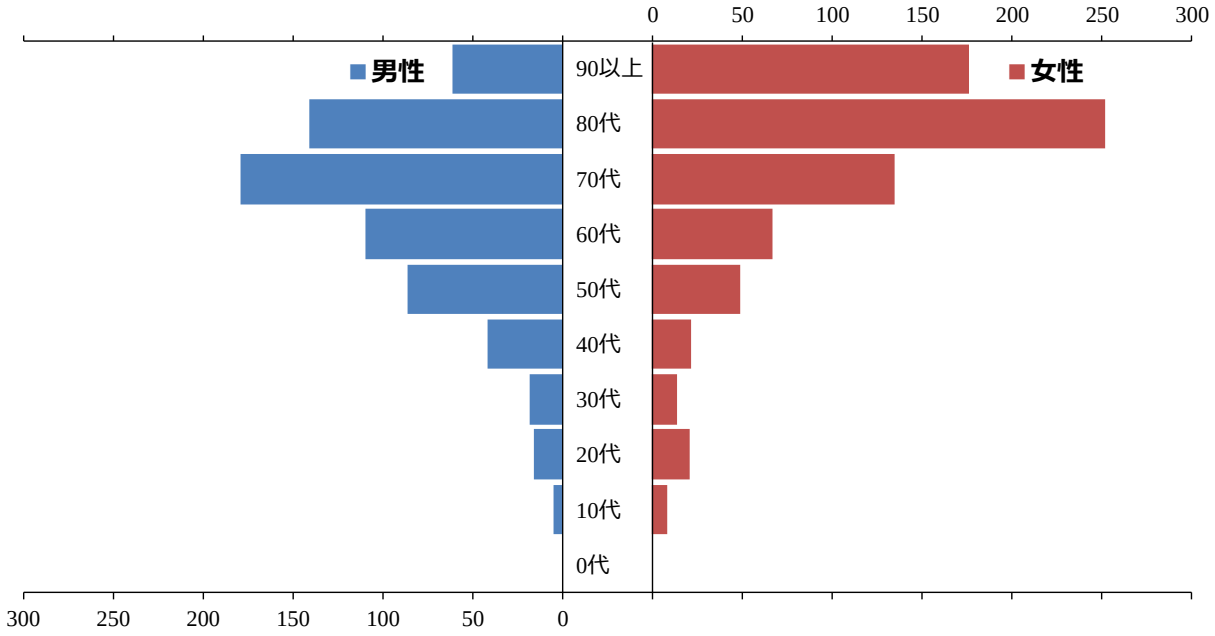


福井市東部 男女年齢別 入院患者数

単位：人

	男性	女性	合計
0 代			0
10 代	5	8	13
20 代	16	21	37
30 代	18	14	32
40 代	42	22	64
50 代	86	49	135
60 代	110	67	177
70 代	179	135	314
80 代	141	252	393
90 以上	61	176	237
合計	**658**	**744**	**1,402**

福井市東部　入院患者数（人）



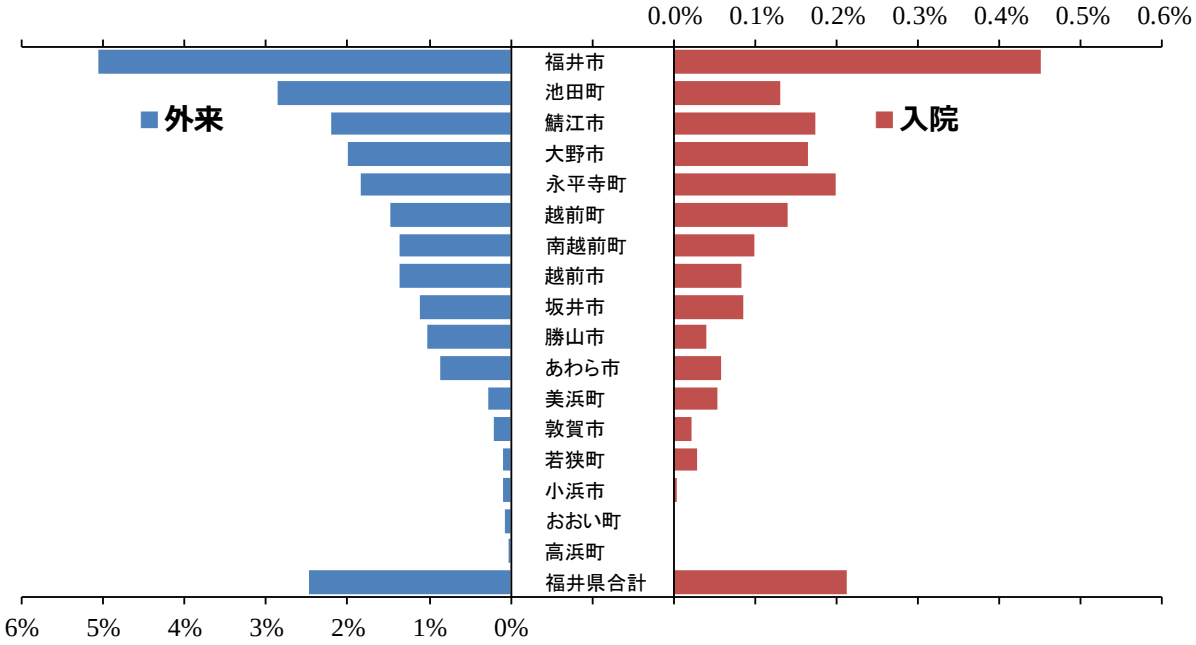
外来・入院患者人口比率

福井県 外来・入院患者人口比率

単位：人

	市町村人口（2020/4/1 時点）	外来患者数	外来比率	入院患者数	入院比率
福井市	261,266	13,239	5.1%	1,177	0.5%
池田町	2,310	66	2.9%	3	0.1%
鯖江市	68,575	1,511	2.2%	119	0.2%
大野市	30,862	618	2.0%	51	0.2%
永平寺町	19,023	349	1.8%	38	0.2%
越前町	20,031	295	1.5%	28	0.1%
南越前町	9,998	136	1.4%	10	0.1%
越前市	80,173	1,086	1.4%	67	0.1%
坂井市	88,366	985	1.1%	76	0.1%
勝山市	22,315	228	1.0%	9	0.0%
あわら市	27,454	238	0.9%	16	0.1%
美浜町	9,178	25	0.3%	5	0.1%
敦賀市	64,044	134	0.2%	14	0.0%
若狭町	14,043	13	0.1%	4	0.0%
小浜市	28,300	26	0.1%	1	0.0%
おおい町	7,994	6	0.1%	0	0.0%
高浜町	10,144	1	0.0%	0	0.0%
福井県合計	**764,076**	**18,956**	**2.5%**	**1,618**	**0.2%**

福井県 患者人口比率



ICD－10 による疾病統計

疾病大分類別 科別 退院患者数

単位：人

		合計	内科	循環器内科	消化器・一般外科	整形外科	精神科	消化器内科	形成外科	眼科	平均在院日数
Ⅰ	感染症および寄生虫症	**48**	19	9	2			18			15.7
Ⅱ	新生物	**214**	65	5	87			54	3		16.8
Ⅲ	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	**5**	4		1						4.8
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患	**57**	33	9	3	1	1	10			22.7
Ⅴ	精神および行動の障害	**249**	2	3			244				52.9
Ⅵ	神経系の疾患	**59**	37	10	1	1	1	9			18.3
Ⅶ	眼および付属器の疾患	**150**	1	2					1	146	2.1
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	**20**	9	8	2			1			11.5
Ⅸ	循環器系の疾患	**347**	45	266	8	1		26	1		27.6
Ⅹ	呼吸器系の疾患	**193**	123	55	2			13			29.0
ⅩⅠ	消化器系の疾患	**342**	11	8	102			221			10.6
ⅩⅡ	皮膚および皮下組織の疾患	**9**	4	2		1		2			22.8
ⅩⅢ	筋骨格系および結合組織の疾患	**75**	14	9		43		9			45.0
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	**71**	39	21	4			7			28.3
ⅩⅦ	先天奇形、変形および染色体異常	**4**		1	1				2		5.0
ⅩⅧ	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	**22**	15		2		1	4			13.7
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響	**279**	19	23	17	212	2	5	1		57.5
合計		**2,144**	**440**	**431**	**232**	**259**	**249**	**379**	**8**	**146**	**28.6**

※入院期間中の主病名の分類

疾病大分類別 性別および転帰別 退院患者数

単位：人

		性別		転帰					
		男	女	治癒	軽快	寛解	不変	増悪	死亡
Ⅰ	感染症および寄生虫症	21	27		42		3		3
Ⅱ	新生物	142	72	16	163		10		25
Ⅲ	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	4	1		5				
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患	23	34		51	2	2		2
Ⅴ	精神および行動の障害	80	169		5	235	3	6	
Ⅵ	神経系の疾患	32	27		52	1	5		1
Ⅶ	眼および付属器の疾患	66	84	2	147	1			
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	8	12		20				
Ⅸ	循環器系の疾患	185	162		319		12	1	15
Ⅹ	呼吸器系の疾患	97	96	1	162		2		28
ⅩⅠ	消化器系の疾患	212	130	44	289		4	1	4
ⅩⅡ	皮膚および皮下組織の疾患	6	3		8				1
ⅩⅢ	筋骨格系および結合組織の疾患	27	48		67		4	1	3
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	40	31		63	1	3	1	3
ⅩⅦ	先天奇形、変形および染色体異常	2	2		4				
ⅩⅧ	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10	12		17	1	2		2
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響	97	182		263	3	7		6
合計		**1,052**	**1,092**	**63**	**1,677**	**244**	**57**	**10**	**93**

※入院期間中の主病名の分類

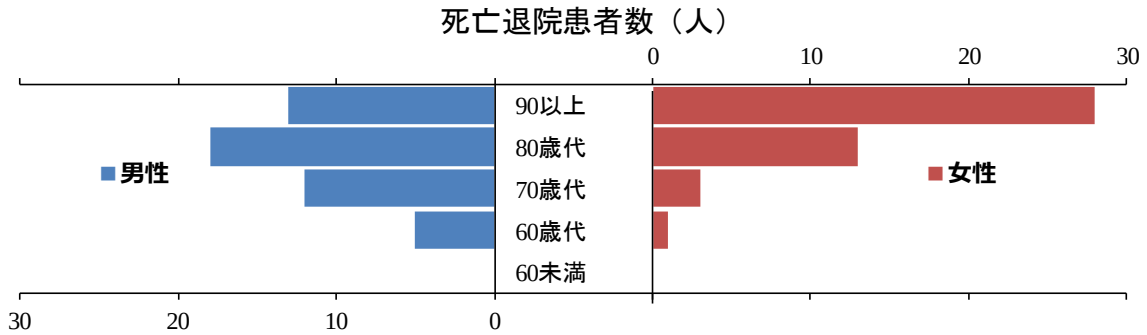
ICD－10 による死因統計

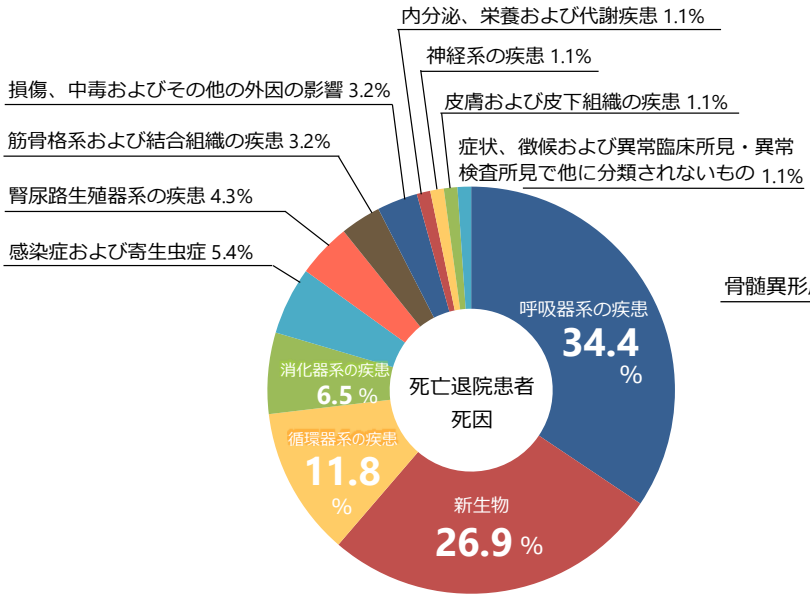
疾病大分類による死因別 男女年齢別 死亡退院患者数

単位：人

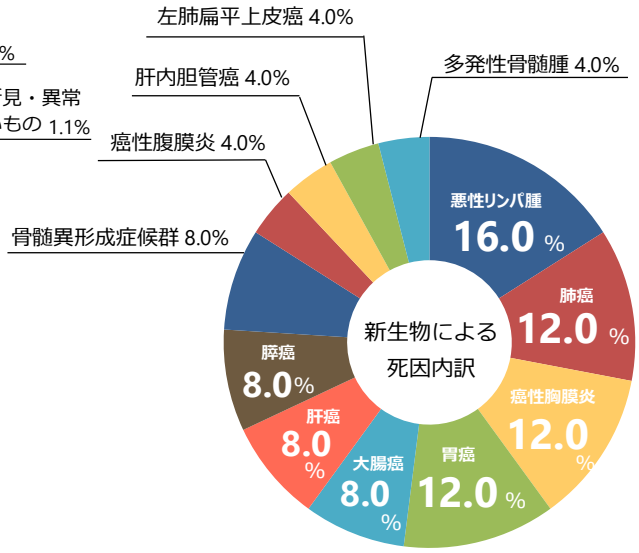
		60 未満		60 代		70 代		80 代		90 以上		合計			平均在院日数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
Ⅰ	感染症および寄生虫症					1	1		1	1	1	2	3	5	41.6
Ⅱ	新生物			1	1	6		6	3	3	5	16	9	25	39.6
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患										1		1	1	15.0
Ⅵ	神経系の疾患					1						1		1	3.0
Ⅸ	循環器系の疾患					1		1	2	3	4	5	6	11	30.6
Ⅹ	呼吸器系の疾患					2	1	9	5	6	9	17	15	32	40.0
ⅩⅠ	消化器系の疾患			2		1	1		1		1	3	3	6	30.8
ⅩⅡ	皮膚および皮下組織の疾患			1								1		1	40.0
ⅩⅢ	筋骨格系および結合組織の疾患			1				1			1	2	1	3	20.0
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患								1		3		4	4	45.5
ⅩⅧ	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの										1		1	1	34.0
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響							1			2	1	2	3	20.7
合計		0	0	5	1	12	3	18	13	13	28	48	45	93	－

※死亡診断書の死亡原因の分類であり、入院期間中の主病名分類とは異なる





うち、新生物による死因の詳細内訳

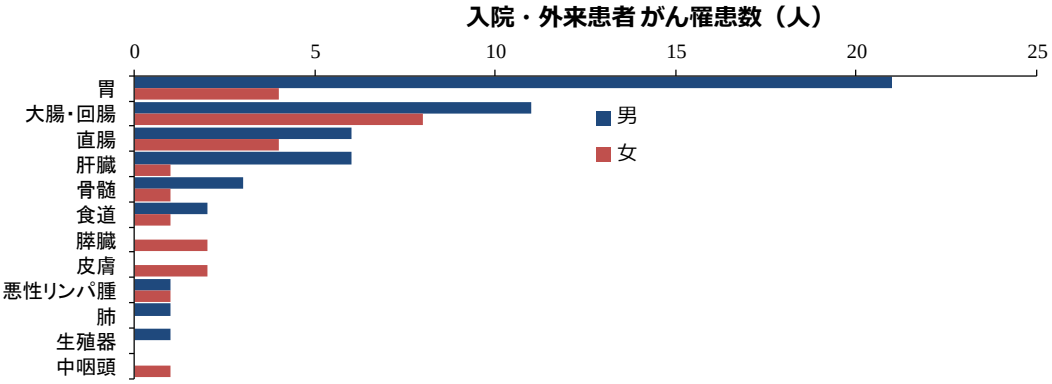


がん統計（2018 年 1 月～12 月）

男女年齢別 部位別 がん罹患数（入院・外来）

単位：人

	30 未満		30 代		40 代		50 代		60 代		70 代		80 代		90 以上		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
胃			1				4		9	2	6	1	1	1			**21**	**4**	**25**
大腸・回腸					2	1	3	1	3	3		2		1	3		**11**	**8**	**19**
直腸							1		1	2	1	2	3				**6**	**4**	**10**
肝臓						1	1		2		1		1		1		**6**	**1**	**7**
骨髄			1						1	1					1		**3**	**1**	**4**
食道											1		1	1			**2**	**1**	**3**
膵臓						1										1	**0**	**2**	**2**
皮膚										1				1			**0**	**2**	**2**
悪性リンパ腫											1			1			**1**	**1**	**2**
肺									1								**1**	**0**	**1**
生殖器													1				**1**	**0**	**1**
中咽頭										1							**0**	**1**	**1**
合計	**0**	**0**	**2**	**0**	**2**	**3**	**9**	**1**	**17**	**10**	**10**	**5**	**7**	**5**	**5**	**1**	**52**	**25**	**77**



発見経緯、治療法および進行度別 部位別 がん罹患数（入院・外来）

単位：人

	発見経緯				観血的治療			病巣の拡がり					
	健診ドック	他疾患通院中	自覚症状等	紹介	手術	内視鏡的	無し	上皮内	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	不明
胃	13	3	9		6	13	6		21			2	2
大腸・回腸	7	7	5		8	6	5	4	10	1		2	2
直腸	4	1	5		6	3	1	3	6		1		
肝臓		5	2				7						7
骨髄	1	2	1				4	—	—	—	—	—	—
食道		3				1	2		2	1			
膵臓		1	1				2				2		
皮膚		1	1				2	1	1				
悪性リンパ腫		1	1				2						2
肺	1						1						1
生殖器		1					1						1
中咽頭		1					1						1
合計	**26**	**26**	**25**	**0**	**20**	**23**	**34**	**8**	**40**	**2**	**3**	**4**	**16**

＊骨髄については病巣の拡がりを分類しない

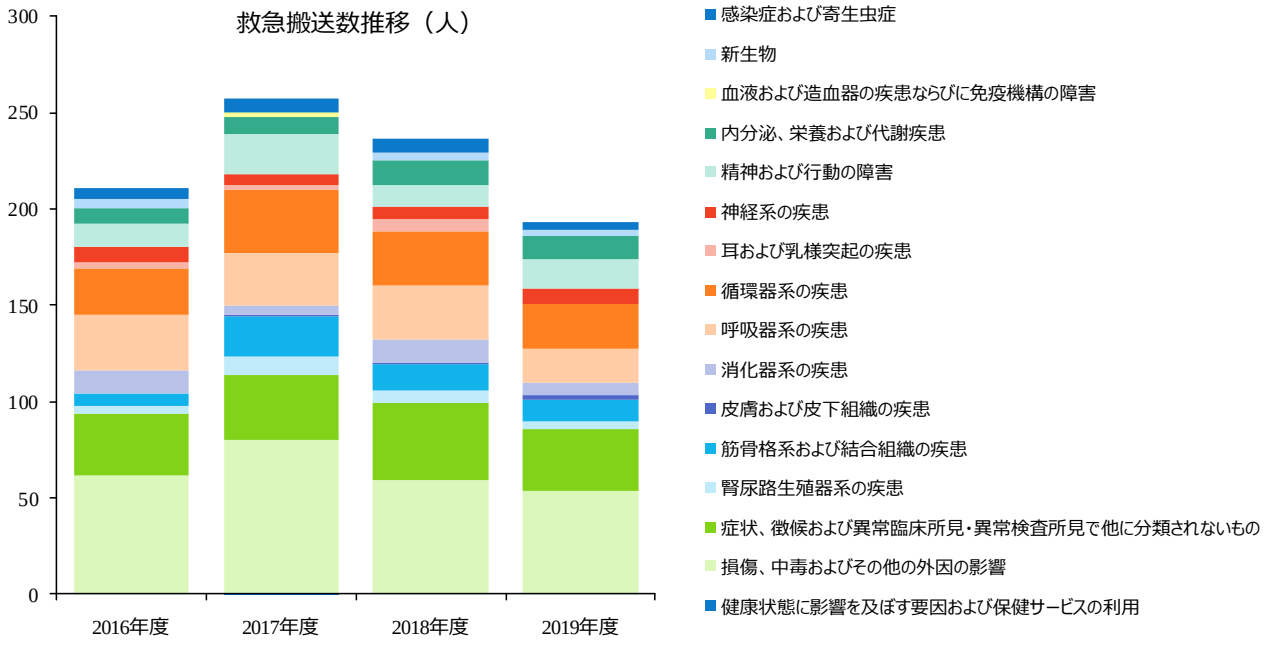
救急搬送患者疾病別内訳

疾病大分類別 救急搬送数（入院・外来）

単位：人

	搬送数	搬送比率	搬送時間帯別		
			時間内	時間外	日祭日
感染症および寄生虫症	4	2.1%	2	1	1
新生物	3	1.6%	1	2	
内分泌、栄養および代謝疾患	12	6.2%	5	3	4
精神および行動の障害	15	7.8%	9	6	
神経系の疾患	8	4.1%	6	2	
循環器系の疾患	24	12.4%	10	12	2
呼吸器系の疾患	17	8.8%	9	4	4
消化器系の疾患	7	3.6%	4	3	
皮膚および皮下組織の疾患	2	1.0%	1	1	
筋骨格系および結合組織の疾患	11	5.7%	7	4	
腎尿路生殖器系の疾患	4	2.1%	3	1	
症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	32	16.6%	20	4	8
損傷、中毒およびその他の外因の影響	54	28.0%	36	9	9
合計	**193**	**100.0%**	**113**	**52**	**28**
比率	**－**	**－**	**58.5%**	**26.9%**	**14.5%**

疾病大分類別 救急搬送数推移（入院・外来）



診療状況等

内科 ・・・・・・・・・・48
循環器内科 ・・・・・・・・・・50
消化器・一般外科 ・・・・・・・・・・53
消化器内科 ・・・・・・・・・・56
透析センター ・・・・・・・・・・58
ストレスケアセンター ・・・・・・・・・・60
整形外科 ・・・・・・・・・・62
放射線科 ・・・・・・・・・・64
婦人科 ・・・・・・・・・・65
形成外科 ・・・・・・・・・・66
看護部 ・・・・・・・・・・69
リハビリ課 ・・・・・・・・・・76
画像課 ・・・・・・・・・・79
検査課 ・・・・・・・・・・81
栄養課 ・・・・・・・・・・83
薬剤課 ・・・・・・・・・・85
臨床工学課 ・・・・・・・・・・88
医療連携センター ・・・・・・・・・・89
健康増進センター ・・・・・・・・・・92
在宅医療部 ・・・・・・・・・・94

内科

大西　定司

スタッフ

常勤医　　山本　誠（消化器―肝・胆・膵），羽場　利博（血液・糖尿・透析），
前川　直美（透析・腎），瀧波　慶和（救急・総合診療），岡村　誠太郎，
木村　記代（透析・腎），藤井　美紀（内分泌・糖尿），川村　里佳（透析・腎），
内山　崇（救急・総合診療），松浦　宏之（内分泌・糖尿），
大西　定司（呼吸器）

非常勤医　　林　茂，野原　淳，山村　修，金田　大生，松田　秀岳，松永　晶子，
山口　智久，平井　理栄，愛須　佑樹

実績報告

非常勤医師の協力を得て、診療実績は別表のようになった。外来患者数、入院患者数ともに大きな変化はなかった。

診療内容を検討すると、外来部門では、健診センターが充実している影響もあり二次検査を勧められての受診が一定数を占めている。特に土曜日は仕事がある若年層の受診が目立ち、胸部異常陰影・肝機能障害・脂質異常を指摘されての来院が多い印象である。

一方、入院部門では従来と変わることなく高齢の患者さまが圧倒的多数を占めている。発熱・食欲不振・体動困難を主訴に来院され、そのまま入院となるケースが多く、近隣の介護施設から入院依頼を受けることもしばしばである。検査で判明する疾患としては、誤嚥性肺炎を中心とする呼吸器疾患が一番多く、悪性新生物、尿路感染症、菌血症（敗血症）がそれらに次いでいる。病棟の現場では、医師・看護師だけでなく多職種のスタッフ（検査技師・薬剤師・看護補助者・リハビリ職員・管理栄養士など）と協働して治療に当たっているのはこれまで同様であるが、最近の問題として、相次ぐ抗生剤の供給停止が挙げられる。上述のように当院の入院患者は注射用抗生剤を必要とすることが非常に多い（悪性新生物の患者さまにおいても、経過中に細菌感染を発症することが多い）のであるが、在庫を確認しながらの処方となっている。この点については、薬剤師による代替薬の提案がたいへん参考になっており、非常に感謝している。

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	**2018**	2,188	2,238	2,239	2,253	2,246	2,062	2,292	2,159	2,405	2,742	2,128	2,171	**27,123**
	2019	2,111	2,186	2,175	2,303	2,162	2,093	2,256	2,151	2,404	2,434	2,058	2,170	**26,503**
初診数	**2018**	268	291	269	253	305	244	246	277	370	657	311	240	**3,731**
	2019	253	326	265	278	262	231	239	251	340	415	229	222	**3,311**
再診数	**2018**	1,920	1,947	1,970	2,000	1,941	1,818	2,046	1,882	2,035	2,085	1,817	1,931	**23,392**
	2019	1,858	1,860	1,910	2,025	1,900	1,862	2,017	1,900	2,064	2,019	1,829	1,948	**23,192**

【入院】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	**2018**	32	32	26	40	38	36	32	41	32	41	34	36	**420**
	2019	24	42	28	41	42	36	36	49	34	44	29	37	**442**

【退院患者疾病分類】

		患者数（人）	比率（%）
Ⅰ	感染症および寄生虫症	19	4.3
Ⅱ	新生物	65	14.8
Ⅲ	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	4	0.9
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患	33	7.5
Ⅴ	精神および行動の障害	2	0.5
Ⅵ	神経系の疾患	37	8.4
Ⅶ	眼および付属器の疾患	1	0.2
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	9	2
Ⅸ	循環器系の疾患	45	10.2
Ⅹ	呼吸器系の疾患	123	28
ⅩⅠ	消化器系の疾患	11	2.5
ⅩⅡ	皮膚および皮下組織の疾患	4	0.9
ⅩⅢ	筋骨格系および結合組織の疾患	14	3.2
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	39	8.9
ⅩⅧ	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	15	3.4
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響	19	4.3
計		**440**	**100.0**

循環器内科

加藤　浩司

スタッフ

前年度と同じく、加藤浩司、後藤拓也副部長、宮永大医師の 3 人で循環器内科の診療を継続した。

循環器内科の発展

3B 病棟を循環器内科の入院病棟として固定し、より専門的に特化した心臓血管疾患患者の診療ができるようにしている。

現在、心房細動の治療の標準術式として、カテーテルアブレーションによる肺静脈電気的隔離術が確立されて、全世界に普及している。当院循環器内科では、2017 年 2 月には、日本国内で初めて、心房細動アブレーションの治療戦略として、dispersion area mapping によるアブレーション法を実施した。この術式は、フランスの病院で開発された新しい心房細動の治療概念であり、2017 年 1 月 24 日に世界で初めて論文が公開された。当院循環器内科はその 2 週後に、この最新の術式を導入することに成功した。その後も、2018 年から 2020 年にかけて、この術式による持続性心房細動のアブレーション治療の症例を積み重ね、フランスでの国際シンポジウム、国内での日本循環器学会総会、不整脈学会総会などで、その成果を発表してきた。2019 年 3 月 14 日以降は、心房細動のアブレーションに、3D-CARTO マッピングに加えて、Ablation Index（AI）を併用し、肺静脈隔離術の完成度もさらに上がってきた。

診療内容

従来から、カテーテル室での治療、すなわち、アブレーション、PCI、ペースメーカーを心臓病の治療の 3 本の柱としてきたが、さらに、下大静脈フィルター留置や、末梢血管に対するインターベンション、透析シャントの血管形成術（VAIVT）にも適応を拡大している。また、心エコー、TEE、頸動脈エコー、下肢血管エコー、透析シャントエコーにも力を入れて、より高い診療のレベルを目指している。

検査、治療実績

今年度も、循環器疾患におけるインターベンションの様々な可能性を追求し、さらに、治療の幅を広げて、適応を拡大した。近年、冠動脈疾患のインターベンションの適応については、責任冠動脈の灌流域における心筋虚血の証明が重要視されている。この背景をふまえて、当科でも、冠動脈造影において、プレッシャーワイヤーによる FFR 測定を適時追加し、より精密に虚血を判定している。また、急性心筋梗塞、不安定狭心症に対する緊急 PCI も従来どおり実施している。24 時間オンコールのスタッフ（臨床検査技師、診療放射線技師、看護師）の協力もあり、夜間、祭日でも治療のタイミングを逸することなく、最短の時間でステント留置を実施している。スタッフの迅速な連携により最短の時間で緊急 PCI を実施することを心がけて、door to balloon time < 90 分を目標としている。PCI では、薬剤溶出性ステントを多くの症例に使用し

た結果、再狭窄も激減して良好な治療成績となっている。当院の PCI は、ほぼ全例で IVUS（冠動脈内超音波）による観察を駆使し、最適なステントの種類、直径、長さを選択するようにしている。PCI の適応は小血管、びまん性病変、長い病変、多枝病変、高度石灰化病変にも拡大している。

深部静脈血栓症の症例の増加に伴い、肺塞栓のハイリスク症例においては、下大静脈フィルター留置を施行している。また、心臓弁膜症の治療としては、重症僧帽弁狭窄症の症例に対して、PTMC（経皮的僧帽弁バルーン裂開術）を施行し、良好な拡張効果を得ることに成功した。

当院のカテーテル室は、不整脈の症例を対象とした検査、治療が多いのが特徴である。アブレーションについては、2005 年から 2020 年に至るまで、常時、福井県内において上位を維持することができ、開設以来から 2020 年 2 月 13 日にアブレーション通算件数 1000 件に到達した。これらの内訳としては、一般には最も難易度が高いとされている心房細動のアブレーションが数多くを占めている。2017 年 2 月以降は、dispersion area mapping によるアブレーション法を持続性心房細動の全症例に実施している。2019 年 5 月には、大阪で開催された持続性心房細動のライブデモンストレーションにコメンテーターとして、当院循環器内科が招聘され、同時に当科の dispersion area mapping によるアブレーションについて、講演を行った。

カテーテル検査	件数
冠動脈造影	60
FFR	7
スワンガンツ	12
電気生理検査	63
アブレーションあり	59
アブレーションなし	4

その他検査	件数
心エコー	1,712
TEE	49
頸動脈エコー（末梢血管エコーも含む）	435
ホルター心電図	818
心臓 CT	80

カテーテル治療	件数
アブレーション	59
PCI（ステントあり）	15
PCI（バルーン拡張のみ）	2
下肢動脈形成術	3
VAIVT（シャント血管形成術）	19
ペースメーカー移植術	3
ペースメーカー交換	7
下大静脈フィルター留置	1
僧帽弁バルーン拡張術	1

教育

循環器専門医の養成を目指して、毎週火曜日朝にカンファレンスを行い、心疾患の診療方針を議論し、個々の症例について、インターベンションの最適な術式を決定している。学術的に価値のある症例は、パワーポイントにまとめ、院内内科症例検討会にも提示し、ディスカッションを行っている。

学会活動

学会・講演・研究発表等参照

【退院患者疾病分類】

		患者数（人）	比率（%）
Ⅰ	感染症および寄生虫症	9	2.1
Ⅱ	新生物	5	1.2
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患	9	2.1
Ⅴ	精神および行動の障害	3	0.7
Ⅵ	神経系の疾患	10	2.3
Ⅶ	眼および付属器の疾患	2	0.5
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	8	1.9
Ⅸ	循環器系の疾患	266	61.7
Ⅹ	呼吸器系の疾患	55	12.8
ⅩⅠ	消化器系の疾患	8	1.9
ⅩⅡ	皮膚および皮下組織の疾患	2	0.5
ⅩⅢ	筋骨格系および結合組織の疾患	9	2.1
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	21	4.9
ⅩⅦ	先天奇形、変形および染色体異常	1	0.2
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響	23	5.3
計		**431**	**100.0**

消化器・一般外科

佐々木　久

外科診療体制

浅田康行副院長を筆頭に、木村成里医師、佐々木久医師の 3 名で外科診療を担当した。

診療内容

外来

月曜日から金曜日の午前、午後および土曜日の午前の初診・再診を担当し、消化器病疾患、一般・消化器外科疾患、血管外科の診療を行った。第 1、3 金曜日に肛門外来夕診を行った。

入院

消化器病疾患、手術、癌の化学療法、終末期、血液透析等の患者さんを担当し入院治療を行った。

消化器内視鏡検査

午前は 2 名の外科医が上部消化管内視鏡検査、午後は可能であれば 1 名の外科医が下部消化管内視鏡検査を行った。

外科総回診

毎週水曜日 8 時から 8 時 30 分まで病棟の外科総回診を行った。

手術

手術担当医師の減少のため、外科手術日を集約した。火曜日は午前から、月・水・木曜日は午後から手術を行った。手術を安全、確実に履行するため外科医と手術室スタッフが連携を取り情報の共有を行った。手術や手術器具に関する事案は手術室運営会議で討議を行い決定した。

救急車対応

土曜日の午前の救急車対応を担当した。

消化器病カンファレンス

毎週水曜日 17 時 30 分から外科、消化器内科、放射線科医師およびコメディカルで消化器病カンファレンスを行った。カンファレンスでは、周術期の問題点の検討を行い、外科手術例や各種内視鏡治療の症例検討を行った。原則的に消化器病疾患において治療方針は、参加医師全員でカンファレンスを行い決定した。

実績件数

【手術数】（手術室使用）

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14	8	14	15	7	6	11	9	16	7	11	11	**129**

【手術内訳】

単位：件

皮膚皮下組織	
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの）（長径 5cm 未満）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3cm 未満）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2cm 以上 4cm 未満）	1
喉頭、気管	
気管切開術	1
食道	
食道アカラシア形成手術	1
動脈	
血管移植術、バイパス移植術（その他の動脈）	2
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	5
内シャント血栓除去術	5
内シャント設置術	13
静脈	
下肢静脈瘤手術（抜去切除術）	6
リンパ管、リンパ節	
リンパ節摘出術（長径 3cm 未満）	1
腹壁、ヘルニア	
ヘルニア手術（白線ヘルニア）	1
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	19
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	1
ヘルニア手術（骨盤部ヘルニア）（閉鎖孔ヘルニア）	1
ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	1
腹膜、後腹膜腸間膜、網膜	
急性汎発性腹膜炎手術	1
限局性腹腔膿瘍手術（その他のもの）	3
限局性腹腔膿瘍手術（虫垂周囲膿瘍）	1

胃、十二指腸	
胃切除術（悪性腫瘍手術）	5
胃全摘術（悪性腫瘍手術）	1
胆嚢、胆道	
胆管形成手術（胆管切除術を含む。）	1
胆嚢摘出術	10
腹腔鏡下胆嚢摘出術	13
膵	
膵体尾部腫瘍切除術（膵尾部切除術の場合）（脾同時切除の場合）	1
空腸、回腸、盲腸、虫垂、結腸	
結腸切除術（全切除、亜全切除または悪性腫瘍手術）	8
小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1
人工肛門形成術（その他のもの）	1
人工肛門造設術	2
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	2
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	2
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	4
腸吻合術	1
直腸	
直腸腫瘍摘出術（ポリープ摘出を含む。）（経肛門）	1
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	1
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	1
肛門、その周辺	
痔核手術（脱肛を含む。）（根治手術（硬化療法（四段階注射法によるもの）を伴わないもの））	5
痔核手術（脱肛を含む。）（PPH）	1
肛門ポリープ切除術	1
肛門良性腫瘍切除術	2
合計	**129**

【NCD 登録数】

単位：件

	2014	2015	2016	2017	2018	2019
外科学会（消化器外科学会）	317（157）	300（143）	293（128）	233（113）	214（75）	174（98）

注.（　）内の消化器外科学会は内数

【退院患者疾病分類】

		患者数（人）	比率（%）
Ⅰ	感染症および寄生虫症	2	0.9
Ⅱ	新生物	87	37.5
Ⅲ	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1	0.4
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患	3	1.3
Ⅵ	神経系の疾患	1	0.4
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	2	0.9
Ⅸ	循環器系の疾患	8	3.4
Ⅹ	呼吸器系の疾患	2	0.9
ⅩⅠ	消化器系の疾患	102	44.0
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	4	1.7
ⅩⅦ	先天奇形、変形および染色体異常	1	0.4
ⅩⅧ	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2	0.9
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響	17	7.3
計		**232**	**100.0**

消化器内科

道鎮　正規

消化器内科は道鎮正規、東田元医師による 2 名体制で外来・入院診療を行っていましたが、2020 年 3 月よりそれまで非常勤で勤務された経験のある鯵坂秀行医師が入職され 3 名体制となりました。しかし今年度の大部分は 2 名体制であり、前年度と大きな変化はない状態でした。日々の業務は午前の外来診察と、午前・午後の内視鏡検査、内視鏡治療、胆道系の処置、入院患者の診療です。入院は内視鏡検査・内視鏡治療の方が多数ですが、山本誠名誉院長の肝疾患、肝腫瘍の治療の方、また回復期病棟の脳卒中の方、施設からの誤嚥性肺炎の方、急性期病院からの在宅・施設へのリハビリ入院の担当も行っています。午後からの大腸内視鏡検査はドックの方 2 名から 3 名、外来・入院の患者さんは 1 日 2 名から 3 名検査施行しております。午前・午後の内視鏡検査には外科の先生方のご協力をいただき大変感謝しております。そして新しく加わった総合診療科の内山崇医師には午前の上部内視鏡検査、午後の全大腸内視鏡検査を施行していただき、瀧波慶和医師には午前の上部内視鏡検査を施行していただくようになりました。また、福山医院副院長　福山智基先生、福井医科大学出身の谷川亜希子先生、福井県済生会病院外科　加藤泰史先生には毎週内視鏡検査を手伝っていただいており、毎週土曜日には福井大学消化器内科より 1 名ずつ検査応援をいただいております。外来診療においては月曜日から金曜日の午前に行う内視鏡検査希望の患者さんが増加していますが、鎮静剤使用ばかりではなく、FUJIFILM 社の経鼻内視鏡を使用し正確で苦痛の少ない経鼻内視鏡検査が増加しています。また東田医師は 2 か月に 1 回、土曜日の午前外来にて炎症性腸疾患の患者さんの予約診療も行っています。

2 名体制で、あまり重症な症例は担当できませんが、毎週水曜日には外科や放射線科の医師とカンファレンスを行い、的確な診断と治療方針の決定について協力して検討しています。また、定期的に福井県胃腸疾患懇話会や肝胆膵勉強会へも参加し研鑽を積んでいます。3 名体制となり今以上に消化器疾患診療に頑張ろうと思っておりましたが、COVID19 感染症が蔓延し 2020 年 3 月から内視鏡検査も制限される事態となっております。今後は内視鏡検査以外に診療する体制を検討する必要性を感じております。

実績報告

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	**2018**	331	355	392	386	368	352	427	400	386	363	345	398	**4,503**
	2019	364	370	351	380	357	391	413	401	425	420	410	436	**4,718**
初診数	**2018**	40	46	51	58	54	57	71	58	40	51	63	53	**642**
	2019	59	43	62	51	48	67	64	60	64	60	62	48	**688**
再診数	**2018**	291	309	341	328	314	295	356	342	346	312	282	345	**3,861**
	2019	305	327	289	329	309	324	349	341	361	360	348	388	**4,030**

【入院】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	**2018**	41	18	19	32	33	29	31	25	19	24	24	20	**315**
	2019	32	19	28	27	27	32	35	36	39	35	41	34	**385**

【退院患者疾病分類】

		患者数（人）	比率（%）
Ⅰ	感染症および寄生虫症	18	4.7
Ⅱ	新生物	54	14.2
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患	10	2.6
Ⅵ	神経系の疾患	9	2.4
Ⅷ	耳および乳様突起の疾患	1	0.3
Ⅸ	循環器系の疾患	26	6.9
Ⅹ	呼吸器系の疾患	13	3.4
ⅩⅠ	消化器系の疾患	221	58.3
ⅩⅡ	皮膚および皮下組織の疾患	2	0.5
ⅩⅢ	筋骨格系および結合組織の疾患	9	2.4
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	7	1.8
ⅩⅧ	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4	1.1
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響	5	1.3
計		**379**	**100.0**

透析センター

羽場　利博

取組み事項

4 月、透析センターに腎臓内科の川村里佳医長が着任されました。そのため、月、水、金曜のグループは前川直美室長が、火、木、土曜のグループは木村記代医長と川村医長が協力して主治医を担当することとなりました。診察の応援として羽場利博が協力、シャントの作成には消化器・一般外科の佐々木久副部長に、シャント血管内治療（VAIVT）は循環器科の後藤拓也副部長に協力いただいていましたが、後藤副部長は 3 月末に退職されました。2020 年 4 月からは循環器内科の宮永大医長に血管内治療を担当いただく予定です。スタッフとしては宮腰心師長と看護師 12 名、看護補助者 1 名、岸上香織臨床工学課長と臨床工学技士 6 名が透析治療にあたっています。

2015 年 10 月に導入された透析監視装置（東レ・メディカル社製　TR-3300M　28 台）にもすっかり慣れ、この 1 年も事故なく安全に透析治療を実施できています。オンライン HDF（Hemo Dialysis Filtration の略、血液濾過透析）モード、I-HDF（間歇補充型 HDF) モードなど多様な治療法で透析を行うことで、患者さんの透析による負担が軽減し、透析の合併症も減らすことができるとともに、生理食塩液を必要としない自動プライミングやワンタッチでの自動脱血や自動返血など、自動化による業務効率化と安全性向上が図られています。

透析患者数は前年度平均 83.4 人から、今年度平均で 80.8 人と 80 人台は維持できましたが、ほぼ頭打ちの状態にあります。治療内容については、血液透析、血液透析濾過（複雑）、選択的血症成分吸着法（LDL アフェレーシス）、吸着式血液浄化療法（エンドトキシン吸着療法）などを継続して行っています。薬物吸着療法、難治性疾患に対する顆粒球除去療法、難治性腹水に対する腹水濾過濃縮再静注法などは対象となる患者さんがおらず、実施していません。

2018 年末の全国の透析患者総数は 339,841 名で、前年より 1.6%増加しています。糖尿病が原因で腎不全となる患者さんが増加しており、糖尿病から透析に至らないよう重症化予防に力を入れていく必要があります。透析が必要となった患者さんには、他科と連携して治療ができる当院の強みを活かし、体の不自由な患者さんには送迎などのサービスをおこない、積極的に腎不全患者の治療にあたっていきたいと思います。

実績報告

【透析数】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血液透析	1,027	1,033	970	1,036	1,019	948	1,000	961	954	987	957	1,003	**11,895**
LDL アフェレーシス	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	**17**
合計	**1,029**	**1,035**	**972**	**1,037**	**1,020**	**949**	**1,001**	**962**	**956**	**988**	**958**	**1,005**	**11,912**

【血液浄化療法患者数、透析数】

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均／計
患者数（人）	**2017**	80	79	77	76	81	80	78	78	78	81	79	78	**78.8**
	2018	80	80	82	83	88	81	84	85	84	84	86	84	**83.4**
	2019	85	84	82	82	84	80	79	79	77	77	80	80	**80.8**
透析数（件）	**2017**	921	976	925	917	975	952	965	991	970	988	905	971	**11,456**
	2018	918	1,000	980	1,006	1,012	947	1,049	1,012	1,000	1,084	957	1,036	**12,001**
	2019	1,029	1,035	972	1,037	1,020	949	1,001	962	956	988	958	1,005	**11,912**

ストレスケアセンター

杉坂　夏子

ストレスケアセンターには常勤医師 2 名、非常勤医師 1 名（0.5 日）、看護師 20 名、精神保健福祉士 5 名、公認心理士 6 名、作業療法士 7 名が所属しています。開放病棟 41 床を有し、平均稼働率 84.8%、平均在院日数は 45.5 日で推移しています。外来は福井県内の他精神科と同様に混み合っており、初診は約 3 週間待ちです。本来は毎日受入れるべきだとは思いますが、再診があふれ、初診を診る余裕はありません。ただ病状に応じて臨時で診察したり、重症の方は閉鎖病棟のある病院を紹介したりしています。再診は午前中に約 35 人の診察を行っています。時間をかけた丁寧な診察がなかなか難しい状況です。ご家族へのケアは主にコメディカルが対応しています。待ち時間は長くても 1 時間までをめざしています。遠方の方も多く、北は三国から南は高浜からいらしています。入院中は脳 MRI 検査、脳波検査、心理検査、心理カウンセリング、作業療法、レクリエーション療法、デイ・ケア、薬物調整などを施行しています。ケースによっては家族、福祉関係者、訪問看護、ケアマネージャーなどとカンファレンスを設け、退院後の生活の準備をします。また一般病棟（内科・外科・整形外科）に入院中の認知症患者さんのリエゾンも行っています。

今年度の新たな取組みとして、介護保険サービスに該当しない認知症のない高齢者のうつ病などの方を対象とした、精神科作業療法（シニア向け）を開始しました。週 1～2 回、半日、病院の中で、体操や作業（調理／手芸／ゲームなど）をするものです。送迎付きです。条件は精神科通院中であることになります。1 日平均 4.6 名程度の利用者で行っています。整形外科のリハビリと違って利用期限や利用回数の上限はありません。見学希望者を待っています。

実績報告

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	**2018**	2,451	2,634	2,646	2,633	2,732	2,383	2,761	2,698	2,699	2,644	2,516	2,723	**31,520**
	2019	2,808	2,770	2,684	2,824	2,754	2,658	2,902	2,873	2,782	2,706	2,476	2,783	**33,020**
初診数	**2018**	33	48	36	27	41	44	53	49	35	35	36	41	**478**
	2019	43	40	37	38	40	29	47	25	36	32	38	51	**456**
再診数	**2018**	2,442	2,620	2,729	2,571	2,663	2,583	2,566	2,513	2,466	2,377	1,971	2,644	**30,145**
	2019	2,765	2,730	2,647	2,786	2,714	2,629	2,855	2,848	2,746	2,674	2,438	2,732	**32,564**

【入院】

単位：人

	年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
患者数	**2018**	27	30	17	28	15	16	17	19	19	25	15	13	**241**
	2019	21	22	19	23	22	18	23	20	14	15	20	17	**234**

【他施設からの紹介患者数】

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
外来	8	9	6	16	15	9	21	10	14	11	13	15	**147**
入院	25	21	29	29	17	11	24	15	15	22	21	24	**253**
合計	**33**	**30**	**35**	**45**	**32**	**20**	**45**	**25**	**29**	**33**	**34**	**39**	**400**

整形外科

古澤　修章

今年度の整形外科は、前年度に続き常勤医師 1 人体制で外来、病棟、手術など行ってきましたが、入院に関しては患者数自体が多いことに加え、高齢者の割合が非常に多く、内科的合併症を有する場合が多いため、副主治医として内山崇医師に内科疾患を診ていただけることとなりました。これにより私個人の負担が減ったこと、より質の高い入院治療ができるようになったことは、これまでになく大きなメリットになりました。また手術の麻酔も担当していただけることで、スムーズに手術予定を入れることができるようになりました。もちろんコメディカルスタッフ、非常勤医師などの協力もあり、今年度も前年度と変わらず、大きな問題なく診療が行えたと思います、

疾患ではやはり高齢者が中心で、外来は変形性関節症や骨粗鬆症など、入院は高齢者の大腿骨頚部骨折、腰椎圧迫骨折などの症例が多かったと思います。

しかし今後も 1 人体制で、現在のように非常に多くの患者さんに対応していけるかは、私個人の気力、体力に負うところが大きく、未確定であると思っています。やはり安定的に診療を続けていくためには、医師の増員が不可欠であると思います。今後も高齢化社会で整形外科患者は増え続けると思われ、できうる限り、地域の患者さんのニーズに応えていきたいと思っています。

実績報告

【手術数】

単位：件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10	6	6	7	5	9	3	7	3	13	6	5	**80**

【手術内訳】

術式	件数
骨折観血的手術	49
腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む）	10
人工骨頭挿入術	7
骨内異物（挿入物）除去術	4
人工関節置換術	3
骨折経皮的鋼線刺入固定術	2
手根管開放手術	2
椎間板摘出術	2
関節内骨折観血的手術	1
合計	**80**

【退院患者疾病分類】

		患者数（人）	比率（%）
Ⅳ	内分泌、栄養および代謝疾患	1	0.4
Ⅵ	神経系の疾患	1	0.4
Ⅸ	循環器系の疾患	1	0.4
ⅩⅡ	皮膚および皮下組織の疾患	1	0.4
ⅩⅢ	筋骨格系および結合組織の疾患	43	16.6
ⅩⅨ	損傷、中毒およびその他の外因の影響	212	81.9
計		**259**	**100.0**

放射線科

高橋　範雄

前年度より引き続き、福井大学から、月曜日午前に非常勤医師を派遣してもらい、休日施行した画像検査の報告書をより迅速に作成しています。さらに木曜日午前に主として巡回健診読影を担当する非常勤医師を派遣してもらっています。

保険診療の検査に関しては従来通り、CT、MRI 検査は全例読影し、単純写真および消化管造影検査は読影依頼のあるものを読影しています。US に関しては画像課技師が担当する腹部および表在検査をチェックしています。外来の胸腹部単純撮影に関しては、読影依頼の無い症例も報告書を作成し、異常所見があった場合には依頼医にメールで報告しています。

CT 造影検査の立会いは、午前中は他科の先生にお願いし、午後のみ担当しています。

健診業務は CT および MRI、院内の胸部写真全例を読影しました。腹部超音波は月・木曜日以外は一次読影者から相談のあった症例のみチェックしました。明らかな異常所見があり、早急な受診が望ましいと判断した場合には、健診担当医に連絡しています。

今年度の実績は、画像診断管理加算 1、2、保険診療の CT および MRI 検査数（コンピュータ断層診断）いずれも微減しました。

肝癌に対する TACE 検査は諸事情により 8 月の 2 件のみと減少しました。

毎週木曜日朝の画像カンファレンスでは過去 1 週間の教育的あるいは興味深い症例の画像を供覧、毎週水曜日夕方の消化器病カンファレンスにも参加しています。今年度はさらに画像課技師を対象とした週 1 回の画像勉強会を再開しました。

福井県肝胆膵勉強会、北陸画像診断勉強会、JCR ミッドサマーセミナー、日本医学放射線学会総会および秋期臨牀大会等院外の研究会、学会に参加し、研鑽を積んでいます。

実績報告

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比
読影														
画像診断管理加算 1	499	553	533	586	507	494	485	490	514	546	504	500	**6,211**	98%
画像診断管理加算 2	442	462	459	455	477	450	447	445	475	457	398	431	**5,398**	97%
コンピューター断層診断	444	463	458	455	478	449	447	445	475	457	398	431	**5,400**	97%
アンギオ														
血管塞栓術					2								**2**	18%

婦人科

福岡　哲二

婦人科では、2019 年 1 月より、銅愛医師（常勤）による月曜午前、平崎真由子医師（非常勤）による火曜午前、水曜午後、そして、福岡が水曜から土曜午前の外来診療をしております。

当科で治療している婦人科疾患は、月経困難症、月経前緊張症、月経異常、過多月経、性行為感染症、鉄欠乏性貧血、更年期障害、子宮筋腫、子宮内膜症など多岐にわたります。10～20 歳代ではクラミジア感染、ヘルペス感染などの性行為感染症、月経困難症が多く、30～50 歳までは、月経異常、子宮筋腫、子宮内膜症、鉄欠乏性貧血が多くなります。特に鉄欠乏貧血は、月経による鉄損失が関与しており、慢性的な貧血による低酸素ストレス状態が継続することは、将来アルツハイマー認知症につながる危険もあり、治療に当たっては、ヘモグロビン値が 12g/dl 以上かつフェリチン値が 50～100ng/ml を目標としています。45 歳から 55 歳の閉経前後では、月経不順、不正子宮出血、更年期障害が多くなります。閉経後では、陰部不快（疼痛、掻痒）、骨盤内臓脱（子宮、膣）が多く、超高齢社会を反映して子宮留膿腫も増加しています。閉経後の女性には、骨密度検査を積極的にすすめ、骨量減少症には生活指導、骨粗鬆症には内服治療を行い、骨折予防による寝たきり防止に努めています。

水曜から土曜午前の外来には、2015 年 8 月より、北陸 3 県の医療機関で初めての「冷え症・漢方外来」（福岡が担当）を併設し漢方診療を行っています。「冷えは万病のもと」という言葉があるように、「冷え」を放置していますと免疫力の低下、代謝機能低下を引き起こし、生活習慣病に発展していきます。『冷え性』とは手や足や腰などの体の一部が冷えてつらいと自覚している状態をいいますが、西洋医学では特別な疾患がない限りは体質として扱われます。それに対して、漢方医学における『冷え症』とは、体の内部の体温低下（冷え）が、手足の冷えやそのほか様々な症状（頭痛、胃痛、腹痛、腰痛、関節痛、神経痛等）を引き起こしている状態をいい、病気として扱います。西洋医学にはこの体の「冷え」に対して治療方法はありませんが、漢方医学には、漢方薬による「体を温める治療」があります。また、漢方治療は、心と身体を一体のものとして扱う「全人的医療」であり、気血水のバランスを整えることにより自然治癒力を高めて治す「守りの医療」であり、かつ個々の人に合わせた「オーダーメイド医療」です。

漢方治療の成否は、患者さんの「証＝漢方医学的診断」をいかに、問診、視診、触診（脈診、腹診）などで正しく診断するかにかかっています。さらには、現在の漢方治療のほとんどは漢方エキス製剤を使用していますが、同じ名前の漢方薬でも、製薬会社によっては構成生薬に違いがあったり、構成生薬の配合比率も違いがあったりします。特に、気虚系統の治療方剤（気を高め、元気にしてくれる漢方薬）は、生薬の朮（ジュツ）として白朮を使用すべきですが、蒼朮を使用して製薬会社があります。したがって、漢方治療の成否には、どの製薬会社の漢方エキス製剤を使用するかも重要に要素になります。現在ほとんどの病院では、このような漢方エキス製剤の特性が吟味されることなく、あるメーカのエキス製剤が独占的に採用されていますが、当院では大手三社（ツムラ、クラシエ、小太郎）の漢方薬の生薬構成、配合比率、エキス含有率、薬価などを総合的に判断し、患者さんに一番よいものを採用して治療しています。

これからも、患者さんファーストの精神で診療に努めていきます。

形成外科

濱　尚子

4 月より形成外科は、常勤医 2 名、非常勤医 1 名（金沢医科大学形成外科教授が月 1 回診療）体制となり週 5 日の診療を行えるようになりました。

保険診療では、常勤医増加に伴い初診、再診ともに患者数を前年度よりも増やすことができました。また、他科および他院から御紹介いただくことで外来患者数が増加し、手術件数も増加してきました。外来での主な診療は皮膚外科領域や一部整形外科や眼科領域（小児を含む外傷、熱傷、褥瘡等慢性潰瘍、皮膚・皮下腫瘍、糖尿病性足壊疽、嵌入爪、ケロイド、眼瞼下垂等）で、局所麻酔下に可能な小手術を主に行っています。また、他科入院中の褥瘡患者の処置と併せて週 1 回の褥瘡回診を行い、予防法などの指導も行っています。

自由診療では CO^2 レーザーを用いたホクロの除去や皮膚腫瘍切除、ハイドロキノン含有化粧品システムやフォトフェイシャルを用いた肌老化に対する美容施術（シミ取り等）、脱毛、その他も行なっています。

2020 年度からは、月曜日～土曜日まで週 6 日の外来診療を行う予定です。これにより今まで以上に、急な外傷の対応含め、幅広く対応が可能となるかと思います。形成外科という分野はあまり周知されていない部分もありますが、少しずつ診療を通して当科の診療領域について周知を図るとともに、地域医療に貢献できたらと考えています。

実績報告

1）保険診療部門

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	**2018**	16	54	62	49	55	32	41	46	46	41	33	67	**542**
	2019	73	108	122	181	160	149	139	134	141	133	121	140	**1,601**
初診数	**2018**	4	4	3	3	6	4	6	3	5	6	3	5	**52**
	2019	7	18	13	18	16	11	15	18	19	12	13	15	**175**
再診数	**2018**	12	50	59	46	49	28	35	43	41	35	30	62	**490**
	2019	66	90	109	163	144	138	124	116	122	121	108	125	**1,426**

【手術件数】

術式	件数
皮膚・皮下組織	
創傷処理（筋肉に達しない）（手の指 1 本）	2
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径 5cm 未満））	8
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの（長径 5cm 以上 10cm 未満））	1
小児創傷処理（6 歳未満）（筋肉、臓器に達するもの（長径 2.5cm 未満））	1
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径 5cm 未満））	23
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの（長径 10cm 以上））	1
皮膚切開術（長径 10cm 未満）	36
皮膚切開術（長径 10cm 以上 20cm 未満）	1
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径 3cm 未満）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2cm 未満）	48
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2cm 以上 4cm 未満）	8
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 4cm 以上）	7
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3cm 未満）	36
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3cm 以上 6cm 未満）	5
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6cm 以上 12cm 未満）	2
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	4
形成	
全層植皮術（25cm^2 未満）	1
皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25cm^2 未満）	1
筋膜、筋、腱、腱 鞘	
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	1
腱縫合術（指）	1
四肢骨	
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指（手、足））	2
四肢関節、靭帯	
ガングリオン摘出術（指（手、足））	1
手、足	
爪甲除去術	4
足底異物摘出術	1
眼瞼	
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	2
外耳	
先天性耳瘻管摘出術	2
合計	**200**

2）自由診療部門

【外来】

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	**2019**	24	21	15	18	15	16	15	9	28	22	18	20	**221**

【施術件数】

施術名	件数
イオン導入	7
ケミカルピーリング（イオン導入含む）	3
ピアッシング　両耳	2
レーザー治療しみ 1 cm^2 あたり	10
レーザー治療ほくろ、いぼ～2mm	25
レーザー治療ほくろ、いぼ 2mm～3mm	11
レーザー治療ほくろ、いぼ 2mm～4mm	4
レーザー治療ほくろ、いぼ 4mm～	8
レーザー治療ほくろ、いぼ 4mm～8mm	7
光線治療 5 回セット	10
光線治療 6 回以降 1 年まで	11
光線治療顔全体照射ヤグレーザー6 回以降 1 年まで	5
脱毛（わき）5 回セット	1
爪処置・1 指（趾）	1
合計	**105**

看護部

酒井　多貴子

看護部では、地域包括ケアシステムの中で、患者さんがその人らしい生活を送るために、専門職としての高い倫理観を持ち、安全で質の高い看護の実践を目指しています。

そのために、医療チームの一員としての役割が果たせる看護職の育成に取り組んでいます。以下、看護部年間活動目標と活動状況を報告いたします。

看護部理念

私たちは、患者さまに温かく心の通う看護・質の高い安全な看護を提供します

活動目標および取組み事項

基　本　方　針

患者さんが居心地良く過ごせ、スタッフが生きいきと看護できる職場環境整備

重　点　目　標

1　**安心・安全で質の高い看護の提供**

1）病棟機能の役割を発揮し、患者さんの安全な療養生活をつくる
2）多職種と連携しその人らしい生活となる入退院支援をする
3）患者・家族の視点を尊重し、根拠に導かれた看護を提供する
4）0 レベルのインシデント報告とその対策から医療事故を予防する
5）患者・家族への理解が得られる説明で信頼関係を築く
6）医療関連感染を防止する

2　**人材育成**

1）看護部目標の共有と個人目標を連動する
2）問題を抽出した看護計画の立案と記録をする
3）教育ラダーに沿った専門職の知識技術を身につける
4）計画的な研修受講と実践教育により根拠ある看護行為を行う

3　**働き続けられる職場環境整備**

1）チーム医療のコーディネートをする
2）人事考課シートの目標を達成する
3）パートナーとペアの業務を通じて PNS の相乗効果が得られる
4）ワークとライフのバランスを両立する
5）やりがいのある環境作りで離職率が減少する

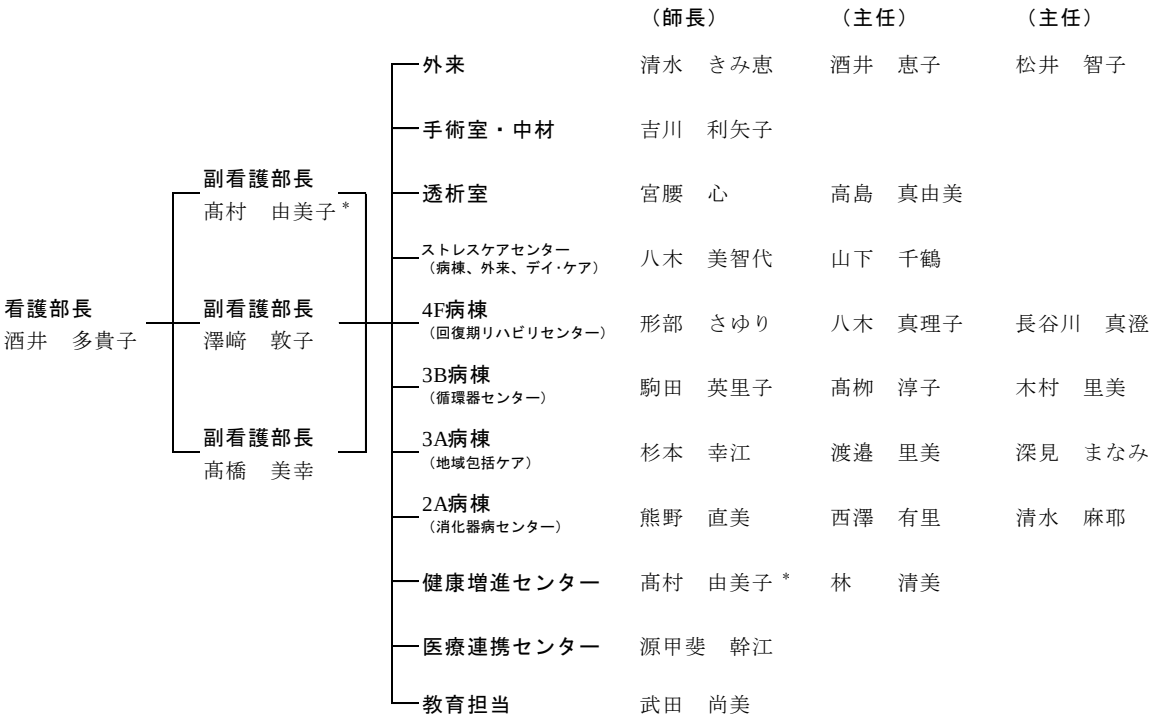
4　**病院経営への参画**

1）目標値の病床利用率を維持する
2）一般病棟入院基本料 5 を維持する
3）緊急入転院患者受入れに対応する空床確保をする

4）診療報酬を把握し病棟を選択する
5）入院決定時に診療計画を把握し、入院前支援をする
6）施設基準に沿った看護職員数を確保し、業務の安定を図る
7）業務の効率化により生産性を上げる
8）病院機能評価受審に合格する
9）診療報酬上の看護ケアに対する加算を取得する
10）病院機能に対応した病院作りに参画する

2019 年 4 月

看護部組織図



（2020 年 3 月 31 日）

看護職員離職率

常勤看護職員離職率	6.2%
新卒看護職員離職率	0.0%

有資格者･研修受講者一覧

感染管理認定看護師	中島　治代
皮膚・排泄ケア認定看護師	宮腰　心
医療安全管理者	酒井　多貴子、森川　裕美、源甲斐　幹江、駒田　英里子
認定心理士	松井　智子

日本糖尿病療養指導士	林　清美
福井糖尿病療養指導士	武田　尚美、渡邉　里美、林田　あゆ美
栄養サポートチーム専門療法士	吉田　瞬
人間ドック健診情報管理指導士	馬場　真希、反保　晶子、髙坂　佳織
消化器内視鏡技師	高島　真由美、酒井　恵子、佐々木　里枝、松田　美津紀、 林　清美、浅井　美津江
精神保健福祉士	澤﨑　敦子、清水　きみ恵
院内臓器移植コーディネーター	武田　尚美、熊野　直美
認定看護管理者研修 ファーストレベル　修了者	髙村　由美子、源甲斐　幹江、吉川　利矢子、宮腰　心、 武田　尚美、八木　美智代、清水　きみ恵、熊野　直美、 駒田　英里子、杉本　幸江、形部　さゆり、深見　まなみ、 松井　智子、山下　千鶴、浅井　信子、森川　裕美
認定看護管理者研修 セカンドレベル　修了者	酒井　多貴子、澤﨑　敦子、髙橋　美幸
臨地実習指導者研修 修了者	八木　美智代、高柳　淳子、長谷川　真澄、中野　謙吾、 塚谷　友花里、玉村　真衣、友田　郁子

看護部教育活動

研修会参加状況

院内研修：延 932 名参加

月	日	研修項目	参加人数
4	3	患者を安全に移乗する方法	新人看護師 12 名 新人看護補助者 5 名
	4	医療安全	新人看護師 12 名
	11	環境整備・ベッドメイキング・全身清拭・陰部洗浄・個人防護具	新人看護師 12 名
	18	食事介助・口腔ケア	新人看護師 12 名
	25	与薬	新人看護師 12 名
5	2	経管栄養	新人看護師 12 名
	9	採血・血液培養検査・針刺し防止・ワクチン接種	新人看護師 12 名
	16	看護管理者研修（重点課題実行計画）	看護師 17 名
	16	血糖測定・インスリン・皮下注射・筋肉注射	新人看護師 12 名
	23	静脈内注射・点滴静脈内注射・生食ロック	新人看護師 12 名
	30	シリンジポンプ・輸液ポンプ	新人看護師 12 名
6	6	浣腸・摘便	新人看護師 12 名
	13	導尿・尿道留置カテーテル・滅菌物取扱い	新人看護師 12 名
	18・20	看護補助者研修（病院組織・看護部組織、個人情報保護）	看護補助者 31 名
	20	心電図モニター・12 誘導心電図	新人看護師 12 名
	27	循環器フィジカルアセスメント	新人看護師 12 名
7	4	3 か月フォローアップ研修（自己の振り返り）	新人看護師 12 名
	11	呼吸器フィジカルアセスメント	新人看護師 12 名
	16・25	看護補助者研修（清潔の援助、排泄介助、食事介助）	看護補助者 33 名

月	日	研修項目	参加人数
7	18	酸素吸入・吸引	新人看護師 12 名
	25	深部静脈血栓予防・身体抑制	新人看護師 12 名
8	1	経路別予防策・N95 マスク装着	新人看護師 12 名
	8	輸血	新人看護師 12 名
	22	急変時対応	新人看護師 12 名
	27	認定看護師出前講座（摂食・嚥下障害看護）	看護職員 28 名
	29	看取りケア・エンゼルケア	新人看護師 12 名
9	5	褥瘡	新人看護師 12 名
	12	6 か月フォローアップ（多重課題）	新人看護師 12 名
	19	吐物処理	新人看護師 12 名
	17・19	看護補助者研修（体位交換・移動移送）	看護補助者 29 名
	26	認定看護師出前講座（慢性心不全看護）	看護職員 31 名
10	7・10	ラダーIII研修（役割モデルの確立・リーダー業務の習得）	看護職員 24 名
	17	看護管理者研修（重点課題成果発表）	看護師 16 名
	25・28	認知症ケア研修	看護職員 57 名
	30	上半期伝達講習会	看護職員 65 名
11	14	ラダーII研修（社会人研修）	看護職員 17 名
	19・21	看護補助者研修（感染防止・環境整備）	看護補助者 32 名
	21	看護管理者研修（重点課題成果発表）	看護師 15 名
12	5・12	ラダーIV研修（リーダーシップ）	看護職員 60 名
1	16・21	看護補助者研修（医療安全・防災）	看護補助者 22 名
	23・30	ラダーV研修（リフレクション）	看護職員 24 名
2	20	1 年フォローアップ研修（看護観）	新人看護師 12 名
3	12・19	ラダーIII研修（自己の成長と今後の目標）	看護職員 24 名
	13	下期伝達講習会	看護職員 63 名
	17・26	看護補助者研修（救急対応）	看護補助者 27 名

院外研修：延 219 名参加

月	日	研修項目	参加人数
4	13	福井県緩和医療研究会	7 名
5	11～12	SST 初級研修会	1 名
	16～	認定看護管理者教育課程　セカンドレベル教育プログラム（～8/7）	1 名
	17	はじめよう！看護研究　実践編	8 名
	22	保健医療福祉サービスの現状と課題	1 名
	23～	福井県保健師助産師看護師　実習指導者講習（～8/9）	1 名
	29	組織マネジメントの実際	3 名
	30	働き方改革の理解と実行への足がかり	3 名
	31～	人間ドック健診情報管理指導士（人間ドックアドバイザー）（～6/1）	1 名
6	12	行動最小化看護	1 名
	13	人事・労務管理	1 名
	21	人材を育てるマネジメント　人材育成の実際	4 名
	22	アンガーマネジメント入門　～基本＆叱り方～	10 名
	30	19 重症度、医療、看護必要度評価者　院内指導者研修	5 名
7	1・5	新人看護職員研修	12 名

月	日	研修項目	参加人数
7	6	看護管理者研修　～看護師の確保と人材育成～	2 名
	7	精神科基礎研修 I	2 名
	14	心電図セミナー基礎 A	3 名
	20	わかりやすい感染対策の視点	2 名
8	3	看護マネジメントセミナー in 金沢	1 名
		精神科基礎研修 II	2 名
	17	わかりやすい呼吸の知識	1 名
	8・22	医療機関における外国人患者受入れの Point Of View	3 名
9	5	入退院支援研修	2 名
	6	キャリア支援を意識したスタッフへの面談スキル	3 名
	7	「今どきナース」のほめ方、しかり方	2 名
	9	新人看護職員研修	3 名
	10～	ファーストレベル研修（～11/26）	1 名
	11～12	災害看護研修　～災害看護の基本的知識～	1 名
	12～25	認知症対応力向上研修	3 名
	14	人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修	2 名
		精神科における地域包括ケア	2 名
	15	肝炎医療コーディネーター養成研修	2 名
	16	看護記録のジョーシキを見直してみよう	1 名
	21	チームで取り組むヒューマンエラー対策	8 名
	23	「スキンケアセミナー」研修	5 名
	28	ディズニーランドの接遇・モチベーション講座	7 名
10	3	入退院支援研修	2 名
	5	看護とリフレクション	3 名
	7・30	実地指導者研修（11/8）	2 名
	7・23	教育担当者研修	3 名
	8	1000 人のがん患者から教わった緩和ケア	2 名
	8・9	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	4 名
	19	事例を通して災害支援ナースの活動を考えよう（水害編）	1 名
	23	教育担当研修　研修計画立案と評価	1 名
	26	看護師職能 I・II　合同研修会	2 名
11	1	ファーストレベル公開講座	1 名
	6	発達障害がある人とのおつきあい	1 名
	9	みて、聞いて、触って学ぼう　腹痛のアセスメント	7 名
	14～28	認知症対応力向上研修	4 名
	16	明日から使える実践的な職場のコミュニケーション	2 名
	17	日本精神看護協会 福井支部 看護研究発表会	2 名
	20	インフルエンザ、ノロウイルス感染対策	3 名
	22	看護管理者のためのストレスマネジメント　～管理職者のこころのまもり方～	2 名
	29	その時どうする？災害発生時の初動対応を考える！～管理者スタッフ間の連携～	1 名
	30	対応困難な学生の事例から学ぶ具体的な対応方法について	2 名
12	3	入退院支援研修	2 名
	6	日本看護サミット 2019・訪問看護サミット 2019	4 名
	7	その人らしく生きるために　～アドバンスケアプランニングを考える～	1 名
		実践に活かせる抑制しない看護	4 名

月	日	研修項目	参加人数
11	8	日総研全国セミナー「看護実践が見える記録を効率的に書くポイント」	1 名
12	11	労働環境をよくするための管理の視点	1 名
	15	「忙しい現場を変える！外来看護の質向上を目指した業務改善とスタッフの教育	1 名
1	25	ADL 評価法 FIM 講習会	1 名
2	7	看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	1 名
	9	ストレスチェック実施者　養成研修	1 名
	14	フレキシブルパス勉強会	2 名
	15	おとなの発達障害の理解　～適切な関わり方を学ぶ～	1 名
	20	新人研修フォローアップ研修「2 年目に向けてこれからの自分の目標を考える」	12 名
	22	地域包括ケアシステムの推進に向けたネットワーク作り	7 名

学会参加：延 17 名参加

月	日	学会名	参加人数
6	21～23	第 44 回　日本精神科看護学術集会	1 名
	21～22	第 24 回　日本緩和医療学会学術集会	2 名
	28～30	第 64 回　日本透析医学会学術集会	1 名
7	19～20	第 21 回　日本医療マネジメント学会学術集会	3 名
8	23～24	第 21 回　日本褥瘡学会学術集会	2 名
	30～31	第 50 回　日本看護学会－精神看護－学術集会	6 名
11	8～9	第 29 回　日本乳癌検診学会学術総会	1 名
2	14～15	第 35 回　日本環境感染学会総会・学術集会	1 名

看護部年間活動

月	活動内容
4 月	新人看護職員研修 臨地実習打ち合せ（福井高校）
5 月	看護の日　記念行事 福井高校　就職説明会参加 福井高校衛生看護科　成人看護実習受入れ
6 月	看護師養成施設　訪問 第 1 回採用試験・面接 重症度、医療・看護必要度　指導者研修
7 月	高等学校訪問 サマー求人説明会参加 看護補助者プチ体験開催 里帰り研修 第 2 回採用試験・面接 看護必要度 e ラーニング実施 福井高校衛生看護科　基礎 I 実習受入れ 福井高校衛生看護専攻科　慢性期実習受入れ 美山ふれあいまつり　救護班派遣 病院機能評価模擬ケアプロセス

月	活動内容
8 月	高校生 1 日看護体験 インターンシップ研修 看護必要度講義・演習・テスト 病院機能評価模擬ケアプロセス 認定看護師出前講座（摂食・嚥下）
9 月	第 3 回採用試験・面接 看護師・補助者就職説明会 美山地区敬老会 救護班派遣 福井高校 戴帽式出席 福井高校衛生看護専攻科　急性期実習受入れ 病院機能評価模擬ケアプロセス 認定看護師出前講座（慢性心不全）
10 月	中学生職場体験受入れ 各部署防災訓練実施 美山地区そば祭り、文化祭 救護班派遣 福井高校衛生看護科　基礎Ⅱ実習受入れ 福井高校衛生看護専攻科　急性期実習受入れ 福井高校衛生看護専攻科　統合実習受入れ 病院機能評価模擬ケアプロセス
11 月	中学生職場体験受入れ 福井高校衛生看護科　基礎Ⅲ実習受入れ 福井高校衛生看護専攻科　老年看護学実習受入れ 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 出前講座 福井医師会就職セミナー参加（看護師 2 名派遣） 病院機能評価模擬ケアプロセス
12 月	職員満足度調査 実施 認知症加算研修 病院機能評価模擬ケアプロセス
1 月	院内研究発表会 病院機能評価模擬ケアプロセス
2 月	教育異動 実施 病院機能評価模擬ケアプロセス 病院機能評価受審
3 月	就職説明会

リハビリ課

桑野　寛之

事業方針

1　**職場環境の見直し**

働きやすく明るい職場づくり（部門内の協力体制の構築）

残業時間の短縮（業務量の偏り防止・効率化）

2　**人材育成の強化**

職員の能力を把握と育成プログラムの再検討

次世代リーダーの育成

3　**安全で質の高い技術の提供**

安全・確認業務の徹底

同類インシデントの再発防止および KYT の促進

4　**経営参画**

部門単位の実績・傾向把握および分析

各部門の新たな取組み・企画の提案

コスト削減に向けての職員一人ひとりの意識変革

実績報告

【医療保険部門】

1）各療法別推移

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
理学療法	10,777	11,509	11,234	11,630	11,618	10,558	10,772	10,465	10,457	10,637	9,946	10,444	**130,047**	**87.2%**
作業療法	5,089	5,320	4,986	5,374	5,170	4,873	4,659	4,646	4,699	4,733	4,567	4,470	**58,586**	**80.0%**
言語療法	543	603	800	724	516	512	632	597	597	489	323	280	**10,419**	**90.1%**
摂食療法	266	346	211	289	347	294	277	289	310	350	394	430		
合計	**16,675**	**17,778**	**17,231**	**18,017**	**17,651**	**16,237**	**16,340**	**15,997**	**16,063**	**16,209**	**15,230**	**15,624**	**199,052**	**85.1%**
物理療法	145	163	131	139	134	127	125	101	91	91	87	86	**1,420**	**131.2%**

2）部門別推移

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
外来	4,725	4,758	4,647	4,703	4,764	4,618	4,614	4,464	3,950	3,944	3,563	4,039	**52,789**	**77.2%**
一般入院	4,164	4,192	4,143	4,634	4,382	3,875	3,943	3,813	3,873	3,971	3,822	4,056	**48,868**	**90.9%**
包括ケア	2,816	2,867	2,652	2,807	2,517	2,359	2,313	2,276	2,434	2,638	2,599	2,768	**31,046**	**83.5%**
回復期	4,970	5,961	5,789	5,873	5,988	5,385	5,470	5,444	5,806	5,656	5,246	4,761	**66,349**	**88.9%**
合計	**16,675**	**17,778**	**17,231**	**18,017**	**17,651**	**16,237**	**16,340**	**15,997**	**16,063**	**16,209**	**15,230**	**15,624**	**199,052**	**85.1%**

3）疾患別リハビリ推移

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
外来														
運動器	4,353	4,444	4,377	4,369	4,438	4,323	4,279	4,138	3,691	3,632	3,254	3,701	**48,999**	**78.3%**
脳血管	339	286	245	304	284	267	306	294	234	286	276	309	**3,430**	**63.8%**
呼吸器	10	6	6	6	6	8	4	8	2	4	4	6	**70**	**76.1%**
心大血管	19	20	19	24	26	20	23	17	16	16	20	19	**239**	**71.1%**
摂食	4	2			10		2	7	7	6	9	4	**51**	**78.5%**
入院														
運動器	8,022	8,384	8,017	8,210	8,005	7,011	7,022	7,430	7,903	8,577	8,510	8,156	**95,247**	**96.0%**
脳血管	1,482	1,750	2,145	1,912	2,073	2,259	2,655	2,117	2,363	2,066	1,426	1,449	**23,697**	**75.6%**
廃用	1,011	974	899	981	729	701	491	343	129	150	336	391	**7,135**	**59.0%**
呼吸器	681	1,077	614	1,239	1,116	610	806	770	658	640	417	437	**9,065**	**84.5%**
心大血管	409	409	373	258	291	438	214	269	372	308	369	441	**4,151**	**98.8%**
がんリハ	83	82	325	425	336	306	263	322	385	180	224	285	**3,216**	**59.7%**
摂食	262	344	211	289	337	294	275	282	303	344	385	426	**3,752**	**142.6%**
合計	**16,675**	**17,778**	**17,231**	**18,017**	**17,651**	**16,237**	**16,340**	**15,997**	**16,063**	**16,209**	**15,230**	**15,624**	**199,052**	**85.1%**

【介護保険部門】

短時間型通所リハビリセンター（しあわせ元気リハ）

単位：実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
理学療法	314	318	331	387	366	342	358	367	374	351	349	321	**4,178**
作業療法		3	3	3	7	3	4	4	4	4	4		**39**
言語療法	7	5	10	11	9	12	13	15	12	12	8	8	**122**
合計	**321**	**326**	**344**	**401**	**382**	**357**	**375**	**386**	**390**	**367**	**361**	**329**	**4,339**

前年度比　理学療法：170.9%　作業療法：20.9%　言語療法：88.4%　全体：156.7%

まとめ

①医療保険部門の実績は前年度比 85.1%と低下し、要因としては 1）リハビリ課職員の年間平均常勤換算が産休・育休等により前年度に比べ 5.6 人減少していること、2）外来患者のうち要介護認定者が 2018 年開設した「短時間型通所リハビリセンター」に移行したことが挙げられる。また、疾患別では入院患者における「廃用症候群」「がんリハ」の対象者の減少によりリハビリ件数も大きく減少している。入院患者の「摂食療法」のみ増加しており、要因として前年度に引き続き、主治医に嚥下造影検査を積極的に依頼したことが挙げられる。

②2018 年 4 月よりリハビリ室内に介護保険部門として開設した「短時間型通所リハビリセンター（しあわせ元気リハ）」の実績は前年度比 156.7%と大きく増加した。当院外来からの移行も含め、院内・院外問わず、包括・居宅事業所に積極的に広報を行ったことにより、新規利用者の紹介も増え、件数の増加に繋がっている。

③前年度に引き続き、審査支払機関からの返戻件数減少に向けて、医事課と連携し取り組んだ結果、前年度返戻金額から約 1,000 万円の減少となった。

④福井市からの委託事業である「地域リハビリテーション活動支援事業」や各包括支援センターから依頼された「自立支援型地域ケア会議」「介護予防教室」などにリハビリ職員を派遣し、地域への貢献および他事業所との連携強化さらには職員の質の向上にも繋がったと考える。

画像課

笠原　耕司

取組み事項

高度医療機器の有効活用と稼働率の向上

・画像課全体の業務量は、41,846 件と前年度比 3%の減少（－1,134 件）
・新たにリウマチに対する関節エコー検査の実施

業務改善事項

・CT、MR、一般撮影等すべてのマニュアルの訂正、作成
・5S 活動の実施
・健診センターでの乳房自己検診啓発活動の実施

教育

・学会への参加
・認定資格の新規取得（X 線 CT 撮影認定技師 1 名）
・放射線科医師との定期的な勉強会の開催
・乳房撮影装置の施設認定更新

環境

・12 月より平日時間外検査は拘束体制から宿直体制に変更
・診療用放射線の安全利用のための指針の作成

まとめ

全体の業務量は前年度比 3%減少した。心カテ検査は増加したものの、健診部門での CT 検査、MRI 検査、超音波検査が減少した。

「診療用放射線に係る安全管理体制について」が、改正され 2020 年 4 月 1 日より施行される。当院における安全利用のための指針を作成し、今後指針に沿った業務を実施していく。

平日の時間外検査を拘束体制から宿直体制にすることにより、時間外での検査も即応可能となり、検査数も増加している。

実績報告

【合計】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	1,992	2,030	2,111	2,283	2,068	1,982	2,036	2,021	1,878	1,777	1,835	1,492	**23,505**
超音波	497	599	669	697	669	615	677	610	626	550	532	479	**7,220**
CT	331	357	354	354	369	360	340	336	364	384	313	319	**4,181**
MRI	182	211	189	187	184	166	162	175	195	191	182	184	**2,208**
乳房	153	151	196	196	205	211	220	218	149	133	140	76	**2,048**
心カテ	21	17	17	15	7	14	14	17	17	11	8	14	**172**
アンギオ					2								**2**
DEXA	36	33	49	41	37	41	38	33	35	32	37	35	**447**
胃透視	138	175	203	205	197	188	213	173	140	95	107	73	**1,907**
その他	20	19	15	11	10	17	9	2	9	16	14	14	**156**
合計	**3,370**	**3,592**	**3,803**	**3,989**	**3,748**	**3,594**	**3,709**	**3,585**	**3,413**	**3,189**	**3,168**	**2,686**	**41,846**

【保険診療】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	1,033	1,062	969	1,036	999	906	924	954	997	1,027	978	960	**11,845**
超音波	208	218	209	216	212	211	244	206	228	209	174	209	**2,544**
CT	312	343	343	348	354	345	329	329	350	369	296	311	**4,029**
MRI	154	158	146	143	153	135	146	151	171	151	136	161	**1,805**
乳房		1	3	1	1	1	1		2	1			**11**
心カテ	21	17	17	15	7	14	14	17	17	11	8	14	**172**
DEXA	24	23	34	30	27	27	29	26	31	24	26	27	**328**
胃透視	6	10	10	4	4	4	10	13	8	6	8	2	**85**
その他	20	19	15	11	12	17	9	2	9	16	14	14	**158**
合計	**1,778**	**1,851**	**1,746**	**1,804**	**1,769**	**1,660**	**1,706**	**1,698**	**1,813**	**1,814**	**1,640**	**1,698**	**20,977**

【健診・ドック（院内）】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	959	968	1,142	1,247	1,069	1,076	1,112	1,067	881	750	857	532	**11,660**
超音波	289	381	460	481	457	404	433	404	398	341	358	270	**4,676**
CT	19	14	11	6	15	15	11	7	14	15	17	8	**152**
MRI	28	53	43	44	31	31	16	24	24	40	46	23	**403**
乳房	153	150	193	195	204	210	219	218	147	132	140	76	**2,037**
DEXA	12	10	15	11	10	14	9	7	4	8	11	8	**119**
胃透視	132	165	193	201	193	184	203	160	132	89	99	71	**1,822**
合計	**1,592**	**1,741**	**2,057**	**2,185**	**1,979**	**1,934**	**2,003**	**1,887**	**1,600**	**1,375**	**1,528**	**988**	**20,869**

検査課

水野　幸恵

取組み事項

・標準作業手順書、機器点検表を備え、マニュアルを充実。業務の標準化を実施
・輸血用冷蔵庫、患者さん用手すり、安全キャビネット購入など検査室の環境整備を実施
・細胞診において、公益社団法人日本臨床細胞学会施設認定制度の 967 番目施設として認定登録後の監査においても、A 認定施設となる
・病理診断においても標準化を目指し、マニュアル全体を見直し。切出室の環境整備を行い、ホルマリン暴露を最小限に抑制
・夜間緊急用検査のための臨床化学分析装置ドライケムの運用開始
・尿沈渣で尿路感染が疑わしい場合は主治医に報告し、培養実施率の向上に寄与

チーム医療強化

・ICT 委員会、褥瘡対策委員会、NST 委員会の病棟回診参加
・褥瘡回診で創部写真撮影と管理を継続、超音波装置を用いて褥創エコーも継続
・他院との感染対策合同カンファレンスへの参加、他院との比較表の作成
・糖尿病教室、肝臓病教室への参加
・糖尿病患者の SMBG 導入時指導の継続、機器トラブル時の対応、管理
・病棟使用の血糖測定測定器 POCT の精度管理を毎月実施
・外来処置室業務の採血に加え、検体採取にも検査技師応援体制を継続
・病棟検体採取容器を定数管理し、補充や使用期限の管理省力化

検査の質の向上

・院外研修への積極的参加、院内研修会参加（合計 29 回）
・研究発表　4 月 21 日　　第 31 回福井県医学検査学会
　　9 月 8 日　　第 36 回日本臨床細胞学会 北陸連合会
　　10 月 2 日　　第 59 回日本臨床衛生検査技師会 近畿支部 医学検査学会

実績報告

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生理機能													
心電図	979	901	896	989	947	889	978	926	948	905	891	958	**11,207**
長時間心電図	69	66	75	62	62	59	94	53	73	75	79	101	**868**
心臓超音波	244	227	221	249	199	204	227	194	220	207	206	245	**2,644**
呼吸機能	17	9	19	14	7	16	19	10	19	12	13	15	**170**
脳波	23	14	22	25	26	16	21	21	21	13	18	33	**253**
筋電図	2	1	1	3	4	2		1	1	1	1	1	**20**
聴力検査	42	42	46	42	54	30	27	29	31	31	45	47	**466**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病理													
病理	77	51	79	82	63	65	75	62	69	65	65	56	**809**
細胞診													
細胞診	185	186	230	228	226	211	234	242	167	174	179	122	**2,384**
検体													
術中迅速			1	1		1	1				1		**5**
尿検査	1,031	1,021	1,021	1,033	1,100	1,008	1,068	1,041	1,081	1,094	1,025	982	**12,505**
血液検査	2,311	2,216	2,206	2,332	2,310	2,124	2,184	2,106	2,178	2,233	2,074	2,232	**26,506**
血清検査	708	728	664	725	697	637	602	592	643	734	640	673	**8,043**
生化学検査	2,552	2,413	2,425	2,509	2,494	2,300	2,628	2,411	2,385	2,629	2,034	2,481	**29,261**
細菌													
細菌検査	141	154	155	162	178	112	135	129	151	188	126	144	**1,775**

検査件数を前年度実績と比較すると、生理機能検査において、心電図、呼吸機能は下回り、それ以外の項目は、前年度を上回りました。病理・細胞診検査においては、前年度を下回りました。検体検査においては、生化学・尿・血液検査が前年度を下回り、それ以外の項目は増加傾向でした。

まとめおよび今後の課題

医療法改正および病院機能評価受審に伴い、標準作業手順書、機器点検表を備え、業務に沿ったマニュアルとして充実を図り、標準化に取組みました。

検査の信頼性や精度は日々向上していますが、実際、現場には多くのピットホールが存在しています。数値をそのまま信じ込むのではなく、誤報告が重大事故に結びつく可能性があることを念頭に日常業務をこなす必要があります。検体検査においては、正確かつ迅速な処理と報告が大事ですが、異常を見つけたら、慎重に対応する姿勢を常に忘れず、引き続き協力体制を整え迅速な業務運営ができるようにします。

熟練を要する生理検査、病理検査においても、標準作業手順書に忠実に従い、疑問に思ったことは、先輩技師に気軽に聞ける雰囲気作りに努めます。

今後の課題として各々が抱えている問題点や要望などを探り、各検査技師の質の向上とモチベーションアップを目指します。

老朽化機器の更新においては、臨床・患者さんへのサービス向上、検査結果の信頼性、省力化と業務の生産性、トータルコストの抑制などを考え、入替え機器の選定を行っていきます。

栄養課

天野　美鶴

取組み事項

患者満足度の向上

・安全で美味しい食事の提供
・在宅での栄養管理が継続できる支援を行う

チーム医療の推進

・NST、褥瘡回診への積極的な参加と緩和チームの一員としての活動
・糖尿病教室の定期的開催
・肝臓病教室の定期的開催
・カンファレンスへの参加

管理栄養士個人のレベル向上

・課内での勉強会を継続
・学会、研修会への積極的な参加

実績報告

【栄養指導数】

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来初回	6	8	4	19	10	10	14	16	16	10	13	18	**144**
外来 2 回目以降	51	47	52	61	59	73	69	65	65	76	67	73	**758**
外来透析初回		1			1			1	1				**4**
外来透析 2 回目以降	2	12	8	9	4	5	9	7	35	1	2	3	**97**
入院初回	41	30	33	33	24	35	25	38	37	28	31	27	**382**
入院 2 回目以降	6	5	4	8	3	1	3	6	6	2	7	5	**56**
非加算	4	7	18	18	11	9	17	10	8	16	11	11	**140**
ドック	3	1	7	8	9	6	10	6	5				**55**
合計	**113**	**111**	**126**	**156**	**121**	**139**	**147**	**149**	**173**	**133**	**131**	**137**	**1,636**

【入院食数】

単位：食

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般食	8,466	8,152	7,838	8,023	7,913	7,265	6,652	6,622	7,518	8,275	8,475	8,517	**93,716**
経管栄養	248	400	404	330	377	520	535	416	511	578	552	659	**5,530**
治療食	5,187	5,084	5,228	4,793	3,729	4,098	4,486	5,526	5,966	5,428	4,432	4,595	**58,552**
合計	**13,901**	**13,636**	**13,470**	**13,146**	**12,019**	**11,883**	**11,673**	**12,564**	**13,995**	**14,281**	**13,459**	**13,771**	**157,798**

まとめおよび今後の課題

４月より新厨房で新規の給食委託業者による給食を開始しました。委託業者が変更になった事で、献立内容も大幅に変更となり、食器やトレーが全て新しくなりました。

今後も給食委託業者との定期的な話し合いや日常の連携を密にしながら、更に患者さんのニーズに合った対応ができるよう努力していきたいと思います。

また、今年度は機能評価受審に備え、各マニュアルの見直しを行いました。特に災害時のマニュアルに力を注ぎました。未だ十分ではありませんが、災害が発生した際の対応を具体的に示すようなマニュアルに近づいてきました。今後は、病院全体で災害時に対応できる体制を検討する必要があると思われます。

薬剤課

吉田　明弘

取組み事項

・病棟常駐活動の安定化
・チーム医療への積極的参加
・監査ミス、調剤ミスの減少
・薬剤師の育成
・注射薬の払出しと電子カルテ実施の検証
・後発医薬品の採用の促進
・有効性・安全性向上のための処方監査徹底
・医薬品情報の収集、伝達
・医薬品安全管理責任者業務の取組み強化

実績報告

【処方箋数】

単位：枚

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来													
院外	6,423	6,271	5,991	6,292	6,411	5,774	6,340	6,072	6,247	5,973	5,641	5,922	**73,357**
院内	214	187	189	215	191	180	185	202	258	306	186	167	**2,480**
外来合計	**6,637**	**6,458**	**6,180**	**6,507**	**6,602**	**5,954**	**6,525**	**6,274**	**6,505**	**6,279**	**5,827**	**6,089**	**75,837**
入院													
処方箋	2,258	2,269	2,450	2,095	1,979	1,868	1,887	2,083	2,275	2,248	2,116	2,063	**25,591**
注射箋	1,449	1,494	1,516	1,327	1,348	1,289	1,182	1,315	1,148	1,277	1,217	989	**15,551**
入院合計	**3,707**	**3,763**	**3,966**	**3,422**	**3,327**	**3,157**	**3,069**	**3,398**	**3,423**	**3,525**	**3,333**	**3,052**	**41,142**

【服薬指導数】

単位：件

	点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤管理指導料1	**380**	162	143	139	145	134	138	118	132	138	152	137	148	**1,686**
薬剤管理指導料2	**325**	102	90	92	103	86	74	111	124	114	92	84	79	**1,151**
退院時薬剤情報管理指導料	**90**	78	75	66	82	76	80	73	71	79	56	52	63	**851**
麻薬管理指導加算	**50**	1	1	6	4	1	3	10	12	9	4	1		**52**
合計		**343**	**309**	**303**	**334**	**297**	**295**	**312**	**339**	**340**	**304**	**274**	**290**	**3,740**
保険請求点数（点）		**101,780**	**90,390**	**88,960**	**96,155**	**85,760**	**83,840**	**87,985**	**97,450**	**97,050**	**92,900**	**84,090**	**87,585**	**1,093,945**

【持参薬確認数】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
持参薬確認数	131	145	131	126	138	120	143	144	140	139	118	115	**1,590**

【化学療法混合調製数】

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
無菌製剤処理料1（閉鎖式）		2	1		2	2	2	1		1	1	1	**13**
無菌製剤処理料1（閉鎖式以外）	30	34	24	33	32	24	28	18	11	11	11	15	**271**

【TDM（特定薬剤治療管理料）数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TDM 件数		2					1	2			1	1	**7**
保険請求点数（点）		940					470	940			470	470	**3,290**

【前年度との比較（1 か月平均）】

	前年度	今年度
処方箋数		
外来		
院外	6,263.6 枚	6,113.1 枚
院内	256.5 枚	206.7 枚
外来合計	**6,520.1 枚**	**6,319.8 枚**
入院		
処方箋	2,210.2 枚	2,132.6 枚
注射箋	1,330.4 枚	1,295.9 枚
入院合計	**3,540.6 枚**	**3,428.5 枚**
服薬指導数		
薬剤管理指導料 1	125.1 件	140.5 件
薬剤管理指導料 2	90.3 件	95.9 件
退院時薬剤情報管理指導料	64.7 件	70.9 件
麻薬管理指導加算	7.7 件	4.3 件
合計	**287.8 件**	**311.7 件**
保険請求点数	**83,093.3 点**	**91,162.1 点**
持参薬確認数	120.0 件	132.5 件
無菌調製処理料 1（閉鎖式）	1.1 件	1.1 件
無菌調製処理料 1（閉鎖式以外）	15.5 件	22.6 件
TDM（特定薬剤治療管理料）	0.3 件	0.6 件

まとめ

新卒薬剤師が 1 名入職した。教育が順調に進み、服薬指導数は前年度平均より 8.3%増加した（保険請求点数 9.7%増加）。

後発医薬品へ採用切替えを積極的に行い、後発医薬品使用体制加算において、後発医薬品単位数量割合が、それまで 70%以上であったが、2019 年 1 月から 80%以上、さらに 11 月からは 85%以上となり後発医薬品使用体制加算 1 の算定が可能となった。

医師のオーダーを薬剤師の視点で調剤前に点検する文化が根付き、全オーダーを点検し、活発な疑義照会を行い有効性、安全性の向上に努めている。また前年度同様にチーム医療として NST、ICT、医療安全、さらに緩和ケアに参加した。診療科の追加や診療の変化、新薬の発売やガイドライン等に対応できるよう幅広い知識の習得とともに総合力、経験の必要性を感じている。

2A、3B の一般病棟で病棟常駐を継続し、さらに 8 月からはストレスケア病棟へも配置が完了したため、同月より病棟薬剤業務実施加算の算定を開始した。薬剤師の常駐により薬物治療を安全に行い、さらに有効性を高め、病棟の看護師とも積極的な連携を図れるよう貢献していきたい。

抗菌薬適正使用支援加算が新設され、当院では 2018 年 4 月から ICT 担当薬剤師を専任として算定を開始し 2 年が経過した。新設報酬であるが厚生局による指摘事項はなかった。引き続き臨床現場に有用な情報を提供するとともに算定を継続していきたい。

臨床工学課

岸上　香織

取組み事項

アブレーション業務

・CARTO 操作開始（4 月～）
・アブレーション業務 2 名体制（2 月～）

透析業務

・シャントエコー開始（7 月～）
・患者毎にシャント MAP 作成
・循環器科医師とシャントカンファレンス開始（2 月～）

手術室業務

・眼科手術立ち合い開始（5 月～）

実績報告

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日常点検の確実な実施													
輸液ポンプ返却時点検	89	88	103	84	82	81	79	77	69	76	46	64	**938**
シリンジポンプ返却時点検	30	23	24	22	25	24	21	33	20	28	35	24	**309**
人工呼吸器（NPPV 含む）													
返却時点検数	2	1	1	1	1	1	2	1	2	3	1	1	**17**
使用中点検数	26	28									17	26	**97**
定期点検													
輸液ポンプ	5	30					5	30					**70**
シリンジポンプ					24						24		**48**
特殊血液浄化													
LDL－A 等	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	**16**
手術立会い	30	21	40	50	38	38	40	42	50	41	45	40	**475**
シャントエコー				19	23	21	18	14	20	19	20	19	**173**

今後の課題

シャントエコーの知識・技術を向上し、より正確なシャント MAP 作成ができるよう努める。また、医師と情報共有し VAIVT に繋げていく。

医療連携センター

源甲斐　幹江

取組み事項

・紹介、逆紹介患者増加の推進
・医師の事務作業軽減・協力への取組み
・紹介転院患者の受入れ
・医療と介護の連携推進、入退院支援体制の充実（入退院支援加算、介護連携指導等）
・地域連携パスを通しての連携（脳卒中パス・大腿骨頚部骨折パス会議への参加）

実績報告

紹介目的別紹介数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	20	12	12	9	15	16	10	10	15	14	9	7	**149**
診察	114	120	135	117	112	104	123	108	106	109	110	112	**1,370**
処置	6	6	6	3	3	4	6	7	6	4	3	2	**56**
リワーク デイ・ケア	5	2	3	6	4	2	3	4	2	2	2	1	**36**
放射線	35	33	41	23	36	29	22	29	32	21	31	28	**360**
入院	10	6	10	21	15	12	17	14	18	14	14	15	**166**
転院	24	31	11	17	22	20	15	22	14	20	14	20	**230**
合計	**214**	**210**	**218**	**196**	**207**	**187**	**196**	**194**	**193**	**184**	**183**	**185**	**2,367**

逆紹介転院数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
逆紹介転院	3	8	13	11	4	9	1	6	9	8	8	6	**86**

連携パス紹介数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳卒中	4	5	1	2	5	7	2	5	3	5	4	7	**50**
大腿骨頚部骨折	1	2	3	3	0	2	3	5	3	2	0	2	**26**
合計	**5**	**7**	**4**	**5**	**5**	**9**	**5**	**10**	**6**	**7**	**4**	**9**	**76**

入・転院受入れ相談

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入・転院受入れ相談	22	30	19	24	20	21	13	12	18	24	15	19	**237**

渉外活動

・顔の見える連携　情報交換訪問　446 件

・施設病院間の情報交換会

2019 年 7 月 23 日（水）　48 名参加（院外 29 名、院内 19 名）

・「予期せぬ再入院を防ぐために」　福井大学　医学部地域医療推進講座　山村修医師

・グループディスカッション

2020 年 2 月 18 日（火）　51 名参加（院外 31 名、院内 20 名）

・「再入院を減らすためのサルコペニア対策」

福井大学　医学部地域医療推進講座　山村修医師

・グループディスカッション

・医療連携勉強会・懇親会開催　12 月 7 日（土）　55 名参加（院外 35 名）

症例発表

「糖尿病と癌」　福井厚生病院　内科（代謝・内分泌科）　松浦　宏之

「地域包括ケアシステム時代における救急総合診療医の役割と野暮な野望」

福井厚生病院　救急・総合診療科　内山　崇

退院調整に伴う加算

単位：件

	点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入退院支援加算 1	**600**	57	69	56	61	53	43	47	42	57	60	57	51	**653**
介護支援等連携指導料	**400**	40	49	31	47	34	29	30	38	39	40	37	22	**440**
精神保健福祉士配置加算	**30**	995	1,020	1,018	1,094	1,044	962	1,010	1,041	1,044	969	952	1,044	**12,193**
地域連携診療計画加算	**300**	9	5	4	6	8	4	4	3	2	12	8	3	**68**
退院時共同指導料 2	**400**	1	1	1			2	1	1		1	1	1	**10**
多機関共同指導加算	**2,000**						1						1	**2**

相談業務

・関係スタッフで週 3 回（月・水・金）行う「入院時カンファレンス」において、入院患者の早期の情報交換を行い、退院時の課題を予測している。これが入院中の看護や医療ケアの共通認識につながり、退院調整に有益となっている。

・ストレスケア病棟を除く 4 病棟に 3 名の医療ソーシャルワーカー（MSW）と 1 名の退院調整看護師を配属することで、入院日より情報を捉え、本人に携わる関係スタッフと密な情報交換を行える体制となっている。

・それぞれの病棟 MSW からの申し送りと当日の予定を毎朝確認し、退院調整状況を把握することで、病院全体のベットコントロール状況を把握することができている。
・ソーシャルワーカー室専用の外線電話を設置し、外部とのやり取りがスムーズにできるようにした。
・外来相談においても MSW が曜日担当で対応し、幅広く相談援助を行えるよう努めている。
・室料差額について、本人・家族より同意を得られず転院日時の先延ばしが生じることがあるが、早期転院受入ができるよう調整している。

まとめ

・機能評価受審に伴いマニュアルの整備を行い、医療連携センター全体で共有することができた。
・地域包括ケア体制の一環として、レスパイト入院の受け入れをスムーズに行えた。
・地域包括ケア体制の構築に向け、患者が急性期から在宅に至るまでに関わる機関・職種間の連携が更に求められる。今後も地域に開かれた医療連携センターとして、地域包括ケアシステムの中で十分な役割を果たせるよう、院外の病院、診療所との連携や介護事業所との交流を深め、連携強化に努めていきたい。

健康増進センター

北　泰郎

事業実績

月別受診者数および前年度比較

単位：人

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
協会けんぽ															
院内	**2018**	498	494	567	476	409	451	432	463	360	293	306	159	**4,908**	**94.3%**
	2019	444	434	504	499	408	434	440	398	323	288	315	145	**4,632**	
巡回	**2018**	369	491	1,120	504	351	786	849	963	234	253	286	154	**6,360**	**102.6%**
	2019	419	403	1,138	612	318	596	809	1,057	423	320	284	151	**6,530**	
人間ドック															
1 日	**2018**	128	233	295	269	339	271	348	329	310	329	294	170	**3,315**	**101.9%**
	2019	145	255	297	286	323	293	300	308	310	300	325	238	**3,380**	
2 日	**2018**	12	10	13	16	17	14	18	20	17	16	15	10	**178**	**33.1%**
	2019	3	1	7	8	9	6	10	6	5	4	ー	ー	**59**	
定期健康診断															
院内	**2018**	268	306	313	404	252	307	366	307	240	167	171	148	**3,249**	**103.1%**
	2019	357	290	325	446	289	307	342	319	224	139	195	119	**3,352**	
巡回	**2018**	1,047	2,403	2,845	2,367	2,772	1,269	2,277	2,069	610	251	822	666	**19,398**	**101.0%**
	2019	1,130	2,558	3,083	1,801	2,289	1,805	2,184	1,650	1,244	467	668	725	**19,604**	

・人間ドック（1 日、2 日）において受診者数は前年比 54 人減であった
・巡回健診（協会けんぽ、定期健康診断）において新たに 8 社と契約した
・ストレスチェック実施（64 事業所　10,097 人実施）

事後指導実績

院内健診、巡回健診にて胃がん・胸部 X 線・大腸がん検査の有所見者に対し二次検診を積極的に勧め、当院での受診に繋げた。

検査名	受診者総数	有所見者数	当院精検受診者数*
胃がん検査（X 線造影）	3,869 人	150 人	29 人
胸部 X 線検査	31,036 人	666 人	108 人
大腸がん検査（便潜血）	15,320 人	922 人	186 人

＊当院精検受診者数については巡回健診および人間ドックの計とする

総括

・内視鏡枠の縮小および2月より2日ドック廃止のため人間ドック受診者数は減少したが、定期健診、ストレスチェックの増加で前年度増の売上げを計上した

・来年度に向け、官公庁、市町村の収益増を目標とする

在宅医療部

林　眞智子

取組み事項（年度目標）

【魅力ある介護事業の継続】

医療と福祉を融合したトータルケア

新規事業所の早期安定化

・介護職員の資質向上

・人材確保

経営参画

・在宅医療部全体の収入実績は目標の 98.2%、前年度比 100.4%、件数は目標の 95.6%となった。

・サービス付き高齢者向け住宅「すまいる・厚生」は、重度の方が多いため、入院や死亡による入退室はあるものの、51 室満室状態（入居者平均数 51 名）である。

・看護小規模多機能型居宅介護「あったかホームひまわり」は、7 月に開設したサテライトに 4 名異動したこともあり、登録目標数 27 名の所、平均利用者登録数は 25.2 名となり、目標の 93.3%となった。収入実績は目標の 94.3%となった。

・4 月に「デイサービスさくら（認知症対応型デイサービス）」を廃止し、5 月に「看護小規模多機能型居宅介護あったかホームさくら」を開設した（利用者登録数 17 名）。平均利用登録数は 15 名で目標の 93.8%、収入実績は目標の 106.7%となった。

・7 月に「あったかホームひまわりサテライト」を開設（福井市の公募・補助事業）。
登録者 4 名からスタートし 8 名まで増加したが、重度の方の割合が多く死亡や入院による増減が著しかった。利用者登録数は目標の 76.0%（平均登録数 5.7 名）、収入実績は目標の 108.0%となった。

・12 月にシニア世代対象（送迎あり）の作業療法「ゆう」を開始し、登録患者数 5 名から 15 名に増やした。しかし、コロナの影響もあり、休まれる方が増え週 3 日午前の稼働で、平均利用患者数は 4.6 名となった。

・今年度の収入実績は、入居系 101.6%・訪問看護 100.4%・通所リハビリ 111.1%と堅調であった。居宅支援事業所からの利用者紹介が各事業所の収入増加に大きく寄与した。

・職員不足が継続している事業所に対しては、他事業所職員の兼務を増やし対応した。

まとめ

今年度は新たに 3 事業を立ち上げた。いずれも、精神の方・重度の方が多いため、登録しても増減が著しく、収益減に直結しかねない。そこで、グループ会議や責任者会議を開催し、情報共有・経営状況の分析結果を基に、問題点を抽出・解決策を検討し実行した。その結果、3 事業所の目標は着実に達成できた。

実績および前年比

単位：件

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	2018	**2019**	**2018**	**2019**	**2018**	**2019**	**2018**	**2019**	**2018**	**2019**	**2018**	**2019**	**2018**	**2019**
包括支援 東足羽包括支援センター	198	229	192	240	200	238	203	241	208	242	212	247	214	250
居宅介護支援	359	446	370	424	366	423	363	433	366	425	377	425	459	426
介護保険相談センター	165	241	165	234	158	231	157	234	157	231	167	226	245	233
さくら在宅介護支援	194	205	205	190	208	192	206	199	209	194	210	199	214	193
訪問看護	1,659	1,756	1,735	1,789	1,637	1,644	1,650	1,771	1,713	1,781	1,533	1,743	1,708	1,887
ひまわりステーション	906	1,006	959	1,069	893	933	880	1,016	910	987	775	970	905	1,040
美山サテライト	224	245	218	224	185	205	195	224	210	231	205	223	205	250
さくらステーション	499	479	539	464	543	471	562	508	578	542	538	533	584	571
ステーションあったか	30	26	19	32	16	35	13	23	15	21	15	17	14	26
訪問介護 さくらのヘルパーさん	1,176	984	1,271	880	1,223	881	1,273	856	1,127	796	1,147	783	1,245	855
通所リハビリ・通所介護	2,941	2,895	3,152	2,998	3,057	2,781	2,998	2,965	2,935	2,890	2,751	2,765	3,055	2,914
通所リハビリセンター	960	1,135	1,020	1,128	968	1,073	944	1,149	949	1,119	863	1,065	1,025	1,121
さくらの家	767	616	807	687	791	599	784	628	775	632	733	589	763	609
ぶる～夢森目	797	733	862	753	843	705	810	745	770	687	704	685	767	721
ほっとかん	417	411	463	430	455	404	460	443	441	452	451	426	500	463
看護小規模多機能型居宅介護（登録数）	26	26	29	41	27	42	29	40	27	39	26	44	26	44
あったかホームひまわり	26	26	29	24	27	25	29	22	27	21	26	24	26	25
あったかホームさくら	－	－	－	17	－	17	－	14	－	14	－	15	－	14
あったかホームひまわりサテライト	－	－	－	－	－	－	－	4	－	4	－	5	－	5
認知症対応型共同生活介護	1,063	1,057	1,108	1,096	1,050	1,013	1,020	1,044	984	1,059	959	1,034	1,008	1,108
グループホーム匠	540	517	558	558	539	481	521	500	540	527	534	503	549	550
グループホーム日和	523	540	550	538	511	532	499	544	444	532	425	531	459	558
サービス付き高齢者向け住宅 すまいる・厚生（人）	50	50	50	51	52	52	52	49	52	50	50	51	50	49

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合計		前年度比較	対前年度比
	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019		
包括支援 東足羽包括支援センター	224	245	228	252	225	251	234	257	228	260	2,566	2,952	**386**	**115.0%**
居宅介護支援	452	428	457	415	433	420	427	419	438	411	4,867	5,095	**228**	**104.7%**
介護保険相談センター	241	236	243	231	231	226	227	226	235	221	2,391	2,770	**379**	**115.9%**
さくら在宅介護支援	211	192	214	184	202	194	200	193	203	190	2,476	2,325	**▲151**	**93.9%**
訪問看護	1,731	1,719	1,568	1,703	1,548	1,665	1,522	1,670	1,667	1,877	19,671	21,005	**1,334**	**106.8%**
ひまわりステーション	888	920	815	911	850	898	842	937	915	1,070	10,538	11,757	**1,219**	**111.6%**
美山サテライト	247	232	188	219	163	194	171	185	217	197	2,428	2,629	**201**	**108.3%**
さくらステーション	577	554	546	557	517	559	492	521	508	573	6,483	6,332	**▲151**	**97.7%**
ステーションあったか	19	13	19	16	18	14	17	27	27	37	222	287	**65**	**129.3%**
訪問介護 さくらのヘルパーさん	1,255	819	1,184	810	1,002	761	900	795	967	769	13,770	9,989	**▲3,781**	**72.5%**
通所リハビリ・介護	2,953	2,760	2,789	2,685	2,611	2,520	2,706	2,658	2,971	2,778	34,919	33,609	**▲1,310**	**96.2%**
通所リハビリセンター	1,018	1,056	1,023	1,015	982	957	1,034	1,014	1,119	1,063	11,905	12,895	**990**	**108.3%**
さくらの家	714	582	679	568	579	574	597	612	647	626	8,636	7,322	**▲1,314**	**84.8%**
ぶる～夢森目	764	642	688	630	622	551	621	567	737	610	8,985	8,029	**▲956**	**89.4%**
ほっとかん	457	480	399	472	428	438	454	465	468	479	5,393	5,363	**▲30**	**99.4%**
看護小規模多機能型居宅介護（登録数）	28	45	27	48	26	47	27	50	25	52	323	518	**195**	**160.4%**
あったかホームひまわり	28	25	27	27	26	26	27	28	25	29	323	302	**▲21**	**93.5%**
あったかホームさくら	－	15	－	15	－	14	－	14	－	16	－	165	**－**	**－**
あったかホームひまわりサテライト	－	5	－	6	－	7	－	8	－	7	－	51	**－**	**－**
認知症対応型共同生活介護	1,015	1,068	1,079	1,061	1,114	1,045	1,001	984	1,084	1,045	12,485	12,614	**129**	**101.0%**
グループホーム匠	531	537	533	534	558	518	504	505	527	550	6,434	6,280	**▲154**	**97.6%**
グループホーム日和	484	531	546	527	556	527	497	479	557	495	6,051	6,334	**283**	**104.7%**
サービス付き高齢者向け住宅 すまいる・厚生（人）	50	52	50	52	51	51	51	52	50	53	608	612	**4**	**100.7%**

医療法人　厚生会　福井厚生病院

2019 年度年報

発行日　　2020 年 10 月 31 日
発　行　　医療法人　厚生会　福井厚生病院
〒918 - 8537　福井市下六条町 201 番地
TEL　0776 - 41 - 3377（代表）

FUKUI KOSEI HOSPITAL